令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
C	音楽	オーケストラ等	東京交響楽団	○	○	○	○	オーケストラがあなたのまちにやってくる！-東京交響楽団地域巡回演奏会-	＜第1部＞スメタナ：歌劇『売られた花嫁』序曲　小室昌広：「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」（ナレーション付き）　等 ＜第2部＞ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」から第1楽章　【指揮者体験】ビゼー：歌劇『カルメン』より前奏曲 【生徒との共演】杉本竜一：BELIEVE（ビリーヴ）外山雄三：管弦楽のためのラプソディ　等	
C	音楽	オーケストラ等	札幌交響楽団	○	○	○	○	札響ジュニアクラシック～オーケストラと遊ぼう！～	J.シュトラウス／ラデツキー行進曲　＜楽器紹介コーナー＞ モーツァルト／セレナード第13番ト長調K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章　等 ＜楽器体験コーナー：歌劇「カルメン」より"トレアドール"＞ ＜指揮者体験コーナー：ハンガリー舞曲第5番＞ブラームス／ハンガリー舞曲第5番 ＜みんなで歌おう～訪問校校歌＞外山雄三／管弦楽のためのラプソディ	
C	音楽	オーケストラ等	大阪フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	＜Enjoy！オーケストラ＞	1．ワーグナー／歌劇「ローエングリン」より　第3幕への前奏曲 2.【弦楽器紹介】　3．チャイコフスキー／「弦楽セレナード」より　ワルツ　（省略） 9．ベートーヴェン／交響曲　第5番　ハ短調　作品67「運命」より　第3・4楽章 10.〔アンコール曲〕J.シュトラウスⅡ世／トリッチ・トラッチ・ポルカ　他	
C	演劇	児童劇	一般社団法人　劇団野ばら	○	○	○	－	創作劇「あした あさって しあさって」	創作劇「あした あさって しあさって」 脚本　かめおか　ゆみこ　　演出　香川　良成 音楽　小椋　佳　／田島美津子　振付　畠山　典子	
C	演劇	演劇	カンパニーデラシネラ	○	○	○	○	カンパニーデラシネラ『ドン・キホーテ』	『ドン・キホーテ』 原作／ミゲル・デ・セルバンテス　　演出／小野寺修二 テキスト／山口茜　　美術／石黒猛	
C	演劇	ミュージカル	劇団ポプラ	○	○	○	○	歌って、踊ってミュージカル 『シンドバットの大冒険』	ミュージカル「シンドバットの大冒険」 アラビアンナイトより／本間裕治 木島　恭 木島　恭／もたい清美	
C	舞踊	現代舞踊	特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイト	○	○	○	○	-日韓トップダンサー夢の競演-『これがヒップホップダンス！』	学校巡廻公演（2020）-日韓トップダンサー夢の競演- 『これがヒップホップダンス！』 企画／制作：竪田 浩巳　　構成／演出：今城 裕治 振付：江頭 耕治　　監修：姉小路 公孝	
C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 大槻能楽堂	○	○	○	○	初めての能楽　能「舎利（しゃり）」鑑賞会	1　部　◆はじめての能楽 2　部　◆能楽鑑賞「舎利（しゃり）」　等	H30 （継続）
C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	大蔵流狂言	○	○	○	○	大蔵流こども狂言	狂言「棒縛」 狂言「柿山伏」	
C	伝統芸能	邦楽	津軽三味線　あべや	○	○	○	○	五感に飛び込む日本の音！あべや邦楽ライブ！！	●体を突き抜ける津軽三味線の響き　　●自然と手拍子が出てロずさむ日本人のソウル曲、民謡をたっぷりと ●重低音が会場を包み込む和太鼓の大迫力と体験　　●和楽器の王者、尺八の奥深い音色 ●踊り・舞いのパフォーマンスが、視覚に飛び込む　　●和楽器演奏による校歌の合奏 ●あべやと児童・生徒全員で創るみんなでソーラン　　作曲：阿部金三郎　他	
C	伝統芸能	邦舞	沖縄伝統組踊「子の会」	○	○	○	○	おきなわ伝統芸能「琉球舞踊」と「組踊」	■琉球舞踊　上演作品『四つ竹』（舞踊の種類：女踊り） ・振付・監修：志田房子国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者（総合認定） ■『安里屋ユンタ』児童・生徒、エイサー演舞発表 ■組踊　上演作品『万歳敵討』仇討物（ユネスコ無形文化遺産）　・作者：田里朝直 ・初演：1756年尚穆王冊封の宴で上演　・監修：宮城能鳳国指定重要無形文化財「組踊」保持者（総合認定）	
C	メディア芸術	メディアアート等	WOW	○	○	○	－	BAKERU　－ デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 －	－	

【C区分団体】

B・C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	[C区分]一般社団法人京都能楽囃子方同明会	○	○	○	○	音楽として聴く能 「囃子堂」	早笛 三番三 共演 神楽 獅子	

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から，「R1」の記載がある団体は令和元年度から，「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.htmlから、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

		A・B区分団体												C区分団体
		C23	C24	C25	C26	C27	C28	C29	C30	C31	C32	C33	K121	K120
		東京交響楽団	札幌交響楽団	大阪フィルハーモニー交響楽団	一般社団法人劇団野ばら	カンパニーデラシネラ	劇団ポプラ	特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会カルティベイト	公益財団法人大槻能楽堂	大蔵流狂言	津軽三味線あべや	沖縄伝統組踊「子の会」	WOW	一般社団法人京都能楽囃子方同明会
巡回ブロック		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B・C
項目		オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	演劇	ミュージカル	現代舞踊	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	メディアアート等	歌舞伎・能楽
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	あり	なし
6月1日	月			○				○			○	○		●
6月2日	火			○				○			○	○		●
6月3日	水			○				○			○	○		○
6月4日	木			○				○			○	○		○
6月5日	金							○			○	○		○
6月6日	土													
6月7日	日										移			
6月8日	月							○			○			○
6月9日	火							○						○
6月10日	水							○						○
6月11日	木							○			○			○
6月12日	金							○						●
6月13日	土													
6月14日	日											移		
6月15日	月							○				○		○
6月16日	火							○				○		○
6月17日	水							○				○		○
6月18日	木							○				○		○
6月19日	金							○				○		○
6月20日	土													
6月21日	日										移			
6月22日	月							○		○	○			○
6月23日	火							○		○	○			○
6月24日	水							○		○				○
6月25日	木							○		○	○			○
6月26日	金							○		○				●
6月27日	土													
6月28日	日										移	移		
6月29日	月			移				○		○	○	○		○
6月30日	火			○				○		○	○	○		○
7月1日	水			○				○		○	○	○		○
7月2日	木			○				○		○	○	○		○
7月3日	金			○				○		○		○		●
7月4日	土													
7月5日	日										移	移		
7月6日	月							○			○	○		○
7月7日	火							○			○	○		○
7月8日	水							○				○		○
7月9日	木							○				○		○
7月10日	金							○			○	○		○
7月11日	土													
7月12日	日													
7月13日	月										○			●
7月14日	火										○			●
7月15日	水													○
7月16日	木										○			○
7月17日	金										○			○
7月18日	土										○			○
7月19日	日										○			○
7月20日	月										○			○
7月21日	火										○			○
7月22日	水										○			○
7月23日	木										○			○
7月24日	金										○			○
7月25日	土										○			○
7月26日	日										○			○
7月27日	月										○			○
7月28日	火										○			○
7月29日	水										○			○
7月30日	木										○			○
7月31日	金										○			○
8月1日	土										○			○
8月2日	日										○			○
8月3日	月										○			○
8月4日	火										○			○
8月5日	水										○			○
8月6日	木										○			○
8月7日	金										○			○
8月8日	土										○			○
8月9日	日										○			○
8月10日	月										○			○
8月11日	火										○			○
8月12日	水										○			○
8月13日	木										○			○
8月14日	金										○			○
8月15日	土										○			○
8月16日	日										○			○
8月17日	月										○			○
8月18日	火										○			○
8月19日	水										○			○
8月20日	木										○			○
8月21日	金										○			○
8月22日	土										○			○
8月23日	日										○			○
8月24日	月										○			○
8月25日	火										○			○
8月26日	水										○			○
8月27日	木										○			○
8月28日	金										○			○
8月29日	土													
8月30日	日										移			
8月31日	月										○	移		○

		A・B区分団体												C区分団体
		C23	C24	C25	C26	C27	C28	C29	C30	C31	C32	C33	K121	K120
		東京交響楽団	札幌交響楽団	大阪フィルハーモニー交響楽団	一般社団法人劇団野ばら	カンパニーデラシネラ	劇団ポプラ	特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会カルティベイト	公益財団法人大槻能楽堂	大蔵流狂言	津軽三味線あべや	沖縄伝統組踊「子の会」	WOW	一般社団法人京都能楽囃子方同明会
巡回ブロック		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B・C
項目		オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	演劇	ミュージカル	現代舞踊	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	メディアアート等	歌舞伎・能楽
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	あり	なし
9月1日	火											○		○
9月2日	水										○	○		○
9月3日	木										○	○		○
9月4日	金										○	○		○
9月5日	土													
9月6日	日													
9月7日	月							○			○			○
9月8日	火							○						○
9月9日	水							○						○
9月10日	木							○						○
9月11日	金							○			○			○
9月12日	土													
9月13日	日	移									移			
9月14日	月	●				○		○	○		○			○
9月15日	火	●				○		○	○		○			○
9月16日	水	●				○		○	○		○			○
9月17日	木	○				○		○	○		○			○
9月18日	金					○		○	○		○			●
9月19日	土													
9月20日	日													
9月21日	月													
9月22日	火						移							
9月23日	水						○	○			○			●
9月24日	木						○	○			○			●
9月25日	金						○	○			○			●
9月26日	土													
9月27日	日						移				移	移		
9月28日	月			移		○	○	○	○		○	○	●	○
9月29日	火			○		○	○	○	○			○	○	○
9月30日	水			○		○	○	○	○			○	○	○
10月1日	木			○		○	○	○	○		○	○	○	○
10月2日	金					○	○	○	○		○	○	○	●
10月3日	土													
10月4日	日			移			移					移		
10月5日	月			○			○	○				○	●	○
10月6日	火			○			○	○				○	○	○
10月7日	水			○			○	○				○	○	○
10月8日	木			○			○	○				○	○	○
10月9日	金			○			○	○				○	○	●
10月10日	土													
10月11日	日						移							
10月12日	月					○	○	○					●	○
10月13日	火					○	○	○					○	○
10月14日	水					○	○	○					○	○
10月15日	木					○	○	○					○	○
10月16日	金					○	○	○					○	○
10月17日	土													
10月18日	日													
10月19日	月							○					●	○
10月20日	火							○					○	○
10月21日	水							○					○	○
10月22日	木							○					○	●
10月23日	金							○					○	●
10月24日	土													
10月25日	日						移							
10月26日	月		移				○	○					●	●
10月27日	火		○				○	○					○	●
10月28日	水		○				○	○					○	○
10月29日	木		○				○	○					○	○
10月30日	金		○				○	○					○	○
10月31日	土		○											
11月1日	日						移							
11月2日	月						○	○						○
11月3日	火													
11月4日	水						○	○		○			●	○
11月5日	木						○	○		○			○	○
11月6日	金						○	○		○			○	○
11月7日	土													
11月8日	日						移							
11月9日	月						○	○	○	○			●	○
11月10日	火						○	○	○	○			○	○
11月11日	水						○	○	○	○			○	○
11月12日	木						○	○	○	○			○	○
11月13日	金						○	○	○	○			○	○
11月14日	土													
11月15日	日						移							
11月16日	月			移	○		○	○		○			●	○
11月17日	火			○	○		○	○		○			○	○
11月18日	水			○	○		○	○		○			○	○
11月19日	木			○	○		○	○		○			○	○
11月20日	金			○	○		○	○		○			○	●
11月21日	土													
11月22日	日													
11月23日	月		移				移				移			
11月24日	火		○		○		○	○	○		○		●	○
11月25日	水		○		○		○	○	○		○		○	○
11月26日	木		○		○		○	○	○		○		○	○
11月27日	金		○		○		○	○	○		○		○	○
11月28日	土		○											
11月29日	日	移					移				移			
11月30日	月	●			○		○	○	○		○		●	○

		A・B区分団体												C区分団体
		C23	C24	C25	C26	C27	C28	C29	C30	C31	C32	C33	K121	K120
		東京交響楽団	札幌交響楽団	大阪フィルハーモニー交響楽団	一般社団法人劇団野ばら	カンパニーデラシネラ	劇団ポプラ	特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会カルティベイト	公益財団法人大槻能楽堂	大蔵流狂言	津軽三味線あべや	沖縄伝統組踊「子の会」	WOW	一般社団法人京都能楽囃子方同明会
巡回ブロック		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B・C
項目		オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	演劇	ミュージカル	現代舞踊	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	メディアアート等	歌舞伎・能楽
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	あり	なし
12月1日	火	○			○		○	○	○		○		○	○
12月2日	水				○		○	○	○		○		○	○
12月3日	木				○		○	○	○		○		○	●
12月4日	金				○		○	○	○		○		○	●
12月5日	土													
12月6日	日						移				移			
12月7日	月				○		○	○			○		●	○
12月8日	火				○		○	○			○		○	○
12月9日	水				○		○	○					○	○
12月10日	木				○		○	○					○	●
12月11日	金				○		○	○					○	●
12月12日	土													
12月13日	日													
12月14日	月				○			○	○					○
12月15日	火				○			○	○					○
12月16日	水				○			○	○					○
12月17日	木				○			○	○					●
12月18日	金				○			○	○					●
12月19日	土													
12月20日	日										移			
12月21日	月										○			○
12月22日	火										○			○
12月23日	水										○			○
12月24日	木													○
12月25日	金													○
12月26日	土													
12月27日	日													
12月28日	月													○
12月29日	火													○
12月30日	水													○
12月31日	木													○
1月1日	金													
1月2日	土													
1月3日	日													
1月4日	月													○
1月5日	火													○
1月6日	水													○
1月7日	木													○
1月8日	金													○
1月9日	土													
1月10日	日													
1月11日	月													
1月12日	火						○				○			○
1月13日	水						○				○			○
1月14日	木						○				○			○
1月15日	金						○				○			○
1月16日	土													
1月17日	日													
1月18日	月						○			○	○			○
1月19日	火						○			○	○			○
1月20日	水						○			○	○			○
1月21日	木						○			○	○			○
1月22日	金						○			○	○			○
1月23日	土													
1月24日	日													
1月25日	月						○				○			○
1月26日	火						○				○			○
1月27日	水						○				○			○
1月28日	木						○				○			○
1月29日	金						○				○			○
1月30日	土													
1月31日	日													

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，(オーケストラ等)，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)　・　A区分とB区分の両方　・　C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんとうきょうこうきょうがくだん 公益財団法人東京交響楽団		
代表者職・氏名	理事長　澤田秀雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	本部)〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-23-5(最寄り駅:JR 中央総武線「大久保」駅徒歩 2 分)		
電話番号	03-3362-6764	ＦＡＸ番号	03-3360-8249
ふりがな 公演団体名	とうきょうこうきょうがくだん 東京交響楽団		
代表者職・氏名	理事長　澤田秀雄		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階(最寄り駅:JR 東海道線「川崎」駅徒歩 3 分)		
制作団体設立年月	1946年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	会長:横川端、理事長:澤田秀雄、副理事長:平沢創、依田巽、専務理事・楽団長:大野順二、理事 12 名、評議員調・最高顧問:金山茂人、評議員 8 名、監事:磯村文靖、寺西基之、編成局長兼パーソネル・マネージャー:藤原真、ステージマネージャー:山本聡、ライブラリアン:武田英昭 事務室長:辻敏、事務局:伊藤瑛海、尾木貴雄、梶川純子、桐原美砂、佐藤雄己、髙瀬緑、竹内裕子、豊山悟、長久保宏太朗、廣中憲士、美濃部敦、山田道子、クラシックスペース★100:甲田幹雄	(1)団体構成員 楽員 80 名、事務職員 20 名、アルバイト 5 名 (2)主な構成員 音楽監督:ジョナサン・ノット 桂冠指揮者:秋山和慶、ユベール・スダーン 正指揮者:飯森範親 名誉客演指揮者:大友直人 コンサートマスター:グレブ・ニキティン、水谷晃 アシスタントコンサートマスター:田尻順、廣岡克隆 (3)加入条件 楽員)公募によるオーディション 事務)公募等による試験・面接	
事務体制の担当	(専任)　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	美濃部敦
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	尾木貴雄

制作団体沿革	1946 年東宝交響楽団の名で創立され、1951 年に東京交響楽団と改称して今日に至っている。歴代の指揮者には、近衛秀麿、上田仁がおり、1964 年から秋山和慶が音楽監督・常任指揮者を 40 年間務めた後、2004 年からはユベール・スダーンが 10 年間音楽監督を務めた。2014 年から新体制となり音楽監督としてジョナサン・ノットを迎え、それまでにも増して交響管弦楽の振興を先駆的なプログラムによって行っている。1956 年 4 月財団法人として認可、2011 年には内閣府から公益財団法人として認可された。現在、主な主催公演は文化庁文化芸術振興費補助金の助成対象事業となっている。 1997 年から新国立劇場の基幹オーケストラの一つとしてオペラ・バレエ公演を担当している。1998 年に新潟市と準フランチャイズ契約を結び年間 6 回の定期公演などを行っている。2004 年 7 月より川崎市のフランチャイズオーケストラとして、ミューザ川崎シンフォニーホールにて練習と公演を多く行っている。2013 年には八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ協定を結び、各地域でのアウトリーチ活動にも強く力を入れている。2016 年には創立 70 周年を迎え、記念演奏旅行としてヨーロッパ 2016 年欧州文化首都ブロツワフ(ポーランド)を含む 5 か国 5 都市 5 公演を行った。2018 年 8 月には日中平和友好条約締結 40 周年、日中文化交流年の文化庁委託事業として中国上海・杭州にて公演を行った。
学校等における公演実績	平成 23 年度 21 公演、平成 24 年度 16 公演、平成 25 年度 28 公演、 平成 26 年度 19 公演、平成 27 年度 27 公演、平成 28 年度 34 公演、 平成 29 年度 30 公演、平成 30 年度 30 公演 平成 31 年度(令和元年度)22 公演予定
特別支援学校における公演実績	オーケストラ公演としては平成 27 年度 1 公演、平成 28 年度 1 公演、平成 29 年度 2 公演、平成 30 年度 3 公演、平成 31 年度(令和元年度)2 公演予定。 室内楽形式での出演も多数行っている。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ (無)
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　東京交響楽団 】**

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	オーケストラがあなたのまちにやってくる！　-東京交響楽団地域巡回演奏会-
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	＜第 1 部＞ スメタナ:歌劇『売られた花嫁』序曲 小室昌広:「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」(ナレーション付き) 選択式協奏曲(モンティ:チャールダーシュ、モーツァルト:ファゴット協奏曲など) ※協奏曲のソリストにはできるだけ派遣地出身楽員を起用 (休憩 15 分) ＜第 2 部＞ ベートーヴェン:交響曲第 5 番「運命」から第 1 楽章 【指揮者体験】ビゼー:歌劇『カルメン』より前奏曲 【生徒との共演】杉本竜一:BELIEVE(ビリーヴ) 外山雄三:管弦楽のためのラプソディ アンコール)久石譲:君をのせて(映画『天空の城ラピュタ』より) 公演時間(90分)

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要

2 部構成で、前半の第 1 部ではオーケストラの各楽器に焦点を置き、後半の第 2 部ではその楽器が集まって作られる「オーケストラ全体の響き」を肌で感じられるプログラムで構成しています。

第 1 部は「売られた花嫁」序曲の華やかな響きで開幕します。弦楽器・木管楽器の細かいパッセージと各パートのアンサンブルが非常に重要な曲で、オーケストラ内のチームワークが織り成す音の緊張感が、日常から非日常への扉を開き、各体育館を劇場に変貌させます。「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では各楽器それぞれ一つずつを、ナレーション付きで紹介します。

①グループの紹介	〈星に願いを〉	⑧コントラバス	〈ｲｯﾂ･ｱ･ｽﾓｰﾂ･ﾜｰﾙﾄﾞ〉
②フルート、ピッコロ	〈ﾊｲ･ﾃﾞｨﾄﾞﾙ･ﾃﾞｨｰ･ﾃﾞｨｰ〉	⑨ハープ	〈ｲｯﾂ･ｱ･ｽﾓｰﾂ･ﾜｰﾙﾄﾞ〉
③ｵｰﾎﾞｴ､ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭﾎﾙﾝ	〈ﾎｰﾙ･ﾆｭｰﾜｰﾙﾄﾞ〉	⑩ホルン	〈美女と野獣〉
④クラリネット	〈狼なんか恐くない〉	⑪トランペット	〈チム・チム・チェリー〉
⑤ファゴット	〈ﾋﾞﾋﾞﾃﾞｨ･ﾊﾞﾋﾞﾃﾞｨ･ﾌﾞｰ〉	⑫トロンボーン	〈ｼﾞｯﾊﾟ･ﾃﾞｨ･ﾄﾞｩｰ･ﾀﾞｰ〉
⑥ヴァイオリン	〈ｲｯﾂ･ｱ･ｽﾓｰﾙ･ﾜｰﾙﾄﾞ〉	⑬打楽器	〈ミッキーマウス・マーチ〉
⑦ヴィオラ、チェロ	〈いつか王子様が〉	⑭ﾄｩｯﾃｨ(全合奏)によるﾌｰｶﾞ	〈ｴﾚｸﾄﾘｶﾙ･ﾊﾟﾚｰﾄﾞ〉

協奏曲では一つの楽器にクローズアップし、ソロの妙技を楽しみます。ここで登場するソリストは、派遣地域出身の楽員を起用する予定ですが、該当者がいない場合は、ワークショップでも出演した奏者や、生徒と共感を得易いという視点から若い奏者を起用します。

第 2 部はオーケストラの響きを存分に楽しむと同時に、「作曲家の歴史」や「音楽の地域性」を同時に学ぶ事のできるプログラムを揃えています。交響曲「運命」ではベートーヴェンという作曲家がどのような人間で、いかなる辛さを乗り越え、そしてこの曲を作るに至ったかという作曲の背景を学んだうえで、それがいかに音楽に表れているかを聴いてもらいます。指揮者体験コーナーでは指揮者の役割を学びつつ、実際に数人の代表者にオーケストラを指揮してもらいます。BELIEVE(ビリーヴ)ではオーケストラと一緒に共演することでその壮大なハーモニーを作ることの楽しさを提供します。フィナーレでは日本特有のリズムやメロディがふんだんに盛り込まれた「管弦楽のためのラプソディ」で締めくくります。アンコールで、子供たちに耳なじみのある「君をのせて」を演奏して終演となります。

<table>
<tr><td>演目選択理由</td><td colspan="3">多くの子供たちに「はじめてのオーケストラ体験」を提供できるこの機会を最大限に生かすため、以下の 3 つの理由を基に演目を選択いたしました。
①生の音楽の響きを聴かせたい
まず、テレビや教科書で触れ合ったことのある曲目をプログラムに入れることで、スピーカーを通して聴く音と生のオーケストラの違いを認識できるように組みました。小編成やソロによる優しく繊細な響きから、床を伝わって感じ取ることのできる低音楽器の響き、そして体育館いっぱいに奏でられるオーケストラヒットの響きなど、様々な響きを楽しむことができるように構成しています。
②色々な楽器とその奏者を見てもらいたい
「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では、ナレーションで楽器の説明をするだけでなく、オーケストラの奥の方に位置する見えづらい楽器は立って演奏します。協奏曲ではその地域で育った楽員が、主人公たるソリストとして帰郷することで、生徒たちが将来の夢を大切に持ち、努力することの大切さを考えるきっかけにできるよう努めています。該当者がいない場合には、生徒が「共感」しやすい人を選定します。
③作曲家と音楽を身近に感じてもらうため
ベートーヴェンの交響曲「運命」は、音楽とその作曲家の精神的な部分に焦点を定めています。耳の聞こえなくなったベートーヴェンが苦難を乗り越えて、どのような音楽を作り上げたのかという提起を指揮者から生徒に投げかけます。この説明をした後に演奏することで、どのような表情の音楽が作り上げられるのか、それを「運命」で解説します。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">①指揮者体験コーナー
指揮の仕方と役割を指揮者が解説した後、実際に生徒の代表 3 名にタクトをもってオーケストラを指揮してもらいます。
②生徒との共演
歌うために簡単な準備体操をした後、オーケストラ伴奏で BELIEVE(ビリーヴ)を全員で歌います。ワークショップ時にも事前練習を行い、オーケストラとの共演をより良いものにできるように指導します。
③その他
床に直接座って鑑賞する子供たちもオーケストラ全体を見渡すことができるように、奥に配置されている管楽器はひな壇上で演奏します。</td></tr>
<tr><td>出演者</td><td colspan="3">指揮：大井剛史（ジャパンアーツ所属アーティスト）
ナレーションおよびソリスト：東京交響楽団の楽団員
管弦楽：東京交響楽団（2管12型編成）
ピッコロ×1、フルート×2、オーボエ×2、クラリネット×2、ファゴット×2、ホルン×4、トランペット×3、トロンボーン×3、テューバ×1、ティンパニ×1、打楽器×3、ハープ×1
ファースト・ヴァイオリン(コンサートマスター1 名含む)×12
セカンド・ヴァイオリン×10、ヴィオラ×8、チェロ×7、コントラバス×6</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者： 69 名
スタッフ： 11 名
合 計： 80 名</td><td>機材等
運搬方法</td><td>積載量 2ｔ，4ｔ
車 長 5m,8m
台 数 各 1 台</td></tr>
</table>

【公演団体名　東京交響楽団 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会 場 条 件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9時</td><td>9時～11時</td><td>13時30分～15時</td><td>15分</td><td>15時～16時</td><td>16時30分</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児 童 ・生 徒の
参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>少人数～全校生徒など、ご希望に応じます。
※交流給食希望の場合は 1 クラスに 2 人参ります。</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>体育館にオーケストラを並べられれば、生徒は 1 人から 1,000 人までどれだけ入っていただいても構いません。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実 施 形 態
及 び 内 容</td><td>■実施形態及び内容
出演:オーケストラの演奏者 3 人、指揮者 1 人、ピアニスト、司会の 6 人
オーケストラで使われる楽器を一つずつ間近で見せながら、その奏者が解説をします。楽器によっては少しだけ体験してもらえる場合もあります。説明の後には短い演奏を行います。
①導入:オーケストラの自己紹介、コンサートマナーのお話し(5 分)
②楽器の造りや歴史のお話し、3 分ほどの演奏、質問コーナー(15 分×オーケストラ演奏者 3 名＋ピアノ奏者 10 分)
③ピアノ伴奏でビリーヴの練習(指揮者 15 分)
※途中休憩 10 分～15 分予定
■効果
オーケストラを知らない子供たちにとっては、おそらくテレビの中だけの存在になっています。ワークショップにはオーケストラで実際に使用される楽器を見せ、オーケストラを構成する楽員がくることで、より身近に感じてもらえるようにする、というのが一番の目的です。本公演が何倍も楽しみになるようにワークショップを行います。また、休憩時や交流給食の時に、吹奏楽部の生徒や音楽家が将来の夢としている生徒たちと触れ合うことで、今後の成長のきっかけとなることができれば幸いです。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td>本公演と同じく、90 分の音楽鑑賞教室にすることもできるのですが、それよりも個として触れ合うことに重きを置いているためこの形態を選びました。出演者は全員マイクを持ち、全員が生徒たちに語り掛けます。質問コーナーなどでは会話もします。本公演がオーケストラという団体としての触れ合いであるのに対して、ワークショップはより個々で働きかけられることに努めます。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>プログラムの曲目を一部変更して行うことができます。学校ごとによって普段の活動の様子を尋ね、その学校の希望に沿った形で提供できるようにしたいと考えています。</td></tr>
</table>

実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, *Music Director*

音楽監督	**ジョナサン・ノット**
桂冠指揮者	**秋山和慶**
	ユベール・スダーン
正指揮者	**飯森範親**
名誉客演指揮者	**大友直人**
永久名誉指揮者	**アルヴィド・ヤンソンス◆**
	上田　仁◆
	遠山信二◆

名誉コンサートマスター　大谷康子

コンサートマスター	グレブ・ニキティン
	水谷　晃
アシスタント・コンサートマスター	田尻　順
	廣岡克隆

会　　長	横川　端
理事長	澤田秀雄
副理事長	平澤　創
	依田　巽
専務理事	大野順二
理　　事	阿部武彦
	池辺晋一郎
	伊藤美樹
	大橋　博
	岡崎哲也
	庄司　薫
	永山　治
	夏野　剛
	南部靖之
	福川伸次
	藤原　洋
	増岡聡一郎
監　　事	磯村文靖
	寺西基之
評議員長 最高顧問	金山茂人
評議員	梅沢一彦　鴛海量明
	片山泰輔　西村　朗
	星　久人　松木康夫
	山添　茂　横川　竟
特別顧問	飯島延浩
	福田紀彦
	山田長満

【ハープ貸与：株式会社環境ステーション】

1st Violins
○木村正貴
○堀内幸子
小川敦子
加藤幸子
立岡百合恵
土屋杏子
中村楓子
森岡ゆりあ
吉川万理
大和田ルース

2nd Violins
◎清水泰明
◎服部亜矢子
◎坂井みどり
○加藤まな
○福留史紘
阿部真弓
河裾あずさ
塩谷しずか
鈴木浩司
竹田詩織
渡辺裕子

Violas
◎青木篤子
◎武生直子
◎西村眞紀
○多井千洋
○山廣みほ
大角　彩
小西応興●
鈴木まり奈
永井聖乃
松﨑里絵

Cellos
◎伊藤文嗣
◎西谷牧人
○川井真由美
○黄原亮司
○謝名元　民
蟹江慶行
樋口泰世

Double Basses
◎加藤信吾
○北村一平
○久松ちず
安田修平
渡邉淳子
笠原勝二

Flutes
◎相澤政宏

Flutes & Piccolos
高野成之
濱﨑麻里子

Oboes
◎荒　絵理子
◎荒木奏美
篠崎　隆

Oboe&English horn
最上峰行

Clarinets
◎エマニュエル・ヌヴー
◎吉野亜希菜
小林利彰
近藤千花子

Bassoons
◎福井　蔵
◎福士マリ子
坂井由佳
前関祐紀

Horns
◎上間善之
◎大野雄太
◎ジョナサン・ハミル
阪本正彦

Trumpets
◎佐藤友紀
◎澤田真人
野沢岳史●
松山　萌

Trombones
◎鳥塚心輔
◎大馬直人
住川佳祐

Bass Trombone
藤井良太

Tuba
◎渡辺　功

Timpani& Percussions
◎清水　太
◎新澤義美
武山芳史
綱川淳美△

Harp
◎景山梨乃

Librarian
★武田英昭
大和田浩明

Stage Manager
山本　聡
西岡理佐＊

栄誉団員
井伊　準◆

楽団長
大野順二

編成局長
パーソネル・マネージャー
藤原　真

楽団委員
福井　蔵(議長)
福留史紘(書記)
相澤政宏
木村正貴
清水泰明
清水　太

事務室長
辻　　敏

事務局
伊藤瑛海
□尾木貴雄
■梶川純子
桐原美砂
佐藤雄己
髙瀬　緑
竹内裕子
□豊山　悟
長久保宏太朗
廣中憲士
美濃部　敦
山田道子

クラシックスペース★100
甲田幹雄

名誉団友
深江泰輔◆　三木晴雄

団　友

天野佳和	佐川裕子
新井　汎	佐々木真
安藤史子	菅野明彦
池田　肇	杉浦直基
石川晴依世	鈴木一輝
今村和弘	芹澤英雄
岩澤淳子	曽根敦子
上原正二	田中真輔
上原規照	千村雅信
上原末莉	十亀正司
内田彬雄	中塚和良
内田乃俐子	中塚博則
宇都　実	中山　智
梅田　学	西依智子
大隅雅人	西脇秀治
大塚正昭	野村真澄
大埜展男	馬場隆弘
小川さえ子	原田美保子
荻野　昇	日野　奏
奥田昌史	ベアンテ・ボーマン
音川健二	前田健一郎
加護谷直美	升田俊樹
甲藤さち	丸山正昭
金澤　茂	三浦正信
久保田一穂	宮原祐子
熊谷仁士	宮本直樹
小林照雄	宮本　睦
小林亮子	森みさ子
佐川聖二	諸橋健久

◎首席奏者 ○フォアシュピーラー ●インスペクター
■本部長 □部長 ★チーフ ＊研究員・準事務局員 △留学中 ◆故人

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, *Music Director*

音楽監督	**ジョナサン・ノット**
桂冠指揮者	**秋山和慶**
	ユベール・スダーン
正指揮者	**飯森範親**
名誉客演指揮者	**大友直人**
永久名誉指揮者	**アルヴィド・ヤンソンス◆**
	上田　仁◆
	遠山信二◆

名誉コンサートマスター　大谷康子

コンサートマスター	グレブ・ニキティン
	水谷　晃
アシスタント・コンサートマスター	田尻　順
	廣岡克隆

会　　長	横川　端
理事長	澤田秀雄
副理事長	平澤　創
	依田　巽
専務理事	大野順二
理　　事	阿部武彦
	池辺晋一郎
	伊藤美樹
	大橋　博
	岡崎哲也
	庄司　薫
	永山　治
	夏野　剛
	南部靖之
	福川伸次
	藤原　洋
	増岡聡一郎
監　　事	磯村文靖
	寺西基之
評議員長 最高顧問	金山茂人
評議員	梅沢一彦　鴛海量明
	片山泰輔　西村　朗
	星　久人　松木康夫
	山添　茂　横川　竟
特別顧問	飯島延浩
	福田紀彦
	山田長満

【ハープ貸与：株式会社環境ステーション】

1st Violins
○木村正貴
○堀内幸子
小川敦子
加藤幸子
立岡百合恵
土屋杏子
中村楓子
森岡ゆりあ
吉川万理
大和田ルース

2nd Violins
◎清水泰明
◎服部亜矢子
◎坂井みどり
○加藤まな
○福留史紘
阿部真弓
河裾あずさ
塩谷しずか
鈴木浩司
竹田詩織
渡辺裕子

Violas
◎青木篤子
◎武生直子
◎西村眞紀
○多井千洋
○山廣みほ
大角　彩
小西応興●
鈴木まり奈
永井聖乃
松崎里絵

Cellos
◎伊藤文嗣
◎西谷牧人
○川井真由美
○黄原亮司
○謝名元　民
蟹江慶行
樋口泰世

Double Basses
◎加藤信吾
○北村一平
○久松ちず
安田修平
渡邉淳子
笠原勝二

Flutes
◎相澤政宏

Flutes & Piccolos
高野成之
濱崎麻里子

Oboes
◎荒　絵理子
◎荒木奏美
篠崎　隆

Oboe&English horn
最上峰行

Clarinets
◎エマニュエル・ヌヴー
◎吉野亜希菜
小林利彰
近藤千花子

Bassoons
◎福井　蔵
◎福士マリ子
坂井由佳
前関祐紀

Horns
◎上間善之
◎大野雄太
◎ジョナサン・ハミル
阪本正彦

Trumpets
◎佐藤友紀
◎澤田真人
野沢岳史●
松山　萌

Trombones
◎鳥塚心輔
◎大馬直人
住川佳祐

Bass Trombone
藤井良太

Tuba
◎渡辺　功

Timpani& Percussions
◎清水　太
◎新澤義美
武山芳史
綱川淳美△

Harp
◎景山梨乃

Librarian
★武田英昭
大和田浩明

Stage Manager
山本　聡
西岡理佐＊

栄誉団員
井伊　準◆

楽団長
大野順二

編成局長
パーソネル・マネージャー
藤原　真

楽団委員
福井　蔵(議長)
福留史紘(書記)
相澤政宏
木村正貴
清水泰明
清水　太

事務室長
辻　　敏

事務局
伊藤瑛海
□尾木貴雄
■梶川純子
桐原美砂
佐藤雄己
髙瀬　緑
竹内裕子
□豊山　悟
長久保宏太朗
廣中憲士
美濃部　敦
山田道子

クラシックスペース★100
甲田幹雄

名誉団友
深江泰輔◆　三木晴雄

団　友

天野佳和	佐川裕子
新井　汎	佐々木真
安藤史子	菅野明彦
池田　肇	杉浦直基
石川晴依世	鈴木一輝
今村和弘	芹澤英雄
岩澤淳子	曽根敦子
上原正二	田中真輔
上原規照	千村雅信
上原末莉	十亀正司
内田彬雄	中塚和良
内田乃俐子	中塚博則
宇都　実	中山　智
梅田　学	西依智子
大隅雅人	西脇秀治
大塚正昭	野村真澄
大埜展男	馬場隆弘
小川さえ子	原田美保子
荻野　昇	日野　奏
奥田昌史	ベアンテ・ボーマン
音川健二	前田健一郎
加護谷直美	升田俊樹
甲藤さち	丸山正昭
金澤　茂	三浦正信
久保田一穂	宮原祐子
熊谷仁士	宮本直樹
小林照雄	宮本　睦
小林亮子	森みさ子
佐川聖二	諸橋健久

◎首席奏者 ○フォアシュピーラー ●インスペクター
■本部長 □部長 ★チーフ ＊研究員・準事務局員 △留学中 ◆故人

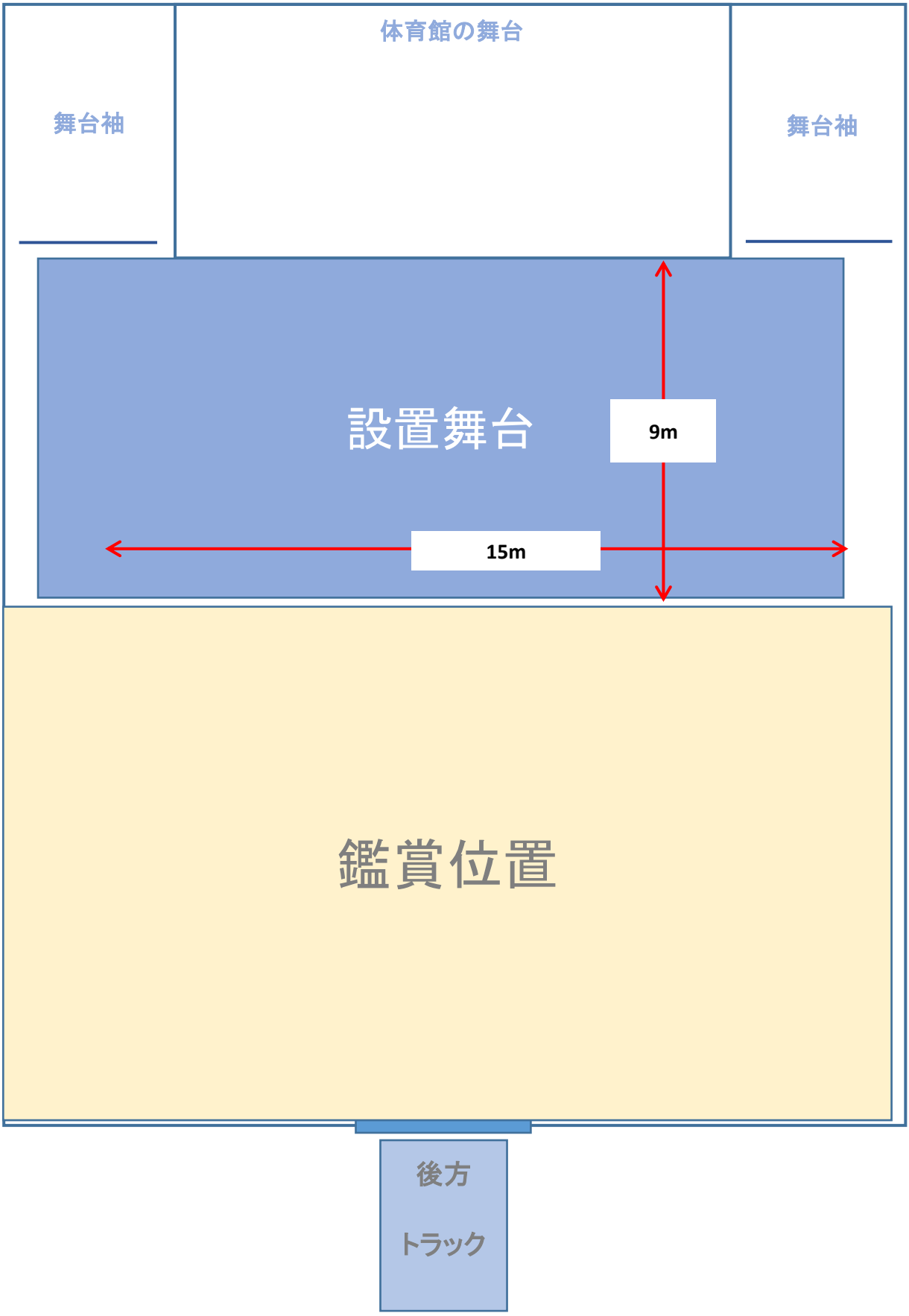
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C23	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	東京交響楽団				制作団体名	公益財団法人　東京交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	4室	条件	指揮者1室,コンサートマスター1室，男性，女性の着替え用であるためカーテンがある部屋希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	2tトラック　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・雨天時・荒天時、搬入物が濡れないことが必須条件。ブルーシートなどによる仮屋根設置であれば可。				
	／	理由			楽器の損傷を回避するため				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば3階以上も可				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数		制限なし					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度（時間外、交流給食対応可）					
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		フロアにオーケストラを並べられれば、それ以外の部分どこまでも入館していただいて構いません。					
	可	舞台設置場所＊		体育館ステージ前部分9mまで					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	15m	奥行	9m	高さ	なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要					
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	―	公演に必要な電源容量		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和２年度　文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―

オーケストラがあなたのまちにやってくる！

-東京交響楽団地域巡回コンサート-

▸ Program　曲目

スメタナ：歌劇『売られた花嫁』序曲

チェコの民俗的な調べを多く取り入れる作風で知られるスメタナ(1824-1884)の代表的なオペラ、その序曲はとても快活なリズムやメロディーがちりばめられた作品です。弦楽器が忙しそうに弾いたり、管楽器がゆったり吹いたり、一曲に多くの表情が込められています。これから始まるオーケストラのコンサート、わくわく感で開幕します。

楽器解説　小室昌広編曲：「ディズニーのメロディーによる管弦楽入門」

「オーケストラ」を日本語にすると管弦楽といいます。この曲ではオーケストラの中にある楽器をみなさんがよく知っているディズニーのメロディーを使用して順番に紹介します。どんな楽器があるか、目で見て耳でよく聴いてみてください。

協奏曲の楽しみ

協奏曲は独奏楽器（ソロ楽器）と管弦楽のために作曲された曲のことを指します。当団楽員による独奏と指揮者とオーケストラが、お互いにコミュニケーションを取りながら一つの曲を作り上げていく様子を、それぞれお楽みください。

ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より第1楽章

ドイツの作曲家ベートーヴェン(1770-1827)は 30歳過ぎにはほとんど耳が聞こえなくなっていましたが、強い精神力でこの苦しみを乗り越え、生涯で 9 つもの交響曲を作りました。この交響曲第 5 番は 38 歳の時に完成しました。この曲は全体で 4 つの楽章があり、すべて演奏すると 35 分ぐらいの演奏時間ですが、今日はその中から第 1 楽章を演奏します。ベートーヴェンは出だしの 4 つの音について「このように運命は扉をたたく」と言ったと

伝えられています。作曲家でありながら耳の聴こえない事の辛さを正面から受け止め、それに負けまいとする強い姿が、この曲の様々な場面で表れています。

指揮者に挑戦！　ビゼー：オペラ『カルメン』から「闘牛士のマーチ」

君も名指揮者になれるかも!?　東京交響楽団を振って指揮者にチャレンジ！

みんなで歌おう　杉本竜一作詞・作曲／和田薫編曲：「ビリーブ」

みんなで心をあわせて、オーケストラと一緒にハーモニーを作りましょう！

外山雄三：管弦楽のためのラプソディ

この曲は現代日本を代表する作曲家・外山雄三(1931-)の代表作で、50 年以上も前、日本のオーケストラが海外演奏旅行をする際に、「日本人が心の中に持っている音楽やリズム」を知ってもらうために作られました。「あんたがたどこさ」「ソーラン節」「串本節」「信濃追分」「八木節」などの旋律が芸術的にアレンジされ、また和太鼓やチャンチキなど日本の楽器も使われて、日本らしさを表現しています。「ラプソディ」とは日本語で「狂詩曲」と言い、民族的な内容を表現した曲のことです。

▶ Profile プロフィール

指揮：大井 剛史　Takeshi Ooi / Conductor

©K.MIURA

東京藝術大および大学院にて松尾葉子氏に師事、若杉弘、岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラプチェフスキーの各氏から指導を受ける。2007～09 年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2009～16 年度ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉（現・千葉交響楽団）常任指揮者、2009～13 年山形交響楽団指揮者、2013～17 年 3 月同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。この他、国内各地のオーケストラを指揮し、いずれも高い評価を得ている。

新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。08 年アントニオ・ペドロッティ国際指揮者コンクール第 2 位。

東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師（吹奏楽）。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

管弦楽：東京交響楽団　Tokyo Symphony Orchestra

©N.Ikegami

1946 年、東宝交響楽団として創立。1951 年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、京都　音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミューザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市、八王子市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開、「こども定期演奏会」「0 歳からのオーケストラ」が注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演も多く、これまでに 58 都市 78 公演を行ってきた。 音楽監督にジョナサン・ノット、正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。2016 年に創立 70 周年を迎え、同年 10 月ウィーン楽友協会を含むヨーロッパ 5 カ国で公演を行い各地で高評を得た。また 2018 年 8 月には日中平和友好条約締結40周年を記念し上海・杭州にて公演を行い、日中の文化交流の役割を果たした。

公式サイト：http://tokyosymphony.jp/

右の QR コードをスマートフォンで読み取ると、東京交響楽団のウェブサイトをご覧いただけます。→

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ　・　A区分とB区分の両方　・　C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん　さっぽろこうきょうがくだん 公益財団法人　札幌交響楽団		
代表者職・氏名	理事長　広瀬兼三		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1 番 15 号(札幌コンサートホール内) 最寄駅:札幌市営地下鉄南北線　中島公園駅		
電話番号	011-520-1771	ＦＡＸ番号	011-520-1772
ふりがな 公演団体名	さっぽろこうきょうがくだん 札幌交響楽団		
代表者職・氏名	理事長　広瀬兼三		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1 番 15 号(札幌コンサートホール内) 最寄駅:札幌市営地下鉄南北線　中島公園駅		
制作団体設立年月	昭和 36 年　7 月		
制作団体組織	役　職　員 理事長　広瀬兼三 副理事長　田中良治、藤田久雄 専務理事　鳥居和比徒 他理事 17 名/監事 2 名/評議員 20 名	団体構成員及び加入条件等 首席指揮者　マティアス・バーメルト 入団条件:一般公募のオーディションを実施。楽団員過半数の賛成票を得た者について選考委員会で協議、理事会決定。事務局長市川雅敏、事務局員 18 名(ステージスタッフ含む)	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	事業部　種池純子
経理処理等の監査担当の有無	有　・　無	経理責任者名	総務営業部長　庄司寿子

制作団体沿革	1961 年 7 月に札幌市民交響楽団として発足。翌年 3 月には財団法人札幌交響楽団となり、2009 年 10 月　公益財団法人へ移行。北海道唯一のプロ・オーケストラとして「札響」の愛称で親しまれる。創立から 58 年を経て、より多くの道民に愛されるべく意欲的な活動を続けている。 現在の指揮者体制は首席指揮者：マティアス・バーメルト、名誉音楽監督：尾高忠明、名誉指揮者：ラドミル・エリシュカ、友情客演指揮者：広上淳一、指揮者：松本宗利音を擁している。
学校等における公演実績	平成 30 年度 札幌市内全小学 6 年生を対象とした音楽鑑賞教室「Kitara ファーストコンサート」（札幌市主催／9 公演） ※平成 16 年度より継続実施、年間約 16,000 名が参加 その他　小中高生を対象とした音楽鑑賞教室／31 公演 楽器講習会、ワークショップ／20 回 企業主催及び自主公演／3 公演（公演会場として地域の中学校体育館を使用）
特別支援学校における公演実績	平成 30 年度 北海道内の特別支援学校 6 校でアンサンブルコンサートを実施。 学校からの要望や児童生徒の様子を詳細に確認し、開催校ごとに楽器編成や演奏曲目を調整することはもちろん、楽団員が趣向を凝らした構成、内容で実施している。 ※平成 16 年度より継続実施

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有　・　(無)
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有　・　(無)
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	(有)　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　札幌交響楽団　】**

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	札響ジュニアクラシック～オーケストラと遊ぼう！～
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	J.シュトラウス／ラデツキー行進曲 ＜楽器紹介コーナー①:弦楽器＞ モーツァルト／セレナード第 13 番ト長調 K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第 1 楽章 ＜楽器紹介コーナー②:木管・金管・打楽器＆ハープ＞ チャイコフスキー／バレエ「くるみ割り人形」より“花のワルツ” ＜楽器体験コーナー:歌劇「カルメン」より“トレアドール”＞ ＜指揮者体験コーナー:ハンガリー舞曲第 5 番＞ ブラームス／ハンガリー舞曲第 5 番 ＜みんなで歌おう～訪問校校歌＞ 外山雄三／管弦楽のためのラプソディ 公演時間(約 75 分)

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要

♪*ラデツキー行進曲*

曲名は知らなくても、このメロディーは誰もがご存知でしょう。会場の皆さんにも手拍子で参加して頂きながら、楽しいコンサートの幕開け！

♪*楽器紹介コーナー①:弦楽器～ 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第 1 楽章*

初めてオーケストラの演奏を聴く子ども達にも興味を持ってもらえるように、各楽器が「自己紹介」をしていきます。まずは 4 種類の弦楽器（ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス）、それぞれの音色の違いを感じて頂きます。そしてそれらが一体となった時の響きや各楽器の役割がよくわかるように、弦楽合奏曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第 1 楽章をお聴き頂きます。

♪*楽器紹介コーナー②:管打楽器&ハープ～「くるみ割り人形」“花のワルツ”*

続いて管打楽器の紹介です。音の出る仕組みとその音色はもちろん、見た目や材質も異なる管楽器、たくさんの打楽器について、その魅力が最大限に伝わるよう、各奏者が趣向を凝らしたメロディーと演出でパフォーマンスを披露します。弦楽器の仲間ではありますが、子どもたちにとても人気のあるハープはあえて最後にご紹介。オーケストラを構成する楽器をご紹介したところで、各楽器の特徴を感じられる「花のワルツ」をお贈りします。

♪*楽器体験コーナー:歌劇「カルメン」“トレアドール”*

子ども達から希望者を募り、打楽器奏者としてオーケストラ演奏に参加して頂きます。学校でも身近な打楽器、大太鼓とシンバルを使い、楽団の奏者が側に付いて指導しますので、どなたでも楽しく体験できます。

♪*指揮者体験コーナー:ハンガリー舞曲第 5 番*

これまでにオーケストラを構成する楽器とその奏者たちを紹介してきましたが、オーケストラの演奏にはもうひとり、「指揮者」が必要です。有名な「ハンガリー舞曲第 5 番」を使って、子どもたちの代表者に実際にオーケストラの指揮をしていただきます。体験コーナー終了後、全曲を演奏します。

	♪*訪問校校歌演奏～みんなで歌おう！* 訪問校の校歌をフルオーケストラ伴奏に編曲、子どもたちの合唱と共演します。いつも歌っている校歌が、いつもより力強く会場いっぱいに響き渡ります。 ♪*管弦楽のためのラプソディ* フィナーレは、どこか懐かしい日本民謡のメロディーが西洋オーケストラの豊かな色彩感で奏でられる作品です。拍子木やウチワ太鼓、締太鼓、チャンチキなど、日本の伝統打楽器が大活躍、リズミカルで即興的な雰囲気で、コンサートをドラマティックに締めくくります。
演目選択理由	オーケストラという演奏形態を知ることによって、様々な個性とコミュニケーションの重要性を感じること、また「体験コーナー」で積極的に自分を表現することや未知の体験を楽しみ、挑戦してみることを学べるような構成を目指しています。 初めて目の前でオーケストラ演奏を聴く子供達、音楽が好きだったり楽器を習ったりしている子供達のどちらにも興味を持って参加してもらえるように、更に、クラシック音楽やオーケストラが、決して自分たちの普段の生活からかけ離れた存在ではなく、身近なものだと感じてもらえるように、様々な国や地域、異なる時代の作品から、音楽の授業で鑑賞教材として取り上げられる曲はもちろん、誰でもどこかで耳にしたことのあるような楽曲を選択しています。 また演奏の合間には指揮者による楽しい解説や、子供達が参加・体験するコーナーを設け、子供達が最後まで集中して参加できるようなプログラム構成としています。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	★音楽に合わせて手拍子 コンサート冒頭の「ラデツキー行進曲」は、演奏に合わせて手拍子を。鑑賞するだけでなく、会場のみなさんで楽しいコンサートに参加する、という和らいだ雰囲気になります。 ★楽器体験 大太鼓とシンバルの奏者として、子どもたちの代表者にオーケストラ演奏に参加してもらいます。簡単そうに見えても実は奥深い、打楽器奏者にチャレンジします。 ★*みんなで歌おう！訪問校校歌* 訪問校の校歌をフルオーケストラ伴奏にアレンジ、子どもたちの合唱と共演します。みなさんで元気な歌声を響かせましょう。 ★指揮者体験 「ハンガリー舞曲第５番」の一部分を使って、子供たちの中から数名に、指揮者に挑戦して頂きます。指揮者としてのステージマナーから、オーケストラへの合図の出し方や音の止め方など、本物の指揮者がユーモアを交えて指導しますので、どなたでも楽しく体験できます。
出　演　者	指揮とお話：円光寺雅彦【2020 年 10 月 26 日～10 月 31 日】 松本宗利音(札響指揮者)【2020 年 11 月 23 日～11 月 27 日】 管弦楽：札幌交響楽団（2 管 10 型）

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者：59 名 スタッフ：9 名 合　　計：68 名	機 材 等 運搬方法	積載量　4t、2t 車 長　最大 9.47m 台 数　各 1 台（計 2 台）

【公演団体名　札幌交響楽団　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(2 時間程度)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>9 時</td><td>9 時～11 時</td><td>13 時半～15 時</td><td>無し</td><td>15 時～17 時</td><td>17 時</td></tr></table>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td><table><tr><td>ワークショップ</td><td>実施校に合わせて対応いたします。</td></tr><tr><td>本公演</td><td>実施校に合わせて対応いたします。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>アンサンブルやソロ演奏の鑑賞と、各楽器の歴史とその構造、オーケストラでの役割についてなどのレクチャー、質疑応答を通して、オーケストラメンバーとの交流を行います。体育館や多目的スペースなど、広い場所に集まって実施しますが、なるべくステージなどは使用せず、可能な限り近い距離で演奏とお話をいたします。
本公演で行う「体験コーナー」の予告、ミニリハーサルも行います。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>ワークショップで訪問する演奏者個人に注目することにより、様々な演奏者が集まって「オーケストラ」という集団を構成していることを理解し、興味を持って本公演に参加できるように促します。アンサンブルとソロの演奏を鑑賞することにより、自己表現とコミュニケーションの重要性を感じ取ること、また音楽家という職業について考えてもらうことで、何か好きなことをみつけて努力を続けていくことの大切さを伝えたいと考えています。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>基本的には同様のプログラムで実施します。但し、普通校での実施以上に担当教員との事前打ち合わせを詳細に行い、注意点や要望を確認します。必要に応じて、お話や進行の仕方で柔軟に対応、曲目や楽器編成、派遣人員の調整を行うように工夫致します。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

令和2年度　文化芸術による子供育成総合事業（巡回公演）　札幌交響楽団

No.2　別紙メンバー表

ｺﾝｻｰﾄﾏｽﾀｰ	大平　まゆみ* 田島　高宏*	*は特別契約者	
1stヴァイオリン	飯村　真理 赤間　さゆら 井上　澄子 岡部亜希子 河邊　俊和 合田　有里 高木　優樹 竹中　遥加 ﾃﾞｨﾊﾟｽｸｱｰﾚ･ｳﾞｨﾝﾁｪﾝﾂｫ 橋本　幸子 三原　豊彦	ﾌﾙｰﾄ	髙橋　聖純 野津　雄太 川口　晃
		ｵｰﾎﾞｴ	関　美矢子 岩崎　弘昌 宮城　完爾
		ｸﾗﾘﾈｯﾄ	三瓶　佳紀 白子　正樹 多賀　　登
2ndヴァイオリン	桐原　宗生* 小林美和子 熊谷　勇大 佐藤　郁子 多賀　万純 土井　奏 冨田麻衣子 中村菜見子 福井　岳雄 山下　暁子	ﾌｧｺﾞｯﾄ	坂口　　聡 村上　　敦 夏山　朋子
		ホルン	山田　圭祐 杉﨑　瞳 岩佐　朋彦 島方　晴康 折笠　和樹
		ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	福田　善亮 鶴田　麻記 小林　昌平 佐藤　　誠
ヴィオラ	廣狩　　亮* 青木　晃一 荒木　聖子 鈴木　勇人 仁木　彩子 橋本純一郎 櫨本　朱音 水戸　英典 物部　憲一	ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	山下　友輔 中野耕太郎 田中　　徹
		ﾊﾞｽ･ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	野口　隆信
		テューバ	玉木　亮一
チェロ	石川　祐支* 猿渡　　輔 荒木　　均 小野木　遼 角野　友則 武田　芽衣 坪田　　亮 廣狩　理栄	ﾃｨﾝﾊﾟﾆ、打楽器	入川　奨 大家　和樹 大垣内英伸 細江　真弓
		ﾊｰﾌﾟ	エキストラ奏者
コントラバス	吉田　聖也 飯田　啓典 稲橋　賢二 大澤　　敬 斎藤　正樹 下川　朗		

（2019/8/3現在）

※上記は在籍する楽団員のリストです。この中から出番を調整して出演します。

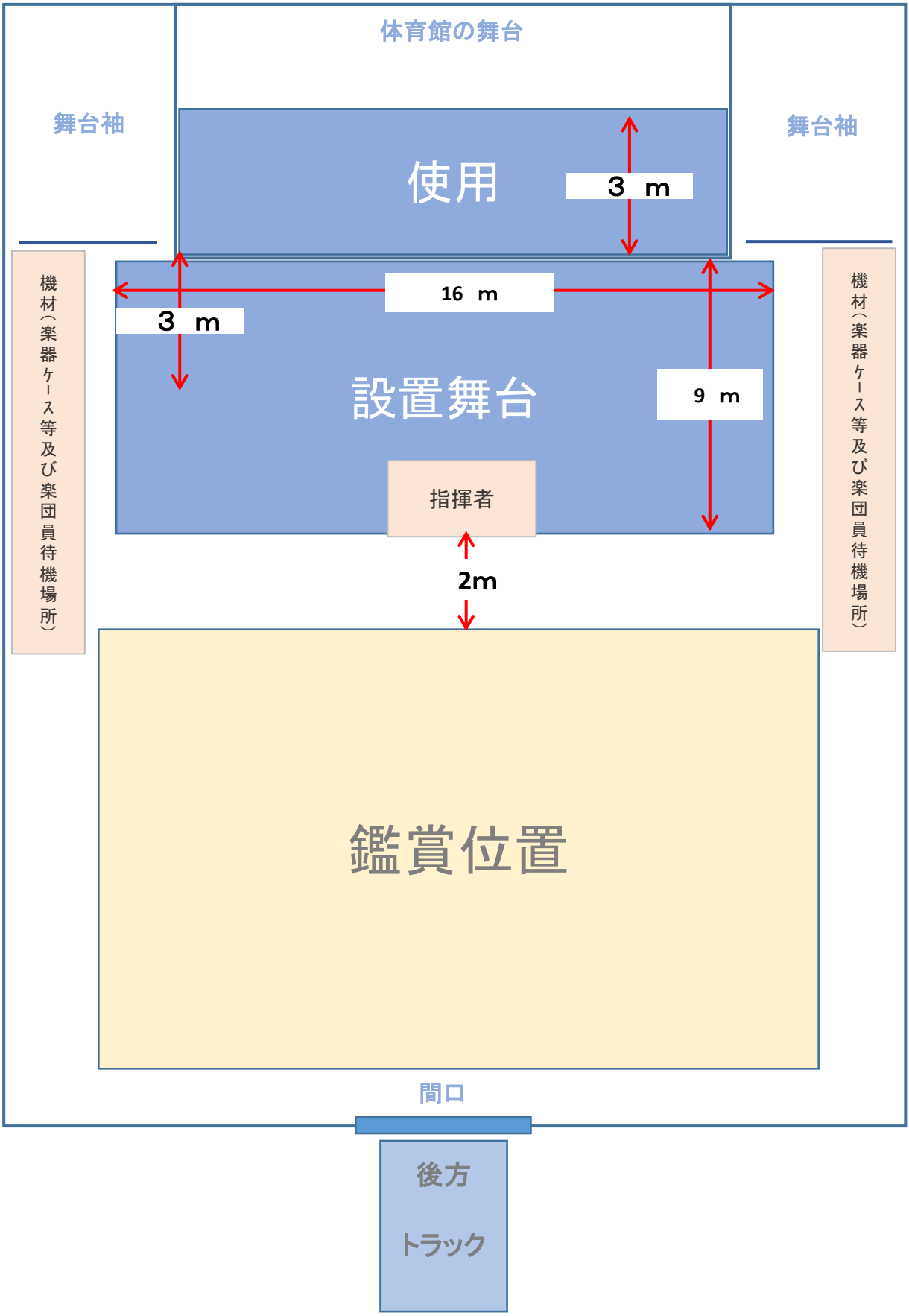
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C24	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	札幌交響楽団				制作団体名	公益財団法人　札幌交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	4室	条件	指揮者・ｺﾝｻｰﾄﾏｽﾀｰ各1室、男性約40名、女性約20名の着替え・食事等休憩用。ｶｰﾃﾝが有る部屋でお願いします。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4t・2tﾄﾗｯｸ　各1台	大型ﾊﾞｽ　2台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tﾄﾗｯｸ　9.47m*2.37m*3.39m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			通路、出入り口に余裕があること。屋根のある経路が望ましい。				
	／	理由			楽器搬入のため				
	可	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			学校の都合に合わせて実施致します。				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		約60分～80分					
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		鑑賞スペースに問題がなければ人数に制限はありません。					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	16m	奥行	ﾌﾛｱ　9m ｽﾃｰｼﾞ3m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	指定なし					
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	直射日光が当たる場合は必要となります。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	―	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
		楽譜が読める程度の照明							
		トーク用ワイヤレスマイク							
		演奏者用にパイプ椅子約100脚をご用意頂きます。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m程度		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

札幌交響楽団
文化芸術による子供育成総合事業

令和2年度　文化芸術による子供育成総合事業＜巡回公演＞
札幌交響楽団 演奏会

指揮とお話：円光寺雅彦、松本宗利音
【プログラム】
♪J.シュトラウス／ラデツキー行進曲
≪楽器紹介コーナー①弦楽器≫
♪モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1楽章
≪楽器紹介コーナー②木管・金管・打楽器＆ハープ≫
♪チャイコフスキー／バレエ「くるみ割り人形」より”花のワルツ”
≪楽器体験コーナー：歌劇「カルメン」トレアドールより≫
≪指揮者体験コーナー≫
♪ブラームス／ハンガリー舞曲第5番
♪みんなで歌おう！～訪問校校歌
♪外山雄三／管弦楽のためのラプソディ

公益財団法人 札幌交響楽団

未来を担う子供たちと
音楽の素晴らしさを共有したい

♪札幌交響楽団では、１年間にオーケストラ演奏会を約１２０公演開催しているほか、アンサンブル・楽器講習会などの教育・地域活動を約５０公演実施しています。

♪札響の奏でる音楽は、ＣＤなどの再生音楽とは違い、つねにその場で一度限りに生まれるものです。さらには、電気的に増幅されることもなく、演奏はコンピューターとも無縁です。演奏者と聴衆が共有する空気を、楽員と楽器が直接ふるわせるという、数百年変わらない様式の音楽を生み出すのがオーケストラです。
　私たちは、みなさまにオーケストラ音楽と出会うことの意味や価値を深く信じています。

～この演奏会があなたの永遠の宝物になるように～

© Rei Nakai NAKANISHI PUBLISHING CO.,LTD

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱,(オーケストラ等), 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・ (な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんおおさかふぃるはーもにーきょうかい 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会		
代表者職・氏名	理事長　　奥　正之		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒557-0041 大阪市西成区岸里 1-1-44(最寄り駅:大阪メトロ四つ橋線「岸里」駅)		
電話番号	06-6656-7711	ＦＡＸ番号	06-6656-7714
ふりがな 公演団体名	おおさかふぃるはーもにーこうきょうがくだん 大阪フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	常務理事　　松村　隆		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒557-0041 大阪市西成区岸里 1-1-44(最寄り駅:大阪メトロ四つ橋線「岸里」駅)		
制作団体設立年月	昭和 25(1950)年 3 月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:奥　正之 常務理事:松村　隆 常任理事:今井敏之　他 6 名 理事:安藤恭輔　他 14 名 監事:岡田達志　他 1 名 楽団員:72 名(内、特別契約 4 名) 事務局員:15 名(常勤雇用)	1. 正会員数　526 (平成 31 年 3 月末現在) 内　法人会員 266 社、個人会員 260 名 2. 加入条件 この法人の目的に賛同して入会した個人または法人で、毎年下記の会費を拠出するもの 会費　法人　年額20万円／口 個人　年額　5万円／口	

<table>
<tr><td>事務体制の担当</td><td colspan="2">(専任)・　他の業務と兼任</td><td>本事業担当者名</td><td>野瀬　遼太郎</td></tr>
<tr><td>経理処理等の監査担当の有無</td><td colspan="2">(有)　・　無</td><td>経理責任者名</td><td>荒堀　秀太</td></tr>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="4">昭和 22(1947)年 1 月　朝比奈隆を中心として大阪フィルの前身「関西交響楽団」を結成
昭和 25(1950)年 4 月　「社団法人関西交響楽協会」を設立し、関西交響楽団の助成にあたる
昭和 35(1960)年 5 月　関西交響楽団を一旦解散し、新たに「大阪フィルハーモニー交響楽団」を結成
昭和 57(1982)年 5 月　協会の名称を「社団法人大阪フィルハーモニー協会」に改める
平成　8(1996)年 4 月　社団法人大阪フィルハーモニー協会が、大阪フィルハーモニー交響楽団(任意団体)を統合
平成 24(2012)年 4 月　公益社団法人大阪フィルハーモニー協会に移行
平成 28(2016)年 7 月　大阪フィルハーモニー交響楽団第 500 回定期演奏会を開催
平成 29(2017)年 4 月　楽団創立 70 周年を迎える
平成 30(2018)年 4 月　第 3 代音楽監督に尾高忠明が就任</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="4">昭和 22 年の「関西交響楽団」結成当初から、オーケストラの普及活動のために学校の体育館や地元施設等、様々な場で学生のための公演を重ねてまいりました。
近年では、平成 26 年度・8 回、平成 27 年度・7 回、平成 28 年度・6 回、平成 29 年度・8 回、平成 30 年度・6 回、令和元年度・6 回(予定)学校団体を対象にした公演を行っているほか、小編成によるアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでおり、平成 26 年度・21 回、平成 27 年度・18 回、平成 28 年度・15 回、平成 29 年度・22 回、平成 30 年度・20 回、令和元年度・25 回(予定)学校の体育館などで演奏会やワークショップを行っています。
また、平成 11 年から毎年開催している自主事業「親子のためのオーケストラ体験教室」は、今年の夏休みで 20 年目を数えるロングラン企画となり、公演回数は 80 回超、観客動員数は延べ 2 万人を超えています。そのほか、企業や公益法人からの依頼による「ファミリーコンサート」なども手掛けています。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="4">平成 21 年度　奈良西養護学校(文化庁「本物の舞台芸術体験事業」)
平成 26 年度　柏崎特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」)
平成 29 年度　福岡市立南福岡特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」)
平成 30 年度　東京都立南花畑特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」)
令和元年度　兵庫県立いなみ野特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」)</td></tr>
<tr><td rowspan="8">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td colspan="2">(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td colspan="2">有　・　(無)</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td colspan="2">ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="4">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td colspan="2">(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td colspan="2">DVD を提出します</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td colspan="2">ID:
PW:</td></tr>
</table>

公演 ・ ワークショップの内容　　【公演団体名：大阪フィルハーモニー交響楽団】

対　　象	小学生（低学年 ・ 中学年 ・ 高学年）　・　中 学 生
企　画　名	＜Enjoy！オーケストラ＞
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	♪は体験型プログラム。 **1. ワーグナー／歌劇「ローエングリン」より　第 3 幕への前奏曲**（3 分） **2.【弦楽器紹介】** ヴァイオリンからコントラバスまで一つずつの音を聴いてもらいながら紹介（8 分） **3. チャイコフスキー／「弦楽セレナード」より　ワルツ**（5 分） **4.【管打楽器紹介】** 木管、金管、打楽器と順番に一つずつの音を聴いてもらいながら紹介（12 分） **5. ♪【指揮者体験コーナー】 ベートーヴェン／交響曲　第 5 番「運命」第 1 楽章より**（15 分） 〔次のプログラムは小学校、中学校で異なります〕 ＜小学校＞ **6. ♪【ボディ・パーカッション共演】**（10 分） ＜中学校＞ **6. ♪【オーケストラ分解演奏】** **スメタナ／交響詩「モルダウ」より**（10 分） **7. 貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より　道頓堀**（7 分） **8. ♪【全員合唱】 校歌　or　Believe　or　翼をください**（4 分） ＊学校からのご要望に合わせて、吹奏楽部や金管バンドとの共演等、他の内容に変更も可能です。 **9. ベートーヴェン／交響曲　第 5 番　ハ短調　作品 67「運命」より　第 3・4 楽章**（12 分） 〔アンコール曲〕 **10. J.シュトラウスⅡ世／トリッチ・トラッチ・ポルカ**（3 分） 公演時間（約 85 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	**1．ワーグナー／歌劇「ローエングリン」より　第 3 幕への前奏曲** 演奏会のオープニングはドイツを代表する作曲家、ワーグナーの歌劇「ローエングリン」より第 3 幕への前奏曲をお聴きいただきます。オープニングにふさわしい華やかで輝かしいオーケストラサウンドが会場いっぱいに広がり、一気に子どもたちをオーケストラの世界へと誘います。 **2．【弦楽器紹介】 楽器紹介その①** まず、オーケストラの主要セクションである弦楽器（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ）の音色を一つずつ紹介いたします。 **3．チャイコフスキー／「弦楽セレナード」より　ワルツ** 個々の弦楽器紹介に続いて、弦楽合奏を一曲聴いていただきます。チャイコフスキーの弦楽合奏曲「弦楽セレナード」よりワルツです。オーケストラならではの弦楽器だけで奏でられる温かな音色をお楽しみいただきます。 **4．【管打楽器紹介】 楽器紹介その②** 弦楽器に続いて、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ティンパニ、打楽器と、管打楽器を順番に一つずつ紹介いたします。 **5．♪【指揮者体験コーナー】 ベートーヴェン／交響曲　第 5 番「運命」第 1 楽章より** 3 名の代表児童・生徒にオーケストラの指揮を体験していただきます。指揮していただく曲は誰もが一度は耳にしたことがあるベートーヴェンの交響曲第 5 番「運命」の第 1 楽章冒頭。クラシック音楽史で最も有名な作品を指揮することができるまたとない機会ですので、代表の児童・生徒にとっては忘れられない体験になると同時に、鑑賞している児童・生徒にもわかりやすく指揮者の役割を説明いたします。 **〔次のプログラムは小学校と中学校で異なります〕** **6．☆小学校　♪【ボディ・パーカッション共演】** 手拍子をはじめ、自分の身体を叩いてリズムを刻むボディ・パーカッション。体を動かすことで子どもたちの気持ちもほぐし、楽しくオーケストラに参加いただきます。2～3 チームに分かれてそれぞれで違うリズムを叩いてもらい、リズムが組み合わさったときの楽しさや、全員で一体となったときの迫力を体験してもらいます。 **6．☆中学校　♪【オーケストラ分解演奏】 スメタナ／交響詩「モルダウ」より** オーケストラ全体の中で各楽器の役割はどのようになっているのか、それらがどのように組み合わさって作品が構成されているのか、スメタナの交響詩「モルダウ」を題材に解説いたします。自然描写の傑作「モルダウ」の一部分を楽器の役割ごとに分解演奏し、オーケストラならではの表現力の素晴らしさを感じていただきます。 **7．貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より　道頓堀** 大阪出身の作曲家で、指揮者やヴァイオリニストとしても活躍した貴志康一の作品をお届けします。大阪を代表する繁華街「道頓堀」の名がついたこの曲は、日本を紹介する映画のために作曲した作品を組曲にまとめた「日本組曲」の第 3 曲にあたります。大阪の街並みや賑わいを音で表現した作品をお楽しみください。 **8．♪【全員合唱】 校歌　or　Believe　or　翼をください** オーケストラの伴奏に合わせて一緒に歌っていただきます。校歌を選択された場合、今回のためにオーケストラアレンジした伴奏譜をプレゼントさせていただきます。なお、このコーナーは学校からのご要望に応じて、吹奏楽部や金管バンドとの共演にも変更可能です。

	9．ベートーヴェン／交響曲　第 5 番　ハ短調　作品 67「運命」より　第 3・4 楽章 2020 年に生誕 250 年を迎える作曲家ベートーヴェンの代表作「運命」。第 1 楽章は誰もが知っているメロディーですが、今回は苦悩を乗り越え輝かしい未来へと進んでいく第 3 楽章と第 4 楽章を演奏いたします。フル・オーケストラのダイナミックな演奏と圧倒的なサウンド感を最後まで堪能いただきたいと思います。
演目選択理由	様々な種類の楽器が集まっているオーケストラ。そのダイナミックで多彩な響きを目の前で子どもたちに存分に　①見て・聴いて　②体感してもらえる作品・企画　をご用意いたしました。 子どもたちにオーケストラ作品の魅力を全身で感じてもらい、本事業の目的である、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上に寄与できる内容をお届けいたします。 **①見て・聴いて** **☆本格的な作品を鑑賞** オープニングにドイツの作曲家ワーグナーの歌劇「ローエングリン」より第 3 幕への前奏曲を演奏し、冒頭から圧倒的なフル・オーケストラのサウンドで子どもたちの心を掴みます。メインには生誕 250 年を迎えるベートーヴェンの交響曲第 5 番「運命」より第 3・4 楽章をお聴きいただき、本格的なクラシック作品を通して、オーケストラの醍醐味を味わっていただきます。 **☆楽器の特徴を知り、興味を持ってもらう** オープニングの演奏後、最初に楽器ごとの紹介をいたします。楽器の音色を一つずつ聴いてもらうことで、オーケストラを構成する楽器の種類や数、またどこに配置されているかを理解してもらい、よく似た楽器でもそれぞれ音色が違うことを知っていただきます。最初に楽器紹介をすることで、その後の演奏がより楽しめるように工夫しています。 **☆大阪ならではのプログラムも披露** 大阪生まれの作曲家で、指揮者やヴァイオリニストとしても活躍した貴志康一（1909-1937）の大管弦楽のための「日本組曲」より“道頓堀”を披露いたします。28 歳という若さでこの世を去った貴志康一が大阪の繁華街「道頓堀」を描写し、人情味あふれる大阪の街の賑わいを音で表現しました。大阪を拠点に活躍する大阪フィルならではのレパートリーとして、この作品を広く知っていただくきっかけになればと思っています。 **☆指揮者によるわかりやすい説明で進行** 指揮者自らが司会進行を務め、オーケストラを初めて聴く子どもたちにもわかりやすく興味を持ってもらえるようにいたします。音楽鑑賞会や子ども向けコンサートの経験豊富な人材を指揮者に起用し、専門的な知識を児童・生徒でも理解できるような平易な言葉に置き換えて解説いたします。 **②体感して** **☆体験型プログラムの充実** 普段クラシック音楽に触れる機会の少ない児童・生徒にも楽しんでもらえるよう、体験型プログラムを充実させています。小学校向けには指揮者体験とボディ・パーカッション、中学校向けには指揮者体験とオーケストレーション（楽器の組み合わせ）を分かりやすく解説する分解演奏という体験型プログラムをご用意しています。指揮者体験では、指揮する人が変われば演奏に違いが出るということを、鑑賞している児童・生徒にも実感していただけることと思います。また、ボディ・パーカッションではリズムが組み合わさって全体でひとつのものを表現する

	醍醐味を、分解演奏では各楽器に与えられた役割を解説し、作曲家の意図した楽器の組み合わせが、見事なハーモニーを生み出していることを実感していただけると思います。 **☆全員参加型のプログラムを用意** 全員が参加できる合唱プログラムをご用意しています。普段の授業や学校生活の中で楽しく合唱に取り組んでいただき、充実した共演にできればと思います。なお、学校からのご要望に応じて全員合唱以外にも、吹奏楽部や金管バンドとの共演等、様々な共演にも対応いたします。児童・生徒にとってオーケストラとの共演が一生の思い出となるよう、ご要望に応じたプログラムを実現いたします。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	**☆指揮者体験** 3 名の代表児童・生徒にオーケストラの指揮を体験していただきます。体験の前に指揮の基本動作についてわかりやすく実演を交えて解説し、鑑賞している児童・生徒にも、指揮者の役割や指揮者が変われば演奏に違いが出てオーケストラの演奏がどの様に変化するのかを、見て・聴いて体感していただきます。 **☆ボディ・パーカッション** ＜小学校＞ 2～3 チームに分かれ、手拍子をはじめ自分の身体を使って、違うリズムを叩いていただきます。それぞれのリズムが組み合わさるとどのような作品になるのか、また全員が一体となってリズムを奏でたときの醍醐味を体感していただきます。打楽器奏者が先導し、最初にそれぞれのリズムを練習してから全員で共演するので、その場ですぐに参加可能です。 **☆オーケストラと共演** 各校の校歌、杉本竜一作曲の「Believe」、村井邦彦作曲の「翼をください」などから1曲選択いただき、オーケストラの伴奏に合わせて全校児童・生徒に歌っていただきます。 また、ご要望に応じて、吹奏楽部や金管バンドとの共演、普段授業で取り上げている器楽合奏曲をオーケストラとの共演用に特別にアレンジし、オーケストラと一緒に演奏することも可能です。是非、お気軽にご相談ください。
出　演　者	指　揮：角田 鋼亮（つのだ こうすけ） ほか 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団（3管12型）　※「No.2 別紙メンバー表」参照

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出　演　者 ： 69 名 ス タ ッ フ ： 9 名 合　　計 ： 78 名	機 材 等 運搬方法	積載量　4 t 車　長　8.15 m 台　数　1 台

【公演団体名：大阪フィルハーモニー交響楽団】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。	
会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安	・前日仕込み（ 有 ・ (無) ） ・会場設営の所要時間（ 1.5 時間程度 ） ・タイムスケジュール **9:30 搬入・設営** **10:30 出演者到着** **11:30 リハーサル** **｜** **12:30 終了** **13:30 開演** **｜** **15:00 終演** **16:30 撤収完了** ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。	
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	**鑑賞エリアのスペースが確保できれば全校児童・生徒参加可能**
	本公演	**鑑賞エリアのスペースが確保できれば全校児童・生徒参加可能**

ワークショップ実施形態及び内容	下記の中からお選びいただけます。 **☆課外授業＆ミニコンサート** 各学校を 2～3 名のメンバーが訪問し、課外授業＆ミニコンサートを行います。 オーケストラを構成している楽器の種類について説明したのち、実際に訪問したメンバーが担当している楽器の演奏を聴いていただきます。また、それぞれの楽器の歴史、構造や音が鳴る仕組み、音楽家としての仕事内容など、メンバーの口からわかりやすくお話いたします。 また、体験用の楽器を用意し、メンバーの指導で実際に楽器に触れていただき、音を出してみる体験コーナーを設けることも可能です。体験用の楽器は大阪フィルでご用意いたします。 **☆吹奏楽部のレッスン** 2～3 名のメンバーが訪問し、約 2 時間のレッスンを行います。現在取り組んでいる作品、共演曲のパートレッスンや合奏指導等、学校のご要望に応じて指導いたします。 ＊吹奏楽部に限らずオーケストラ部や弦楽部の指導も可能です。
ワークショップ実施形態の意図	**☆課外授業＆ミニコンサート** オーケストラで訪れる本公演を前に、まずはオーケストラや楽器への関心を持っていただけるように、メンバー自らがそれぞれの楽器の歴史や音が鳴る仕組みなどを説明し、その音色を楽しんでいただける課外授業＆ミニコンサートを実施いたします。なお、小学校では、低学年と高学年で集中力や知識・体力の差が大きく、大人数では密接な交流を図ることが難しいので、小学校の授業時間（＝45 分）を 1 コマとし、低学年と高学年あるいは特定の学年を対象に 2 コマに分けてワークショップを行うことも可能です（コマ数については、生徒数に配慮し、各学校のご要望に沿って調整させていただきます）。 **☆吹奏楽部のレッスン** 日本には、クラブ活動で吹奏楽部などに参加し、音楽活動に熱心に取り組む学生が数多く在籍しています。そのような学生にとって、プロの演奏家から直接指導を受けられる機会は大きな刺激になります。プロならではの視点で、普段の基礎練習や現在取り組んでいる曲に役立つメニューを中心に指導いたします。
特別支援学校での実施における工夫点	各支援学校の状況に応じて、公演時間の短縮や共演方法など、場合によっては演目の一部差し替えなども含め、柔軟に対応させていただきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

No.2 別紙メンバー表

大阪フィルハーモニー交響楽団　メンバーリスト

（令和元年11月1日現在）

ソロ・コンサートマスター
崔　文洙

コンサートマスター
須山　暢大

第一ヴァイオリン
石塚　海斗
神﨑　悠実
黒瀬　奈々子
三瀬　麻起子
鈴木　玲子
林　佳南子
表　ボルン
藤木　愛
力武　千幸

第二ヴァイオリン
浅井　ゆきこ
市野　桂子
久貝　ひかり
小林　亜希子
高木　美恵子
田中　美奈
中西　朋子
宮田　英恵
横山　恵理

ヴィオラ
井野邉　大輔
岩井　英樹
上野　博孝
川元　靖子
木下　雄介
佐藤　まり子
周　　平
松本　浩子
米田　舞

チェロ
石田　聖子
近藤　浩志
庄司　拓
田中　賢治
花崎　薫
林口　眞也
松隈　千代恵
諸岡　拓見

コントラバス
秋田　容子
池内　修二
サイモン・ポレジャエフ
松村　洋介
三好　哲郎
山田　俊介

フルート
井上　登紀
田中　玲奈
野津　臣貴博

オーボエ
浅川　和宏
大島　弥州夫
大森　悠
水村　一陽

クラリネット
金井　信之
田本　摂理
船隈　慶

ファゴット
久住　雅人
小林　佑太朗
日比野　希美

ホルン
蒲生　絢子
高橋　将純
藤原　雄一
和久田　侑希

トランペット
秋月　孝之
篠﨑　孝
高見　信行
松原　健二

トロンボーン
ロイド・タカモト
福田　えりみ
吉田　勝博

テューバ
川浪　浩一

打楽器
井口　雅子
中村　拓美
堀内　吉昌

ハープ
平野　花子

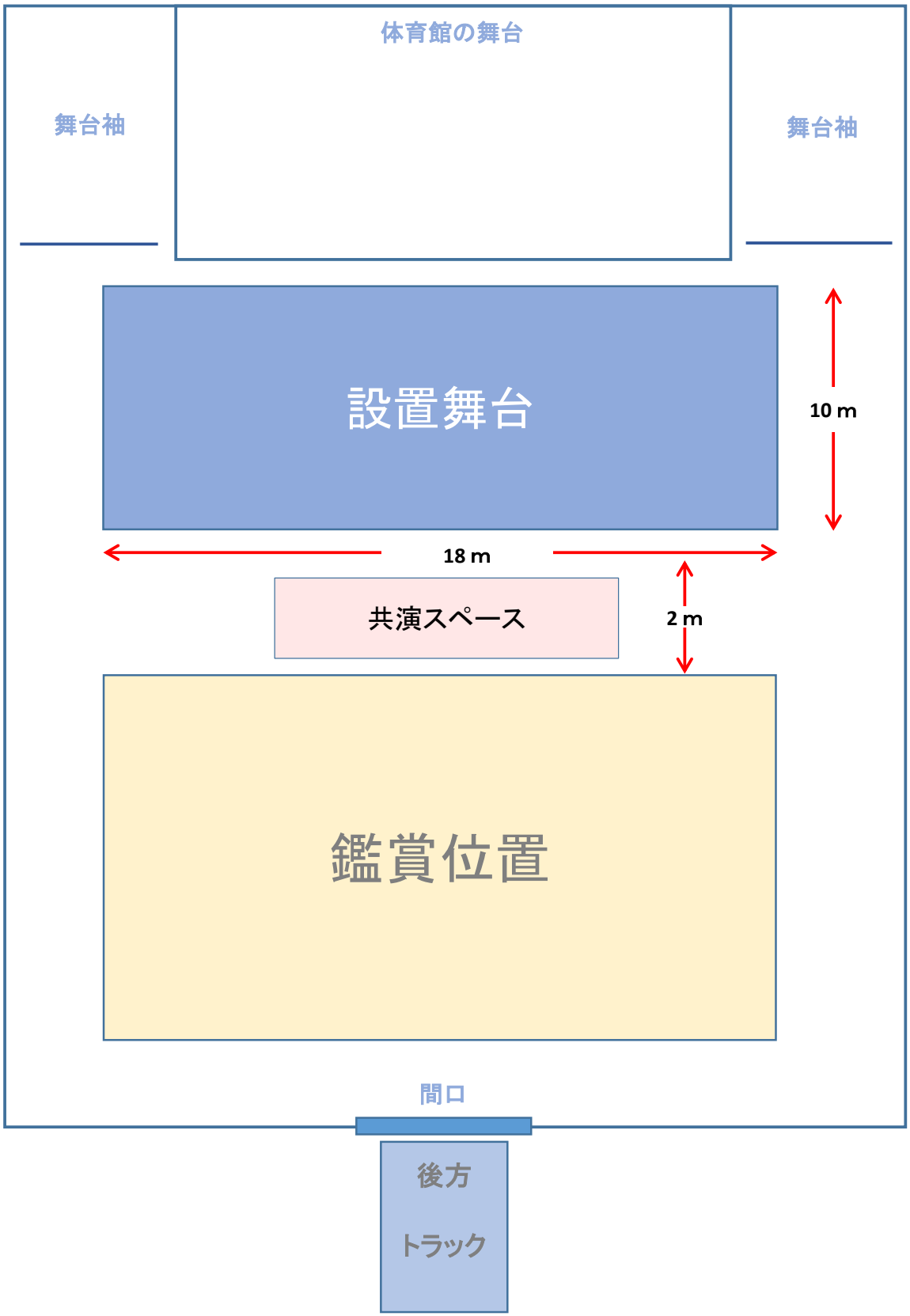
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C25	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	大阪フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	公益社団法人　大阪フィルハーモニー協会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	4室	条件	指揮者（1名）、コンサートマスター（1名）、楽団員男性（約35名）、楽団員女性（約35名）が必要です。食事および着替えを行いますので、飲食可能でカーテンもしくは目張りのある部屋を希望します。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	大型バス　2台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック（幅2.5m×高さ3.5m×長さ8.5m）				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	―	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			屋根のある経路が望ましい。				
		理由			コントラバスや打楽器等の大型楽器を搬入するため				
	―	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	2.1m			
WSについて	―	参加可能人数		問わない（スペースが許す限り可能です）					
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		小学校：45分程度×2コマ （低学年と高学年に分けてのWSが望ましい） 中学校：60～70分程度×1コマ					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	―	鑑賞可能人数		問わない（スペースが許す限り可能です）					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	18m	奥行	12m	高さ	―	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要					
	―		舞台袖スペースの条件＊	―					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由	―			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	ステージ前方にある場合は不可					
	―	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	可	学校内が土足不可の場合、スリッパを80足借用させていただきたく存じます。							
	不可	本番時に本番用の黒靴（土足とは別の靴です）を着用して演奏させていただきたく、ご許可願います。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2.1m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

大阪フィルハーモニー交響楽団
「文化芸術による子供育成総合事業」

本公演の数ヶ月前に行う『ワークショップ』では、大阪フィルの楽団員 2~3 名が学校を訪問し、それぞれの楽器の仕組みや個性を生かしたソロ演奏を聴いていただきながら、本公演に向けて関心を高め、音楽を聴く楽しさを体感していただきます。
本公演では、70 名を超えるフルオーケストラ・大阪フィルハーモニー交響楽団が各校を訪問し、体育館で演奏会を行います。ワークショップで聴いた個々の楽器の魅力、その楽器の響きが重なり合うことにより、新たな世界が生みだされるオーケストラの魅力を全身で体感していただきます。

♪ワークショップの様子

☆それぞれの楽器について詳しく説明！実際に演奏を聴いていただいて本公演への期待を高めます。

♪コンサートの様子

☆目の前で聴くフルオーケストラの演奏は迫力満点！指揮者体験や合唱共演なども予定しています。

～公演内容～

〈 Enjoy！オーケストラ 〉

♪は体験型プログラム。

１．ワーグナー／歌劇「ローエングリン」より　第３幕への前奏曲

２．【弦楽器紹介】ヴァイオリン、チェロ等、一つずつの音を聴いてもらいながら紹介

３．チャイコフスキー／「弦楽セレナード」より　ワルツ

４．【管打楽器紹介】フルート、ホルン、ティンパニ等、一つずつの音を聴いてもらいながら紹介

５．♪【指揮者体験コーナー】

ベートーヴェン／交響曲　第５番「運命」第１楽章より

６．〔次のプログラムは小学校、中学校で異なります〕

＜小学校＞♪【ボディ・パーカッション共演】

＜中学校＞♪【オーケストラ分解演奏】

スメタナ／交響詩「モルダウ」より

７．貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より　道頓堀

８．♪【全員合唱】校歌　or　Believe　or　翼をください　など

※学校のご要望に合わせて、吹奏楽部や金管バンドとの共演等、変更も可能です。

９．ベートーヴェン／交響曲　第５番「運命」より　第３・４楽章

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	○児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り ・ ○ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじん　げきだんのばら 一般社団法人劇団野ばら		
代表者職・氏名	代表理事　北川明光		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒203-0012 東京都東久留米市浅間町 2-9-8(西武池袋線・東久留米駅)		
電話番号	042-439-9778	ＦＡＸ番号	042-439-9779
ふりがな 公演団体名	いっぱんしゃだんほうじん　げきだんのばら 一般社団法人劇団野ばら		
代表者職・氏名	代表理事　北川明光		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒203-0012 東京都東久留米市浅間町 2-9-8(西武池袋線・東久留米駅)		
制作団体設立年月	一般社団法人 2016 年　4 月		
制作団体組織	役　職　員 **代表理事　北川明光** **理事　保坂　淳** **理事　関　明**	団体構成員及び加入条件等 **構成員 12 人(演技部 8 人　演出部 1 人　制作部 2 人　事務局 1 人)** **演技部員はオーデション実施後、面接により面接により採用する)**	
事務体制の担当	○専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**北川明光**
経理処理等の監査担当の有無	○有　・　無	経理責任者名	**山形重和**

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">劇団野ばらは 1970 年の創立以来、創作劇を作り続け全国の学校、委員会主催の鑑賞会で高い評価をいただき実績を続けてまいりました。2016 年 4 月一般社団法人化へ移行し、現在に至っております。
初演作品「ぞうとじゃがいも」から「花のメルヘン」「小さな虫の大冒険」「三羽ガラス」
「ともだち」（厚生省児童福祉審議会推薦作品）「サルと少年」「虫たちのファンタジー」「アリスがくれた不思議な時間」（厚生労働省社会保障審議会推薦作品）等、全ての創作劇作品は『公益社団法人日本児童青少年演劇協会』主催の地方巡回公演に採択されています。また、毎年のように、「北海道教育委員会主催」の巡回小劇場公演にも採択され巡回しております。
申請作品「あしたあさってしあさって」の演出には、劇団前進座で歌舞伎、演劇の演出を担当している、演出家香川良成氏を迎え、その演出手法は多方面で注目され、最近の児童演劇界では特質される良質な作品に仕上がっている。
平成 30 年 3 月に劇団初めての宮澤賢治名作童話「どんぐりと山猫」「セロ弾きのゴーシュ」を構成劇「山の風から聞いた話」として取り組み各方面より高い評価を頂きました。
初めての名作童話の上演は、今後の劇団の方向性を模索する上で貴重な公演でした。また役者にも大きな自信に繋がる内容、作品でした。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">■平成 28 年度年間 70 日の公演実績「あした」50日公演 「山の風」20 日公演
■平成 29 年度年間 80 日の公演実績「あした」60 日公演 「山の風」20 日公演
■平成 30 年度年間 60 日の公演実績「あした」60 日公演
■令和元年度公演予定 75 日を予定

●首都圏演劇鑑賞会
●公益社団日本児童青少年演劇協会主催『児童青少年演劇地方巡回公演』
兵庫県、鹿児島県
●北海道教育委員会主催「市町教育委員会」
●北九州市芸術鑑賞会</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">北海道立網走養護学校・北海道立紋別養護学校
石川県立七尾養護学校・福井県立福井養護学校
東京都立田無特別支援学校
大分県立中津支援学校（平成 30 年 6 月）
佐賀県立唐津特別支援学校（平成 30 年 10 月）
佐賀大学付属特別支援学校（令和元年 6 月）
大分県立別府支援学校（令和元年 6 月）
大分県立日出支援学校（令和元年 12 月の予定）</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>○有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>○有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

Ａ区分・Ｂ区分・Ｃ区分共通

№2(実演芸術)

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　一般社団法人劇団野ばら】**

対　　象	○小学生(○低学年 ・ ○中学年 ・ ○高学年)　・　中 学 生
企画名	創作劇「あした あさって しあさって」
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	創作劇「あした あさって しあさって」 脚本 かめおか ゆみこ 演出 香川 良成 音楽 小椋 佳 /田島美津子 振付 畠山 典子　　公演時間(70 分)

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演 目 概 要	テーマ》 主題歌で〝あした あさって しあさって、光は満ちる繋いだ手と手の上に〟と歌いますが、「人と人とが繋ぎ合って、未来を創っていくんだ」というメッセージをもとに、子供たちに生きる勇気と喜びを与えることが作品のテーマです。 《あらすじ》 主人公の健太郎は、自分勝手でたいへん乱暴な小学校4年の男の子。 ゲーム機で遊んでいた健太郎は、ある事件で気を失い倒れてしまう。 気がつくと、そこはゲームの世界------ 今までいじめていたカエルや猫、小鳥やトンボの魔物たちが次々と現れ、健太郎に復讐をする------ 魔物たちとの葛藤と交流のなかで、健太郎は次第に優しさをとりもどしてゆくが、そこに、ゲーム機の中では絶対の権力者であるドラゴンが登場し、健太郎にある命令を与え「この命令ができなければ、お前は永遠にゲームの世界から抜け出すことができない！」と言った。 果たして、健太郎はゲームの世界から抜け出し、現実の世界に戻ることができるのでしょうか…。 《舞台表現上の工夫》 3人がかりで操る大きなドラゴンをはじめ、積み木を使った場面ごとのセットのおもしろさ、また、歌や効果的な演出で、観客は物語の中に吸い込まれていきます。音楽性も豊かに、エピローグでは子供たちと一緒に合唱し、感動の内に幕になります。
演目選択理由	公演した小学校で、小椋桂作曲の主題歌と金子みすゞの「わたしと小鳥とすずと」の 2 曲とともに、子供たちに生きる勇気と喜びを与えてくれる、と高い評価を得ています。日本を代表する演出家のひとり、香川良成の渾身の演出で、香川演出の代表作のひとつとなっています。 また、クリエイティブな舞台セットや道具は、学芸会や学習発表会に活用してもらえるものと思います。現代の子供たちに「生きる勇気と喜びを」ということで、この演目を選択しました。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	主題歌「きのう悲しみに出会った君は」と「わたしと小鳥とすずと」の2曲を収録した CD を事前に学校にお届けし、校内放送や学級で流してこの曲に親しんでいただきます。 当日は、劇のエピローグで、事前にワークショップに参加したグループに舞台に立っていただき、振りを交えて、全校児童が 2 曲を大合唱します。 また、終演後に時間の許す限り児童の皆さんが劇の感想を述べたり、質問をするコーナーを設けて、交流をします。
出　演　者	保坂 淳・平田敦史・高崎史人・柿境佑季子・平田美穂・櫻田 和

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　6名 スタッフ:　3名 合　計:　9名	機 材 等 運搬方法	積載量　2t 車 長　7m 台 数　1台

【公演団体名　一般社団法人劇団野ばら】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>時</td><td>7 時～10 時</td><td>13 時～14 時 10 分</td><td>0 分</td><td>15 時～ 17 時</td><td>17 時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>
<table>
<tr><td>ワークショップ</td><td>30 人～50 人</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>300 人～400 人</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>■指導者・補助者と一緒に、身体の解放・心の解放・声の解放をおこないます。
・事前の鑑賞指導 20 分
作品中に出てくる童謡詩人金子みすゞについての生涯を朗読します。
・実技指導 40 分
身体訓練と簡単な脚本を使い劇の上演指導。
①　目的は子ども達の創造力、想像力の育成。② コミュニケーション能力の育成。
・共演の指導 20 分
エピローグで私たちと共演するため、劇中で歌われる「わたしと小鳥とすずと」の、主題歌の歌と振り付けを指導します。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>子供たちが普段閉ざしているものを解放し、新しい自分の発見につながることを願います。
自分の本当の気持ちを他人(ひと)に伝えること″は、作品のメッセージのひとつです。
このワークショップを児童の皆さんに、心の声(本当の気持ち)が表現できるようになるためのきっかけにしてほしいと思います。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>特別支援学級の児童をまじえての公演では、台本を事前に渡して、当日は OHP やプロジェクターで、舞台横に台詞を映しだしたりします。
3人で操る大きな怪獣ドラゴンをはじめ、手遣い人形や差し金の人形を取り入れた演出、照明の効果によって、場面の状況を解かりやすくしています。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

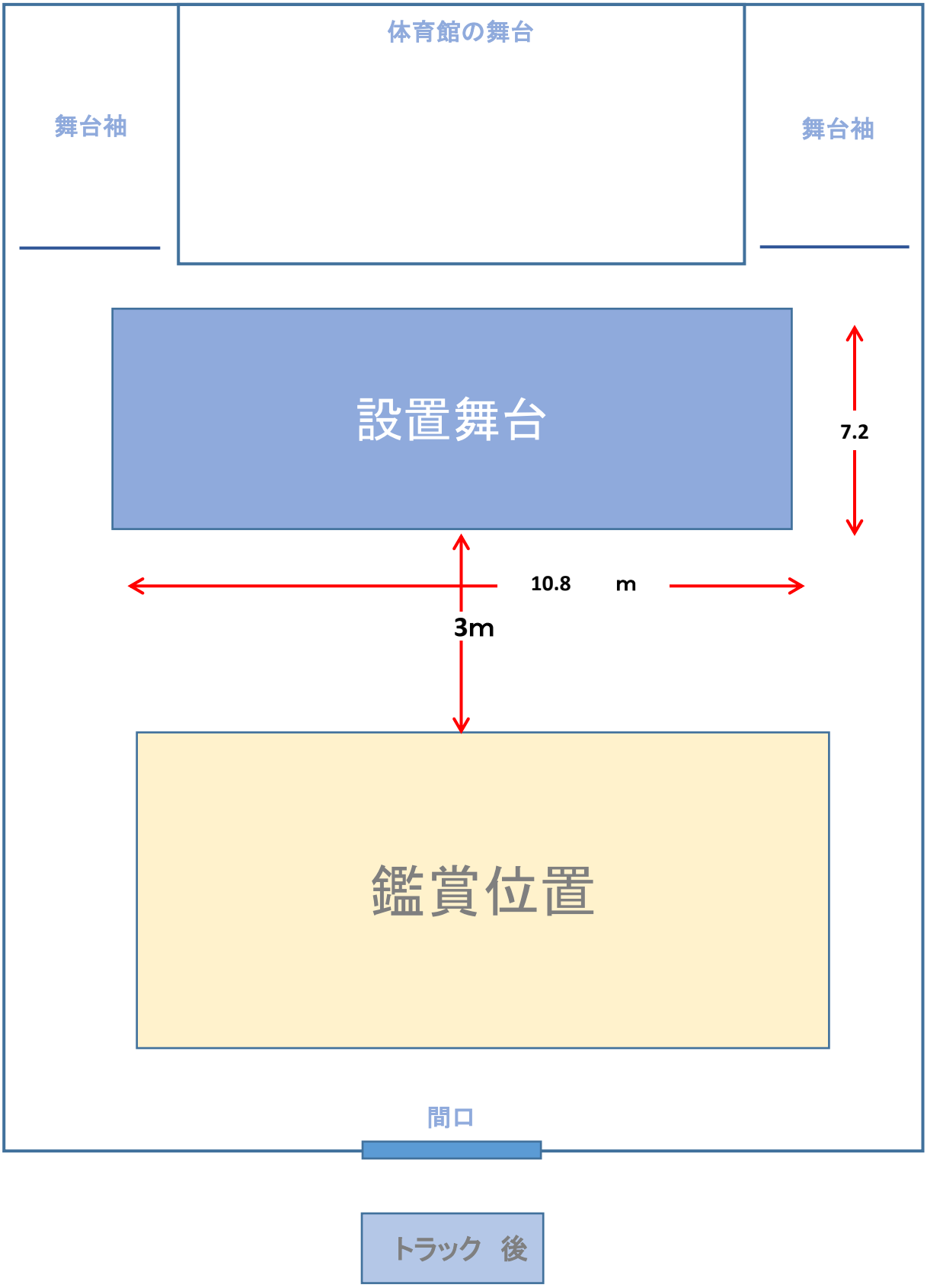
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C26	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	一般社団法人劇団野ばら				制作団体名	一般社団法人劇団野ばら			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男女着替えのため、カーテンの仕切りが必要				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台		中型バス　1台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			6m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			問わない				
		理由							
	可	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		40人以内					
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊		高学年		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		400人以内					
	可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	10.8m	奥行	7.2m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		袖に荷物がない状態				
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	演出効果・暗転用			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		65A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和元年度
文化芸術による子供育成総合事業 －巡回公演事業－
劇団野ばら　児童劇公演

「文化芸術による子供育成総合事業　－巡回公演事業－」

我が国の一流の文化芸術団体が，小学校・中学校等において公演し，子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより，子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成，将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは，子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また，実演では，できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

自分たちの生きている国、生きている時代から、つねに目をそらさず、同じ時代に生きる子どもたちとともに「生きていることのよろこび」を共有できるような舞台をつくりたい ――― それが私たちの変わらぬ願いなのです。

創作劇

あした　あさって　しあさって

【あらすじ】

主人公の健太郎は、自分勝手でたいへん乱暴な小学４年の男の子。

ゲーム機で遊んでいた健太郎は、ある事件で気を失い倒れてしまう。

気がつくと、そこはゲームの世界――

今までいじめていたカエルや猫、小鳥やトンボの魔物たちが、次々と現れ、健太郎に復讐をする。魔物たちとの葛藤と交流の中で、健太郎は次第に優しさをとりもどしてゆくが……。

実施日程	実施校名	地元主催者
2019年11月18日（月）	勝浦市立上野小学校	千葉県教育委員会
2019年11月19日（火）	鴨川市立天津小湊小学校	千葉県教育委員会
2019年11月20日（水）	富津市立飯野小学校	千葉県教育委員会
2019年11月21日（木）	千葉市立越智小学校	千葉市教育委員会
2019年11月22日（金）	市原市立牛久小学校	千葉県教育委員会／市原市教育委員会
2019年11月25日（月）	行方市立麻生東小学校	茨城県教育委員会
2019年11月26日（火）	ひたちなか市立那珂湊第二小学校	茨城県教育委員会
2019年11月27日（水）	桜川市立南飯田小学校	茨城県教育委員会
2019年11月28日（木）	八千代町立下結城小学校	茨城県教育委員会・八千代町教育委員会
2019年11月29日（金）	つくば国際大学東風小学校	茨城県教育委員会
2019年12月 2 日（月）	甲州市立井尻小学校	山梨県
2019年12月 3 日（火）	笛吹市立石和東小学校	山梨県
2019年12月 5 日（木）	立川市立第九小学校	東京都、立川市
2019年12月 6 日（金）	西東京市立住吉小学校	東京都、西東京市
2019年12月 9 日（月）	板橋区立志村小学校	東京都、板橋区
2019年12月10日（火）	立川市立幸小学校	東京都、立川市

知ってますか？　～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で，翌年の1978年から毎年10月1日を，世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では，1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，(演劇)，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)　・　A区分とB区分の両方　・　C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃでらしねら 株式会社デラシネラ		
代表者職・氏名	代表取締役・小野寺修二		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒113-0034 東京都文京区湯島 2-4-3-808 (JR 御茶ノ水駅)		
電話番号	03-3816-7603	ＦＡＸ番号	03-3816-7603
ふりがな 公演団体名	かんぱにーでらしねら カンパニーデラシネラ		
代表者職・氏名	主宰・小野寺修二		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒113-0034 東京都文京区湯島 2-4-3-808 (JR 御茶ノ水駅)		
制作団体設立年月	2008 年　3 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　小野寺修二 代表取締役　小野寺桃子	構成員の数：２名(左記の役職員) 加入条件:カンパニーデラシネラ活動の普及と、より深化した芸術活動を目指す	
事務体制の担当	(専任)・　他の業務と兼任	本事業担当者名	藤田桃子
経理処理等の監査担当の有無	(有)・　無	経理責任者名	日野一義

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">代表・小野寺修二はマイムカンパニー「パフォーマンスシアター水と油」を結成し、1995 年～2006 年まで活動。その後「カンパニーデラシネラ」を立ち上げる。活動の継続が認められ、財団等から依頼を受け演出を担当することも多い。
静岡芸術劇場（「オイディプス」2012 年、「変身」2014 年・2017 年）、高知県立美術館（「異邦人」2010 年、「ドン・キホーテ」2016 年）、神奈川芸術劇場（「ゲーム」2012 年、「Without Signal!」2017 年）、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館（「オフェリアと影の一座」2016 年）、新国立劇場（「カラマーゾフの兄弟」2012 年、「ある女の家」2014 年、「ふしぎの国のアリス」2017 年 2020 年）、東京芸術劇場（「あの大鴉、さえも」2016 年）、世田谷パブリックシアター（「現代能楽集Ⅸ 「竹取」2018 年」など。劇場での一般公演の他、マイムを出発とした身体表現の強みを活かし、青少年へのアプローチに積極的につとめている。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">平成 27 年度「ロミオとジュリエット」
豊橋穂の国とよはし芸術劇場プラット主催　中学生鑑賞事業4校
宮崎県立劇場主催　中学生鑑賞事業　2校

平成 28 年度「ドン・キホーテ」
高知県立美術館主催　小中学校鑑賞事業　5校

平成 29 年度「ロミオとジュリエット」
長野県長野市:信州大学附属長野小学校　1 公演

平成 30 年度「ドン・キホーテ」
豊橋穂の国とよはし芸術劇場プラット主催　中学生鑑賞事業4校
岡山県福武教育文化振興財団主催　小学校鑑賞事業　1校

令和元年度「ドン・キホーテ」
北区文化振興財団主催　スクールコンサート　1校
宮崎県都城市総合文化ホール主催　小中学校鑑賞事業3校</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">平成 29 年度「ロミオとジュリエット」
筑波大学附属大塚特別支援学校　1 公演

平成 30 年度「ドン・キホーテ」
筑波大学附属大塚特別支援学校　1 公演</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.youtube.com/watch?v=Y5KrlYctIhw</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:　なし
PW: なし</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容 **【公演団体 カンパニーデラシネラ 】**

対　　象	小学生（低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	カンパニーデラシネラ『ドン･キホーテ』
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	『ドン・キホーテ』 原作／ミゲル・デ・セルバンテス 演出／小野寺修二 テキスト／山口茜 美術／石黒猛 公演時間（ 60 分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演 目 概 要	カンパニーデラシネラがお送りする体育館におけるパフォーマンス セルバンテスの名作『ドン・キホーテ』は、”騎士”を夢想する破天荒な男の珍道中。全編上演は数時間かかるこの古典を、子供から大人まで楽しめる身体表現を織り交ぜた一時間の作品に仕上げました。 カンパニーデラシネラは、劇場での作品発表の他、野外や小学校に出向いての本格的な舞台作品を創作しています。舞台と客席の境界線を取払い、同じ地平となることを目標に、劇場に足を運ぶ機会が少ない方と出会える機会を模索しています。演出家小野寺修二はパントマイム出身で、身体性に富んだ舞台作品を数多く発表。またこのプロジェクトは、プロダクトデザイナー石黒猛を美術家として迎え、作品中の様々な小道具が電動で動く仕組みとなっています。体育館という日常の空間は、デラシネラと石黒猛の美術によって異空間へと誘われ、観客の想像力によって大いなる非日常へと飛躍します。
演目選択理由	広く親しまれている名作『ドン・キホーテ』を、身体を通したパフォーマンスに展開します。あらすじを追うだけでなく、表現の可能性や新たな物の見方、視点に気づく機会となります。 今作は、初演以降上演を重ね、低学年、高学年から中学生まで男女問わずそれぞれに楽しめる作品であると、ご好評頂いています。この経験を活かし、さらに質の高い舞台表現とします。。
児童･生徒の共演，参加又は体験の形態	演目内で、生徒に問いかける箇所や、風の起きるシーンで生徒に手伝ってもらうシーンがあります。その他、舞台上で生徒（希望者 20 名ほど）と一緒に踊る場面があり、事前ワークショップでその踊りをレクチャーする時間を設けます。 また、人物相関図やあらすじが載ったパンフレットを配布し、作品理解が深まるよう努めます。
出　演　者	出演(予定)／藤田桃子、大庭裕介、崎山莉奈、雫境、伊吹卓光、小野寺修二 出演者総数 6 名

公演出演予定者数（1公演あたり）	出 演 者: 6 名 スタッフ: 2 名 合　　計: 8 名	機 材 等 運搬方法	積載量 2t 車 長 約 4.6m 台 数 1 台

【公演団体名　カンパニーデラシネラ 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ 無)会場設営の所要時間(2 時間程度)
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>11時</td><td>11 時～13 時</td><td>13時～14 時</td><td>0 分</td><td>14 時～15 時</td><td>15 時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
（人数の都合上で2回公演をする場合の本公演開始時間は、10 時と 13 時、あるいは 9 時半と 11 時など。学校と調整）</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>
<table>
<tr><td>ワークショップ</td><td>～約 60 人(30人以上は1時限ずつ行う)</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>10人～500 人(1 回あたり 250 人を超える場合は複数回実施)</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>ワークショプでは、体育館にて体操服で出演者と一緒に生徒が動きます。他人とタイミングをあわせ動くことは、他者に対する想像力や、思いやりの心に繋がります。そして出演者の見本から出発し、生徒各々がイメージした動きを、実際に身体を動かしながら体験します。
【内容】 真似やピタッと止まる人形振り、それぞれの身体の関節に着目してみる。
二人組みになって相手と一緒に動く。お互いに相手を支えたり、交互に動くゲーム。
最後に、「ドン・キホーテ」演目中に希望者全員で輪になって踊るダンスを指導、実演。
実際に身体を動かしてみることにより、本公演の作品理解がより深まります。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>パントマイムで大切なことは想像力と、物事をよく観察することです。その二つをテーマに、相手の真似をすることから始め、随時発表の機会を交えながら、お互いに見合い尊重しあいながら、いろいろな動きに取り組みます。
パントマイムの特性である創造性と想像力を大切にし、舞台を身近に感じてもらえるよう、事前に学校を訪れ、生徒とコミュニケーションを取りたいと考えています。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>決して難解な動きではなく、立つ、座る、歩くなど日常の基本動作を起点にしています。
そのため、生徒それぞれが可能な範囲でこのワークショップを楽しんで頂けます。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

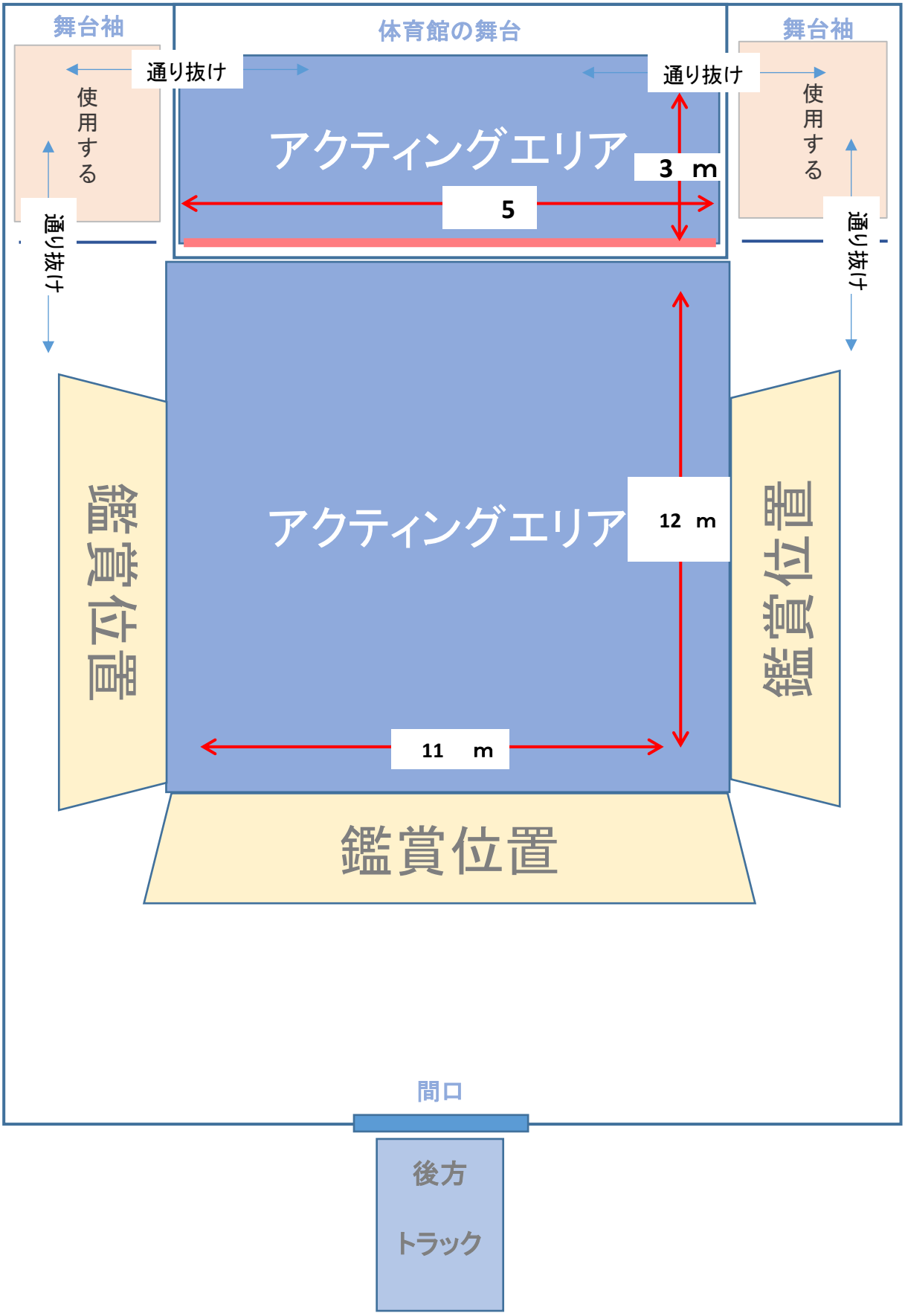
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C27	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	カンパニーデラシネラ				制作団体名	株式会社　デラシネラ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	不要	条件	体育館内倉庫を使用させて頂ければと思います。その他別途必要なし。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台				
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			できる限り階段のない経路が望ましい。				
		理由			重量がある舞台大道具や機材があるため				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			約30人				
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			10人～250 人(250人を超える場合にはご相談ください)				
	不可	舞台設置場所＊			ステージ上・フロアの両方				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	11m	奥行	12m	高さ	指定なし	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		袖に荷物がない状態				
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	ある程度の暗さが必要なため			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	不可	公演に必要な電源容量		20A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

カンパニーデラシネラ
「ドン・キホーテ」

演出／小野寺修二　美術／石黒 猛
原作／ミゲル・デ・セルバンテス　テキスト／山口 茜

自らを“騎士”と夢想し故郷を後にした、引きこもりの読書家ドン・キホーテの珍道中を描く、セルバンテスの文学史上の傑作『ドン・キホーテ』。
　この物語を、マイムの動きをベースに台詞を取り入れた独自の演出で、デラシネラ版『ドン・キホーテ』として上演します。小野寺修二の演出により、幻想に捕らわれたドン・キホーテの旅路は、観客の想像力を刺激しながら「見えるもの」と「見えないもの」の境界を揺れ動いていきます。プロダクトデザイナー石黒猛のワクワクするような仕掛けもみどころ。
　本作は、2017年に高知県立美術館で初演して以来、平成30年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－をはじめ、数々の小中学校で上演されてきました。
デラシネラの手法と、ドン・キホーテという主題がマッチした自信作、乞うご期待！

『ドン・キホーテ』について

17世紀初頭に発表されたスペインの作家、ミゲル・デ・セルバンテスの小説。自分を騎士だと思いこんだ男ドン・キホーテが、ハチャメチャな冒険を繰り広げる物語。空想と現実、虚像と実像、様々なものが入り乱れ、奇想天外な騒ぎへとつながっていく。

出演（予定）／藤田桃子、大庭裕介、崎山莉奈
雫境、伊吹卓光、小野寺修二

美術｜石黒 猛
音響｜池田 野歩
衣装｜駒井 友美子
（静岡県舞台芸術センター）

提供＝高知県立美術館／撮影＝釣井泰輔

カンパニーデラシネラ（Company Derashinera）

　08年、小野寺修二セルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品を創作し、マイムをベースに台詞を取り入れた独自の演出は、世代を越えて注目を集めている。国内での活動のほか、海外公演の参加など多数。また、学校巡回公演や高校の芸術鑑賞会では次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。
　野外や美術館、アートフェスティバルなど、劇場内にとどまらない場所でのパフォーマンスも多い。

撮影＝鈴木穣蔵

小野寺 修二
／演出家・カンパニーデラシネラ主宰

　日本マイム研究所を経て、95～06年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として１年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを設立。15年度には文化庁文化交流使としてベトナムとタイに滞在し、ワークショップと作品発表を行った。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。

「ドン・キホーテ」の上演歴は
こちらでご覧いただけます

カンパニーデラシネラ　https://derashinera.jp/

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ げきだん ぽぷら 株式会社 劇団 ポプラ		
代表者職・氏名	代表取締役 町永義男		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒105-0021 東京都港区東新橋 2-18-2 グラディ―ト汐留 2F　(新橋・汐留)		
電話番号	03-5405-0966	ＦＡＸ番号	03-5405-0967
ふりがな 公演団体名	げきだん ぽぷら 劇団 ポプラ		
代表者職・氏名	劇団長 町永義男		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒105-0021 東京都港区東新橋 2-18-2 グラディート汐留 2F (新橋・汐留)		
制作団体設立年月	1978 年　8 月		
制作団体組織	役職員 代表取締役 町永 義男 取締役 二見 正則 取締役 渡辺 雅之 監査役 町永 正子	団体構成員及び加入条件等 代表 1 名　制作部 6 名　俳優部 28 名　事務員 2 名 研究生 10 名　演出部 6 名 俳優演技、歌、ダンス等 オーディションで合格した後、面接で決定。ポプラ付属養成所 2 年間の養成後、劇団ツアーキャストとして参加する。	
事務体制の担当	(専任)・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	植木 悟
経理処理等の監査担当の有無	(有)・ 無	経理責任者名	和智 利恵子

制作団体沿革	1978 年劇団ポプラ設立～『イワンの馬鹿』旗揚げ公演『泣いた赤鬼』全国巡演 『雪はチクタク』全国巡演 1983 年法人設立 付属養成所設立 『さよならドンキー』全国巡演 1986 年全国児童・青少年演劇協議会加盟 1987 年日本児童・青少年演劇協会加盟 1988 年「チキチキ・バンバン」 全国巡回公演 1992 年ミュージカル「赤毛のアン」全国巡演 1993 年ミュージカル「シンドバットの大冒険」 ミュージカル「ピーターパンとウェンディ」全国巡演 2000 年ミュージカル『ユタと不思議な仲間たち』文化庁児童・青少年優秀舞台全国巡演 2000 年「山椒大夫」中学・高校全国巡演 文化庁助成公演ミュージカル「とべないホタル」 2004 年「大どろぼうホッツェンプロッツ」文化庁・新進芸術家公演 2007 年「三年寝太郎物語」全国巡演 文化庁 助成公演 2009 年ミュージカル「火垂の墓」全国巡演 ミュージカル「尾崎豊心の景観」芸術文化振興基金助成 2011 年文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」 ミュージカル「オズの魔法使い」 芸術文化振興基金助成「高校・中学生のための巡回公演」ミュージカル「火垂るの墓」 2012 年～文化庁「次代を担う子どもの文化芸術公演」～2018 年「文化芸術による子供の育成寺事業」 2015～年ミュージカル「赤い日の記憶」 ミュージカル『チョコレート戦争』全国巡回公演事業」 2018 年ミュージカル「宝島」全国巡回 2019 年文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」
学校等における公演実績	創立以来、全国の小・中・高校で、学校公演を実施 北海道から沖縄まで年間300ステージ 2011 年から 2019 年文化庁公演 ミュージカル「 オズの魔法使い」巡演 年間 310ステージの内、260 ステージは学校公演。 《 過去上演演目 》 「イワンの馬鹿」「泣いた赤鬼」「雪はチクタク」「さよならドンキー」「チキチキバンバン」 「赤毛のアン」「山椒大夫」「大どろぼうホッツェンプロッツ」「チョコレート戦争」 「尾崎豊 心の景観」「火垂るの墓」「リューシストラテー・この町で」「赤い日々の記憶」 《 現在上演作品 》 「オズの魔法使い」「ピーターパンとウェンディ」「シンドバットの大冒険」「とべないホタル」 「宝島」
特別支援学校における公演実績	現在までのところ公演実績はありません。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	http://poplar21.jp
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　劇団ポプラ 】**

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生					
企画名	歌って、踊ってミュージカル『シンドバットの大冒険』					
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	ミュージカル「シンドバットの大冒険」 アラビアンナイトより/本間裕治 木島　恭 木島　恭/もたい清美 公演時間（ 90 分）					
著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合） 許諾の有無

演　目　概　要

今日はシンドバットの初航海の日。バグダットの人々に見送られ、船乗りたちは青い海へと出航します。明るい陽の光りとさわやかな風に見守られ船は順調に航行します。ところが、今日も一日穏やかに過ぎたと思われたある夜、突然海が荒れ始め、大きな嵐に襲われます。

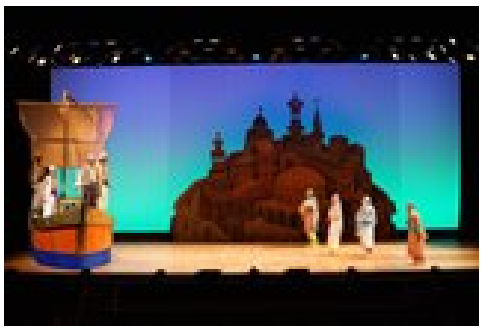
船乗りたち次々と投げ出され海の中へ・・・。

シンドバットが流れ着いたのは、巨大なロック鳥の住む、船乗りたちが夢にまで見た、伝説のダイヤモンドの島でした。シンドバットはダイヤをかき集めロック鳥の足につかまり島から脱出します。ロック鳥が降り立ったのは、盗賊の存在におびえて暮らす小さな村でした。そこで待っていたのは・・・

ミュージカル「シンドバットの大冒険」は初演（1993 年）から 2,000 回を超える公演実績があります。体育館をところ狭しと動く大きな船は圧巻です。公演した学校からは「どうやって動いているのか教えて欲しい。」などの声が寄せられています。音楽は壮大なスケール感溢れる曲にアレンジされており、テーマ曲「冒険の旅」は、終演までには覚えてしまう程ノリが良く創られています。

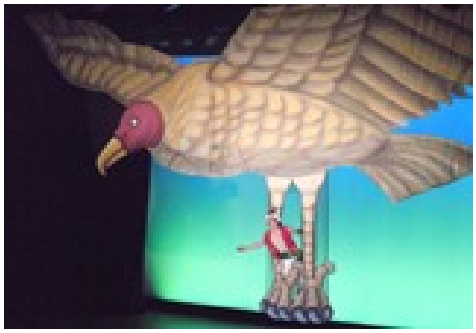
さあ、シンドバット達と一緒に勇気をもって大海原を翔る船に乗ろうではありませんか。

みんなで夢をつかみ取ろう



人々に見送られて出港

荒波を乗り越える船



巨大なロック鳥

演目選択理由	船乗りシンドバットのお話は「アラビアンナイト」の挿話として、誰もが知っているお話で、世界中で愛され、親しまれている作品です。 ペルシャ湾からインド洋を舞台にした冒険物語は、主人公のシンドバットが仲間を信じ「勇気」を持って困難に立ち向かうことの大切さ、大変さ、そして素晴らしさを教えてくれます。夢や希望を叶えるために「冒険する心」「挑戦する心」を常に持って欲しいとの思いが込められています。アラブの国という異世界での冒険ではありますが、文化の違いを認め、グローバル化する現代社会で生きるこれからの世代にも通じるに違いありません。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	ミュージカルの楽しさを体験してもらうために、ワークショップに参加していただいた児童・生徒さんには、公演当日に歌・演技・ダンスが充分楽しめるテーマ曲「冒険の旅」の曲で、オープニングとエンディングの場面に参加していただきます。 **参加　①　オープニング「冒険の旅」Ⅱ** **バグダットの子供達として俳優と共に出演していただきます。** **参加　③　カーテンコール** **出演者全員で「冒険の旅」Ⅲを大合唱します。** **実際に衣裳を着けて舞台に立てば全員がミュージカルスターです。劇団の俳優達と出演する児童・生徒のみなさんとのコラボレーションは、いや増して相乗効果を生み、観客との一体感と相まって見事な劇空間を創造します。登場人物と一緒にファンタスティックな舞台出演をすることで、本物の舞台の醍醐味を体験し、演じる事、表現する事の楽しさを感じていただければと思います。**

体験　①　バックステージツアー

仮設舞台での仕込みや、道具の操作の仕方、大きな船衣裳操縦を体験します。

体験　②　スタッフになってオペレートを体験

音響・照明などの操作の体験をします。

体験　③　出演者との交流

事後交流会では参加した子ども達からの質問に丁寧にお答えします。また、先生方との交流では、表現活動の大切さなどを積極的に語り合いたいと思います。

<table>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">シンドバット・・・・・・・豊田　涼介
ラシード船長・・・・・・岡田　基哉
ハッサン・・・・・・・・・・渡邉　優和
アブダラ・・・・・・・・・・佐々木　玄哉
カザフ・・・・・・・・・・・・阿部　秀範
ブシュナン・・・・・・・・冨永　伸一郎
カリーフ村長・・・永田　陽二
サイーダ・・・・・・照井　紀子
アブラーシャ・・小柳津　千里
サーシャ・・・・・・中村　恵理華
ミーシャ・・・・・・塩田　珠理</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　11 名
スタッフ:　4 名
合　　計:　15 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　2t
車 長　7 m
台 数　1 台</td></tr>
</table>

【公演団体名　劇団ポプラ 】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。

会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安

前日仕込み(有 ・(無)) 会場設営の所要時間(3 時間程度)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
7 時 50 分	8 時～ 11 時	13時30分～15 時 00 分	10 分	15 時～17 時	17 時

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	全校児童・生徒も可(学校の希望により相談)
	本公演	1 クラス程度まで可(学校の希望により相談)

ワークショップ実施形態及び内容

演出、振り付け、歌唱指導の主指導者と共演する俳優を含め 6 名でお伺いします。
ワークショップへの参加児童・生徒さんの人数制限はありません。
参加形態には3パターンを用意してあります。

パターン① 本公演に出演する児童・生徒さんのみの参加
パターン② クラス単位・学年単位での参加
パターン③ 全校に児童・生徒さんの参加

＊②、③のワークショップをご希望の場合では、本公演の舞台参加人数を別途ご相談させていただいます。

形態 ① 作品紹介とテーマの説明及び登場場面の説明を行います。その後役柄の衣裳の説明を行います。(約10分)

	形態　②　基本の発声と譜面の見方を説明しながら歌唱指導を行います。(約30分) 形態　③　練習した曲に合わせて振り付けとステージング(登場、立ち位置、退場)を行います。(約45分) ＊事前に本編映像のDVDとワークショップで使用する、譜面と音源をお送りします。 事前練習で、ある程度歌詞を覚えていただくと振り付けとステージングが捗ります。
ワークショップ実施形態の意図	ミュージカルは、芝居上の必然性の上に歌やダンスがあります。 その歌やダンスは、言葉の大切さ、伝える事の大切さから生まれた、意思表示の方法だともいえます。演技、歌、ダンスをレッスンし、自らが出演者として体験することで、本公演への興味、期待感が高まる上に、想像力と自己表現力が生まれます。 そして、劇団の俳優達との共同作業としての演劇を体験する事で、コミニュケーション能力がアップし、メッセージを伝える自信が持てると考えます。これは、ワークショップで学ぶ内容が演劇の知識や技術だけではなく、成長過程にある児童・生徒さんの「こころ」に多大な影響を与えるからです。
特別支援学校での実施における工夫点	過去に上演した支援学校では、歌唱指導、振り付けなどを参加していただく児童・生徒さんの状況に併せて修正・変更を行います。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

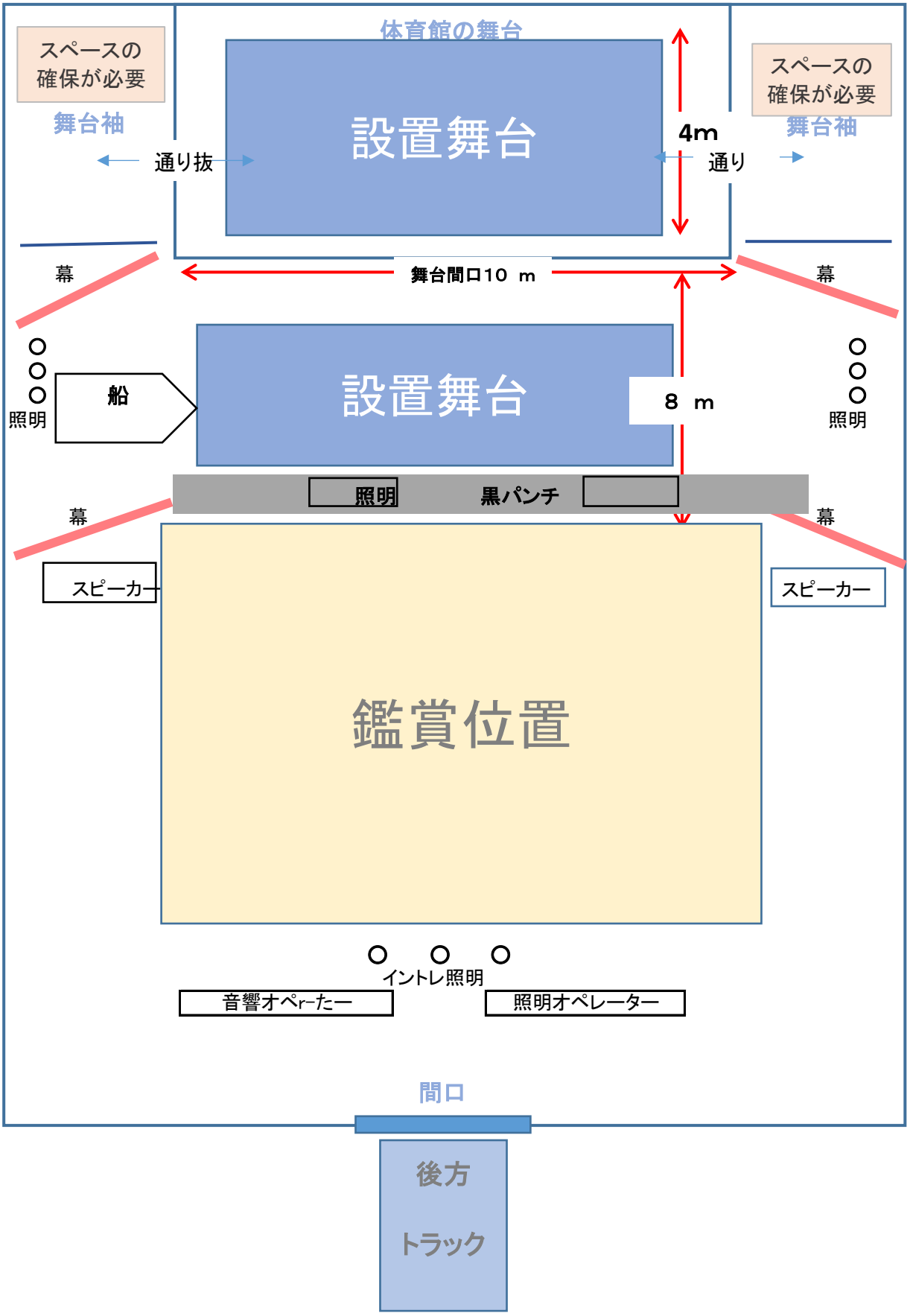
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C28	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	劇団ポプラ				制作団体名	株式会社　劇団ポプラ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	－	必要数＊	不要	条件					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊				3tトラック　1台		小型バス　1台	
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ				3tトラック			
	可	搬入車両の横づけの要否＊				要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊				20m以内			
	可	搬入経路の最低条件				出来る限り階段の無い経路が望ましい。			
		理由				大道具、船、などの大きな道具類と重たい照明機材等がある為。			
	可	設置階の制限＊				問わない　2F以上仕込み時間プラス30分			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	120cm			高さ	180cm	
WSについて	可	参加可能人数		30名程度					
	－	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊			なし	
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		600名程度					
	不可	舞台設置場所＊		ステージ上とフロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	16m	奥行	12m	高さ	4m	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊			要			
	可		舞台袖スペースの条件＊			4m×4m			
	－		緞帳＊	不要		バトン＊		不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	演出効果			
	－	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	－		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	舞台前8m必要					
	可	公演に必要な電源容量		80A		※主幹電源の必要容量			
		その他特記事項							
	可	2階ギャラリーがある場合、照明機材をギャラリーに設置させて頂きます。							
	可	照明及び音響オペレーター席は、電源の場所によって、多少位置が変わります。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	120cm	高さ	180cm
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		20m程度		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

夢とロマンの
ミュージカル・アドベンチャー
シンドバットの
Sindbad the Sailor
大冒険
主人公になった気分で、
思いっきり楽しめる。
スケールいっぱいの感動舞台！
劇団ポプラ®
POPLAR THEATER COMPANY
2幕14場
90分（休憩含む）

あらすじ

シンドバットの初航海。バクダットの人々に見送られ、船乗りたちは青い海へと出航します。明るい陽の光とさわやかな風に見守られ、船は順調に進みます。ところが、今日も一日穏やかに過ぎたと思われたある夜、突然海が荒れ始め、大きな嵐に襲われます。船乗りたちは次々と投げ出され、海の中へ…。

シンドバットが流れ着いたのは、巨大なロック鳥の住む、伝説のダイヤモンドの島。シンドバットはダイヤをかき集め、ロック鳥の足につかまり、島から脱出します。ロック鳥が降り立ったのは、盗賊の存在におびえて暮らす小さな島の小さな村。盗賊に連れ去られた村長の孫娘・サイーダを助けるため、先に島に流れ着いていたラシード船長とともに、シンドバットは盗賊のアジトに乗り込みます。一目会った瞬間に、サイーダの美しさと芯の強さに心惹かれたシンドバットと、その勇気に魅かれたサイーダ。無事に助け出し、村へ帰ることができるのか…。そして、二人の想いは…。

シンドバットの大冒険

Sindbad the Sailor

さあ行こう
冒険の旅へ!
夢を求めて!

原作：アラビアンナイトより
脚本・演出：木島 恭

作曲：本間 裕治
編曲：長内 悟
音楽監督：高橋 慶吉
振付：もたい 清美
衣装：玉城 久仁香
舞台美術：孫福 剛久
照明：山下 宏一
音響効果：野中 和仁
歌唱指導：山下 美音子
制作：町永 義男／植木 悟
藤波 俊諭／杉戸 良隆
宮城 督
デスク：和智 利恵子
運営管理：渡辺 雅之
キャスティング：西村 克也
企画・製作：劇団ポプラ

劇団ポプラ®
POPLAR THEATER COMPANY

●公益社団法人 日本児童青少年演劇協会加盟 ●全国児童・青少年演劇協議会加盟
●日本児童・青少年演劇劇団協同組合加盟 ●国際児童・青少年演劇協会日本センターアシテジ（ASSITEJ）理事

株式会社 劇団ポプラ
〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-2 汐留シオサイト・グラディート汐留2F
TEL.(03)5405-0966 FAX.(03)5405-0988 office@poplar21.jp

VEGETABLE OIL INK
一部、植物性インクを使用

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, (現代舞踊)
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・ (な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん　こくさいぶんかこうりゅうそくしんきょうかい　かるてぃべいと 特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会　　カルティベイト		
代表者職・氏名	代表理事　堅田　政明		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒227-0046　神奈川県横浜市青葉区たちばな台1－12－12 (東急電鉄田園都市線青葉台駅下車)		
電話番号	045-962-7199	ＦＡＸ番号	045-962-7199
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじん　こくさいぶんかこうりゅうそくしんきょうかい　かるてぃべいと 特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会　　カルティベイト		
代表者職・氏名	代表理事　堅田　政明		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒227-0046　神奈川県横浜市青葉区たちばな台１－１２－１２ (東急電鉄田園都市線青葉台駅下車)		
制作団体設立年月	平成 23 年 10 月認証		
制作団体組織	役　職　員 代表理事／堅田政明 理　　事／谷口　修 理　　事／手塚静江 監　　事／長谷川茂	団体構成員及び加入条件等 代表理事（1 名）⇒理事（2 名）⇒事務局（3 名） 理　事　会　　⇒　運営委員会 企画部門　－　プロジェクトチームを編成 (制作、演出、スタッフ、ｷｬｽﾄ、ﾀﾞﾝｻｰ他) ※巡回公演出演ダンサーの一部は採択次年度以降、順次公演実施ブロック・地域対象のオーディションを行い決定します。	
事務体制の担当	(専任)　・他の業務と兼任	本事業担当者名	堅田政明

経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無 （公認会計士による監査予定）	経理責任者名	堅田浩巳

制作団体沿革	平成 23 年 6 月法人設立申請(神奈川県横浜市) 平成 23 年 8 月平成 24 年度文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」 ■学校巡回公演委託事業申請 平成 23 年 10 月法人認証 平成 24 年 1 月横浜市立みたけ台中学校ダンスワークショップ(於;体育館)実施 4 月横浜市港北区地区センター自主事業/ヒップホップダンス教室支援 10 月平成 24 年度文化斤「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」追加募集 ■講師派遣事業採択(横浜市立市ヶ尾中学校) 平成 25 年 5 月平成 25 年度文化疔「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」募集 ■講師派遣事業 4 校採択(横浜市立市ヶ尾中学) 【内訳:現代舞踊 3 校／伝統芸能 1 校】 平成 25 年 9 月平成 25 年度文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」追加募集 ■講師派遣事業 3 校採択(神奈川県立横浜栄高等学校他) 【内訳:伝統芸能 1 校／現代舞踊 2 校】 平成 25 年 12 月 平成 26 年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」募集 ■講師派遣事業 13 校採択(神奈川県立横浜南養護学校他) 【内訳:伝統芸能 5 校／現代舞踊 5 校／音楽 3 校】 平成 26 年 8 月平成 26 年度文化斤「文化芸術による子供の育成事業」追加募集 ■講師派遣事業 8 校申請(神奈川県、横浜市、東京都他) 11 月平成 27 年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 【内訳:伝統芸能 5 校／現代舞踊 4 校／音楽 2 校】 平成 27 年 5〜6 月平成 27 年度文化斤「文化芸術による子供の育成事業」 ■学校巡回公演実施:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 福島県他小中学校(含養護学校)計 18 校実施済 平成 27 年 11 月　平成 28 年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」募集 ■講師派遣事業 14 校採択(神奈川県立横浜南養護学校他) 【内訳:現代舞踊 14 校】 平成 27 年 12 月　追加公演 3 校実施 平成 28 年 5〜6 月平成 28 年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 ■学校巡回公演実施:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 宮城県･北海道他小中学校計 13 校実施済 平成 28 年 8 月平成 29 年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」募集 ･講師派遣事業 22 校採択(神奈川県立横浜南養護学校他) 【内訳:現代舞踊 22 校】 平成 28 年 12 月　追加公演 4 校実施 平成 29 年 5〜7 月　平成 29 年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」募集 ■学校巡回公演実施:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！ 京都府・京都市・福井県・石川県・富山県・新潟市小中学校 計 14 校実施済 8 月　平成 29 年度コミュケーション能力向上事業採択活動実施中 (於:横浜訓盲学院) ※文部科学省初等中等教育局教育課程課所管事業 10 月　平成 30 年度学校巡回公演実施団体申請採択(実施希望校調整中/ 神奈川県下 ■講師派遣事業 43 校採択(カルティベイトコーディネート内訳 現代舞踊 43 校)

	平成 30 年 5～7 月　　平成 30 年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」募集 ■学校巡回公演実施：演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！ 神奈川県・静岡県・愛知県・岐阜県・横浜市・名古屋市小中校 計 21 校実施済 8 月　平成 30 年度コミュニケーション能力向上事業 2 校採択され活動実施中 （於：①学校法人横浜訓盲学院:継続、大阪府立八尾支援学校：新規） ※文部科学省初等中等教育局教育課程課所管事業 平成 31 年 5～7 月　　平成 31 年度文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」募集 ■学校巡回公演実施：演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！ 岡山県・広島県・山口県・広島市小中学校 計13校実施済 （7 月～8 月追加公演実施予定：準備中） 8 月　令和元年度コミュニケーション能力向上事業 2 校採択され活動準備中 （於：①学校法人横浜訓盲学院:継続、大阪府立東住吉支援学校：新規） ※本年度より文部科学省初等中等教育局教育課程課から文化庁に事業移管

学校等における公演実績	■ 学校公演 ① 平成22年10月19日 広島市立落合小学校 ② 平成22年10月29日 松山市石井北小学校 ※①②は学校公演「友好の大河は流れる-THE BATTLE 2010」 ③ 平成24年10月17日 とりぎん文化会館梨花ホール(鳥取県) ④ 平成24年10月24日 徳島市文化センター(徳島県) ※③④は学校公演「新たなる坂の上の雲を目指して!-THE BATTLE 2012」 両日共、各県教育委員会を通じ小中学校生、合計3000名程参加の学校公演 ⑤ 平成27年 5～6月 平成27年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 福島県他小中学校(含養護学校) 計21校実施 ※追加公演含 ⑥ 平成28年 5～6月 平成28年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 宮城県・青森県・北海道他小中学校 計17校実施 ※追加公演含 ⑦ 平成29年 5～7月 平成29年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 京都府/市・福井県・石川県・富山県・新潟県/市 計14校実施 ⑧ 平成30年 5～7月 平成30年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 神奈川県・静岡県・愛知県・岐阜県・横浜市・相模原市・名古屋市 計21校実施 ■ その他の一般ステージ公演 ① 平成19年9月～平成22年12月 国際文化交流:日韓トップダンサー夢の競演!! 朝鮮通信使400周年 「虹かかれ 宝の橋～THE BATTLE～2007」公演 「虹かかれ 宝の橋～THE BATTLE～2009」公演 日中ストリートダンサー夢の競演「友好の大河は流れる-THE BATTLE 2010」公演 ② 平成24年10月12日～同年11月4日 国際文化交流:世界の頂点に立つ、日露ストリートダンサー夢の競演「～新たなる坂の上の雲を目指して！～ THE BATTLE 2012」公演 ③ 平成27年10月27日～12月10日(全36公演) 国際文化交流:世界の頂点に立つ、日米ストリートダンサー夢の競演「～太平洋を翔ける夢！～ THE BATTLE 2015」
特別支援学校における公演実績	・上記文化庁講師(芸術家)派遣事業対象校、横浜市立市ヶ尾中学校、同市立中川西中学校、神奈川県立横浜南養護学校等に於いて個別支援学級(特別支援学級)及病院内学校にプロダンサーによる『ダンス鑑賞とワークショップ授業』を行い、非常に好評を得ています。平成27～31年度も継続実施し、特に重複障がい児童生徒の特別支援学校でのワークショップ授業の実施をしています。平成27年度学校巡回公演では福島県立大笹生養護学校並び石川養護学校で公演を行いました。更に同30年度、31年度に於いては、神奈川県立麻生養護学校や広島県立三原特別支援学校等々毎年度複数校で本巡回公演が支援教育校に於いても実施され、児童生徒はもとより教員方からも高評価を得ています。 又、コミュニケーション能力向上事業は29年度から前述の特別支援学校でも継続実施され、昨年度からは大阪府立八尾支援学校も加わり、その東西での取り組み成果が公演事業に多面的にフィードバックされ好循環となっています。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	http://npo-cultivate.org/
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　【公演団体名　特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会　カルティベイト】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	-日韓トップダンサー夢の競演-『これがヒップホップダンス！』

本公演演目

原作／作曲
脚　　本
演出／振付

学校巡廻公演（２０２０）

- 日韓トップダンサー夢の競演 -

『これがヒップホップダンス！』

企画／制作：堅田　浩巳
構成／演出：今城　裕治
振　　付：江頭　耕治
監　　修：姉小路公孝

公演時間（　90　分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要

この数年でストリートダンスは一部愛好家や若者文化の象徴から脱皮、現在世界中で多くの人々に支持され拡大しています。現在テレビ、音楽やファッション、広告等様々な文化・芸術に影響を与え、又 2024 年開催のパリオリンピックではピップホップダンスの中でブレイクダンスが正式競技種目として決定の予定となり、非常に注目度が高くなっています。更に健康維持・増進に役立つダンス・運動として社会的に幅広い分野や高年齢層に至るまでに大きく広がり、支持を受け成長を続けています。

- これまでに約 160 公演の一般ホールでのダンスステージを行ってきています。今後も全国各地で開催が予定されています。この様な多数の公演実績を踏まえ、本学校巡回公演の主要スタッフと出演者を編成しています。
- 過去 10 年以上の間に多数の小中学校での学校コンサート（公演）実績も有し、多くの小中学生が鑑賞しています。
- このステージを学校現場で本格的に導入、実施され浸透してきたダンスを次世代を担う児童・生徒達向けに、よりブラッシュアップ。更に様々な文化芸術的要素も大胆に取り入れ表現、世界に誇れる日本人トップダンサーを起用し、文化交流史としても長い時間を重ねてきたお隣の国、韓国のトップダンサー達も参画します。
- 本公演に参加する韓国のダンサーは特に来日経験も豊富で日韓合同のステージも多数経験している実績豊富なダンサーを起用しています。このチームが優れた高い文化・芸術性を表現し、他では決して得ることが出来ない驚きと楽しさあふれる交流体験・感動を与え、もっと楽しく、ダンスを、身体を動かしたくなる様なとても盛り上がるステージです。
- 次に本公演の構成内容をご覧ください。

学校コンサート（2020）構成

日韓トップダンサーの競演

「これがヒップホップダンス！」

ＭＣ　（前説明）２分

《オープニング》（3 分）

Ｍ１　テーマ曲　出演者全員登場　（２分３０秒）

第１章　ヒップホップダンス？（１５分）

ＭＣ　　（ヒップホップダンスとは？を、紹介）

① ロックダンスとは
（ダンサーが出てきて紹介後、踊りのパターンを紹介）

② ポップダンスとは
同　上

③ ブレイクダンスとは
同　上

各スタイルの特徴を生かしたダンスを披露。ヒップホップの最高テクニックを披露することで、より近くにダンスを感じられる様に工夫
また、照明音響等効果を駆使して、ダンスシーン最先端の表現を見て、感じてもらう。

第２章ヒューマンビートボックス
HB・ボイスパーカッションの一種（１０分）

ＭＣ　　（ヒップホップの種類でヒューマンビートボックスを紹介・説明）

Ｍ５　　ヒューマンビートボックス

ダンス以外のヒップホップ文化の一つである、ヒューマンビートボックス。ここで韓国からのビートボクサーとして登場し妙技を披露し、日本チームダンサーと競演する。ダンス以外の文化にも触れながら、ヒップホップの魅力を違う角度から感じてゆく。この交流をきっと児童生徒たちは、目を丸くして、驚きの中で、時間を過ごすことだろう。

第３章【THE　BATTLE】（２０分）

ＭＣ　　（バトルの歴史と面白さ）
Ｍ２　　戦い入場の音楽
Ｍ３　　戦い
チーム赤　VS　チーム青
（観客に勝負を決めてもらい、表彰式）
Ｍ４　　表彰～退場曲

ダンサーを 2 チームに分け、ダンスを競い合う楽しみを体感。又、学校の状況によりもし可能であれば先生方だけのチームを編成、出場頂きパフォーマンスを披露頂く。
そして児童生徒たちに勝敗を判定してもらう。

Ｍ５退場曲

バトルの歴史を紹介しながら、武器による戦いではなく、文化による戦いを強調。そして、最後は、握手によって、ノーサイドになることを見せてゆく。

第４章みんなで踊ろう！！（２０分）

ＭＣ　　（みんなで踊ることを提案）
Ｍ６　　みんなで踊ろう

賑やかに、全員で、ヒップホップを習い、踊る！
ダンサーたちの自己紹介を含めて、全員で、ダンスの練習。皆のレベルに合わせて、最後は全校合同で、賑やかに、ヒップホップを踊る！

第５章　質問コーナー（１０分～）

ＭＣ（子供たちとダンサーとの質疑応答、或いはサプライズコーナーあり）
賑やかなひと時を終えて、興奮冷めやらぬ雰囲気の中で、質問会を行う。
児童生徒とダンサーとがさらに近づき、別れがたい印象が強まってゆく。

終章　エンディング（5分）

Ｍ７　エンディング（友好Ｂ）

出演者全員登場

最後は、もう一度、照明や映像溢れる中で、一人一人を紹介しながら、ダンサーたちの、得意なテクニックを披露しながら、大団円を作り上げてゆく。

総計９０分

【出演者】　１０　名

- **ダンサー　　日本　・・・ロックダンサー　3名　ポップダンサー　2名**
  韓国　・・・ブレイクダンサー3名
- **ヒューマンビートボックス・・・　　1名**
- **司　　会　　女性　・・・　　1名**

合計１０名

※この演目では、次世代を担う多くの児童生徒達に世界に誇る日本の本物の芸術・文化と共に韓国のトップダンサーと文化芸術を身近に、目の前で触れ大きな感動や驚きを感じてもらいます。そしてダンスを通じ、互いを理解すること、体を動かす楽しさや充実感を大いに実感してもらうことを狙いとしています。

演目選択理由

【ヒップホップダンスを選択した背景／理由】

- 児童・生徒達やその他様々な分野や領域
  へストリートダンスの認知の急速な広がりと深まり、
  そして定着が顕著になってきました。
- ストリートダンスの国際性と文化・芸術性への理解と
  高まりがあります。
  アフリカや南米の民族文化をベースとした米国生まれ・発祥で、多文化・芸術を入れ発展した多様性を象徴した代表的な文化のひとつが、韓国や中国等アジアやヨーロッパ・東欧各国の若者達を中心に強い支持を得て、人種や性差を越え幅広い層に受容され浸透しています。
- ダンス:『現代的なリズムのダンス』が学校教育、体育教育へ、平成 23 年～25 年度から導入されて来ました。特に平成 24 年度、中学校での「ダンス必修化」に伴い、社会的に大きく取り上げられ、幅広い若年層から中高年齢層にまでダンスが認知されました。
- ダンスの児童・生徒達への広がり:各種キッズダンス大会が全国各地で多数開催され、更に現在も増え続けています。
- 日本人ダンサーの世界的活躍:高度な技能・芸術性でトップ、世界をリードします。
  （各種ストリートダンスの国際大会に於いて連続世界一、優勝を獲得）
- そして、特に日本人若手ダンサーが世界トップレベルで大活躍しているブレイクダンスがリオ・オリンッピク（2018 年ブエノスアイレスユースオリンピック）競技種目に加わり、金メダル等トップの成績を獲得する等更に注目され、小中学生や高校生の間で関心が一層広がっています。又、2024 年開催のパリオリンピックでもブレイクダンスが競技種目として追加承認されています。
- 日本同様、世界大会で上位を競う韓国のトップダンサーも本公演に参画し、そのダンスを披露するだけではなく、生徒達とも交流・触合いを通じ互いの文化を知る、
  相互に理解しあい友情をはぐくみ交流を重ねることの大切さを学びます。

□ この様に本学校公演では、ヒップホップダンスを通じて、

1）世界レベルの優れた文化・芸術への関心度の深化

	2）健康な身体や体力作り、体力向上への取り組みと重要性の理解 3）ダンスレッスンを通じたチームや相互のコミュニケーション能力向上 4）国際文化交流として隣の韓国のダンサーとの交流を通じ、相互のコミュニケーションの重要性や文化の多様性を体感しながら、国籍や民族が異なっていても同じ地球に住む人間どうしであることを実感してもらいたいと思います。 5）ワールドカップやオリンピック等のスポーツでも注目、強調される日本の『チーム力』、特に複数名で組むダンスによるチームワークの大切さ、必要性を学ぶ等の体験機会や実感を与えます。そして日本の誇れる優れた文化・芸術分野の内容を正しく生徒達に提供し、認知と理解を深めて頂く絶好の機会とします。 □ 次に学校巡回公演実施をさせて頂いた先生方の声を紹介させて頂きます。 ・一緒に踊る場面があったり,反応を求められる場面があったりと,参加型の公演であった。その為、発達段階の違う 1 年生から 6 年生までが 90 分間を集中して楽しい時間を過ごすことができた。 ・ワークショップを含む本公演を通じて、直接体験や直接鑑賞することの大切さや、DVD等では得られない現代舞踊への興味ー関心を高めること、身体表現をすることの楽しさなどを仲間とともに感じることができたようである。また、生徒の踊っている姿から、授業では見せない表情やダンスなどの身体表現能力など、生徒理解を行う良い機会となった。さらに、今後、ステップや振り付けをはじめ教科である保健体育のダンスの学習等に活用が期待される。 ・子どもたちに質の高い芸術を体験・鑑賞する禄会を与えることができ、たいへんありがたく思います。ワークショップから本公演という構成がなされていたので、子どもたちも抵抗なくヒップホップダンスに親しみ、リズムに合わせて自ら体を勁かす楽しさを実感することができました。また、体育科の表現運動の指導にも役立つもので、大変に参考になりました。 ・所狭しと舞台を駆け回る大きな動きや、激しい動きで見ている児童の視線を1時間半、途切れなく引きつけていた。また、ステージ上で踊るダンサーの本物の踊りを直に見ることによって、踊りのすばらしさを児童たちに感じさせることができた。 ・予想を大きく超えた舞台、照明、音響装置なども本格的であり、学校独白で取り組むダンス教室などとは一線を画したプロのダンスを体験させることができ、実施して本当によかったという感想をもてた。 ・全児童が踊ることに参加させていただいたが、全身を使ってのダンス表現、表情豊かに踊る姿など、児童の普段は見られない姿を垣間見ることができたことも収穫だった。 （平成 27～29 年度フィードバックシートより抜粋）
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	● 事前ワークショップでの初めてダンス体験から本番のダンス参加まで、生徒達へのダンスの指導とプロのトップダンサーとのコミュニケーション・相互交流が多数行われます。 ● 世界レベルのダンス公演の鑑賞 ● 本公演でのダンス参加 事前ワークショップでのチーム別結果発表や合同でのダンス参加 ● 教職員の方々も児童生徒と共にワークショップや公演時にダンスに参加頂くことが可能です。多くの学校公演で校長先生や先生方が積極的に舞台上でパフォーマンスを披露され、終了後これまで以上に児童生徒とのコミュニケーションが活発となった等の感想を多数頂いています。 ● 日韓ダンサーとの質疑応答や相互交流・文化交流 ● ステージアート（舞台芸術・技術）体験ステージ設営体験（舞台作り、照明、音響等） 公演やワークショップで使用する音楽（曲目）を校内放送で流し、生徒達に親しんで頂き、より効果性を高めます。

出　　演　　者	※別紙「出演者リスト」並びにダンサープロフィールをご覧ください。		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出　演　者：10　名 ス タ ッ フ ：14　名 合　　計：24　名	機 材 等 運搬方法	積載量　4tワイド 車　長　8.64m　幅 2.49m 台　数　1　台

【公演団体名　特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会　カルティベイト】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。

会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安

前日仕込み(　有　・　無　)　会場設営の所要時間(　5　　時間程度　)

到着	仕込み／リハサール	本公演	内休憩	撤去	退出
午前8時	午前8時～午後0時 (前日の仕込状況による)	午後1時30分~3時	0分 (水分補給)	午後3時30~4時30分	5時前後

※公演前日の夕刻に機材積載トラック並びに電源車の校内体育館近くに留め置きをお願いしています。

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数		
	ワークショップ	数名～800名以上も可
	本公演	同上　　(8名～約800名:これまでの実施実績)

ワークショップ実施形態及び内容

【実施形態】

ダンサーチームのリーダーによる説明とダンス指導を行います。

・ストリートダンスのストレッチ・ステップ・動作の基本を習う

・ストリートダンス応用編:振付や複数やチーム等に取り組み、本公演に向けて練習をする

所要時間は約90分としていますが、教員方とご相談の上調整も可能です。又、スケジュールや楽屋等に関する打合せも行います。

2020年学校巡廻公演:ワークショップの流れ

【PART1】

① ダンサー登場(2分)

(音楽に合わせて上手または下手よりダンサー集合、出来るだけ有名な曲を利用)

② 自己紹介(3分)

(各ダンサーマイクで自己紹介、メインダンサーにはヘッドセット又はワイアレスハンドマイク)

※ヘッドセット等ワイアレスマイクについては、各学校の設備状況に応じ利用可能な範囲で活用する。

③ ダンスレッスン基本編(40分)

【PART2】

④ ダンスレッスン応用編Ⅰ、振付を覚えてみよう!(40分)

状況によりダンスパフォーマンスを行います

⑤ ワークショップ終了、最後に一言ずつコメント(4分)

コメント後に要望があ|時間的に可能であれば質疑応答等も可能

⑥ ダンサー退場(1分)

【実施形態の意図】

自ら基本ステップや体を動かすこと により、コンサート本番への鑑賞意欲や興味を高めます。又、実際のプロのトップダンサーから直接ポイント指導を受け、児童生徒達に得手不得手の違いを気にせずにダンスが楽しく踊れることを実感してもらいたいと思います。

ワークショップ実施形態の意図

【実施形態】

ダンサーチームのリーダーによる説明とダンス指導を行います。

・ストリートダンスのストレッチ・ステップ・動作基本を習う

・ストリートダンス応用編:振付や複数やチーム等に取り組み、本公演に向けて練習をする所要時間は約90分としていますが、教員方とご相談の上調整も可能です。

又、スケジュールや楽屋等に関する打合せも行います。

特別支援学校での実施における工夫点	特に変更なく対応、実施可能です。 事前に担当の教員の方々と児童・生徒達に対する留意点の有無を含め、打合せ・調整を充分に行い準備・実施します。現在、個別にダンサーがボランティア等でダンスを教えに伺っています。又、27～30 年度の学校巡回公演に於いても複数の公・私立養護学校でワークショップと上演を行っています。更に、きめ細かな準備と実施が求められる芸術家派遣事業（文化庁）も、小中学校個別支援（特別支援）学級等で授業を多数校で行い大変好評を得ており、参観の保護者の方々からも非常に高評価を頂き、29年度からは、更に高度なスキルを求められるコミュニケーション能力向上事業(文化庁)も採択され各校で実施が進んでいます。 これら各校の先生方も支援を必要とする生徒達も、音楽や体を動かす事が大好きで、プロダンサーとの交流をとても楽しみにしています。私達もこの学校公演で、生徒の皆さんに本物のトップダンサーによる文化芸術に触れて頂き、ストリートダンスの楽しさを体感して頂きたいと強く思っています。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

Cultivate

2019/8/13

■令和2年度公演出演者（予定）氏名：本名リスト

人数	芸名	本名
1	EGA	江頭 耕治
2	SHIHO	熊上 志保
3	Qoo	宮崎 久美子
4	YULI	室舘 ゆり
5	TOSHI	中澤 俊彦
6	GEN	松本元樹
7	Shorty_force	ソン スンヨン(SUNG SEUNGYONG)
8	MIGHTY1	チュン ユンホ(JUNG YUNHO)
9	TAZO	ハン サンホ(HAN SANGHO)
10	-	四元　理菜

本名 YUN HO JUNG

ニックネーム Mighty-one

生年月日 1988.10.13

大会経歴

2015 korea bomb jam top4

2011 jeonju bboy granpix winner

2010 France unvesti bboy competition winner

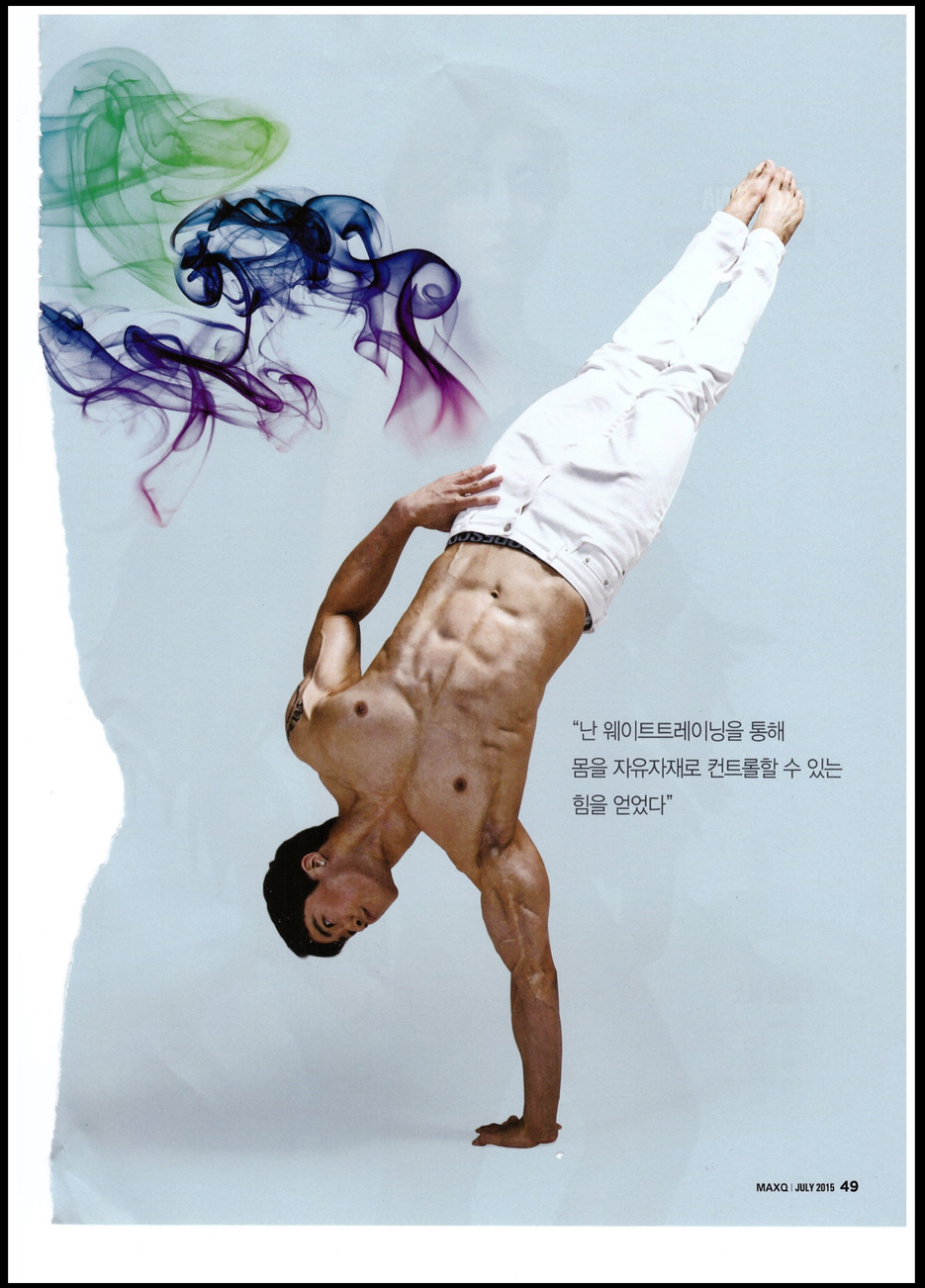
公演の経歴

2014~2015ミュージカル "BI BOP” 俳優活動

2015 香港 k-food·フェスティバル 公演

2012 シンガポールyフェスティバル 公演

Chris J


"난 웨이트트레이닝을 통해
몸을 자유자재로 컨트롤할 수 있는
힘을 얻었다"

BREAKING
my life
www.breakingmylife.com

JAZPAR
PHOTOGRAPHY

VIDEO

https://youtu.be/aIGaNGUqLY4

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

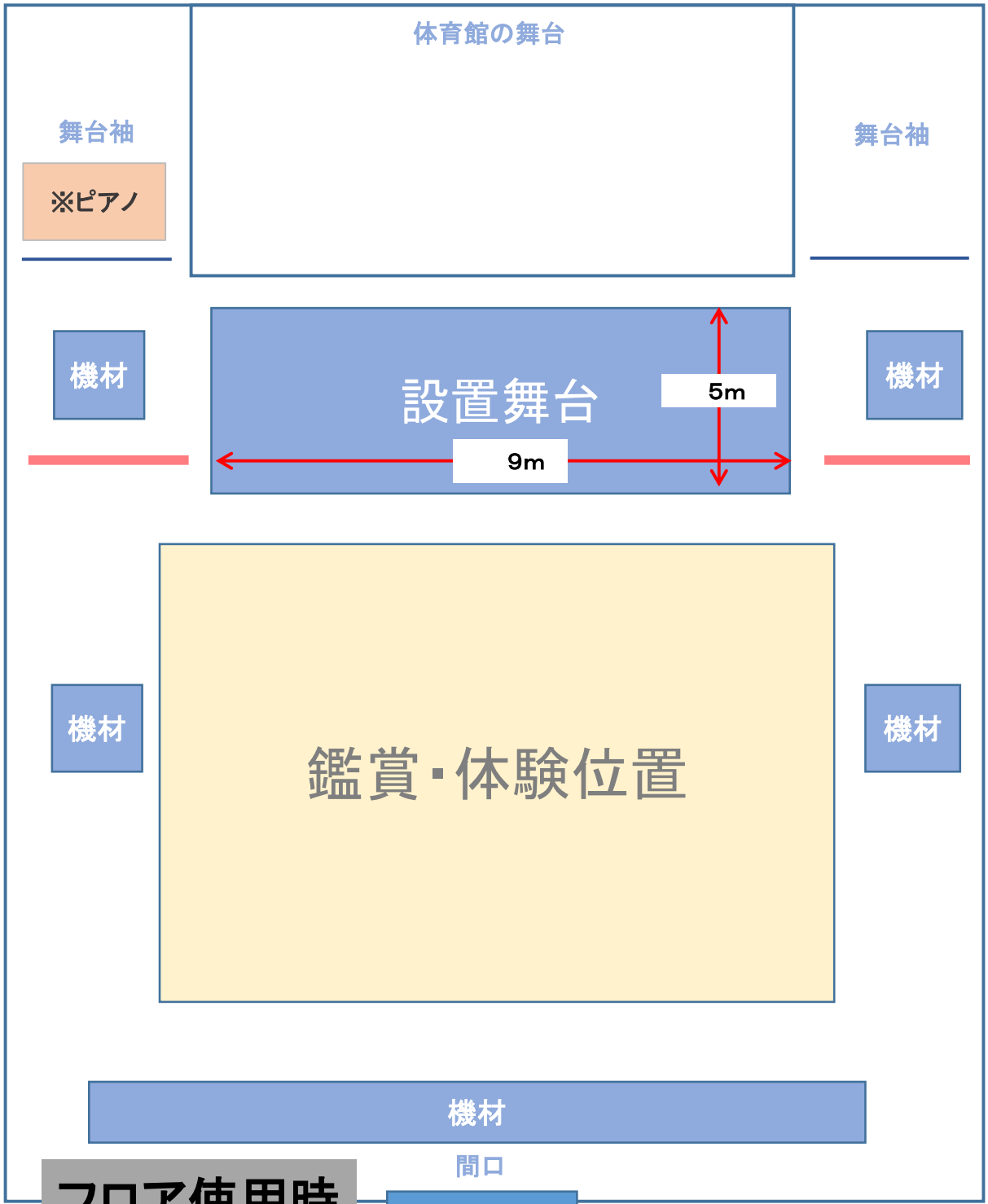
ID	C29	分野	舞踊	種目	現代舞踊	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会　カルティベイト				制作団体名	特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会　カルティベイト			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	3室	条件	出演者の男性1室、女性1室、スタッフ1室が原則ですが、状況に合わせて対応します。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台		2tトラック　1台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4トントラック（舞台関係）と、2トントラック（電源車）				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			2トントラック（電源車）は、横付けが必要です。				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・舞台機材なので、雨に濡れない屋根のある経路が望ましい。				
		理由			2トントラック（電源車）は、横付けが必須ですが、4トントラック（舞台関係）が、横付けできない場合は、別に2トントラックを用意し、積み替えて搬入出します。その場合の4トントラックの駐車場所の提供をお願いします。				
	―	設置階の制限＊			問わない				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		会場との関係から、手を広げられる間隔さえあれば制限なし					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊		なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		会場の大きさにもよりますが、ステージとフロアを使用できる場合、800～1000名程度まで					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	9m	奥行	4～5m	高さ	5m	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊			要			
	可		舞台袖スペースの条件＊			袖に荷物がない状態			
	可		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	特殊効果等、照明を使用します。			
	不可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	―	公演に必要な電源容量		電源車使用			※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
	可	ピアノは、使用しませんが、舞台上にある場合は、舞台からの移動をお願いいたします。							
		電源についても、電源車を持ってまいりますので、大丈夫です。							
		その他につきましては、ご相談しながら進めさせていただきますので、ご安心ください。							

フロア使用時

会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用時

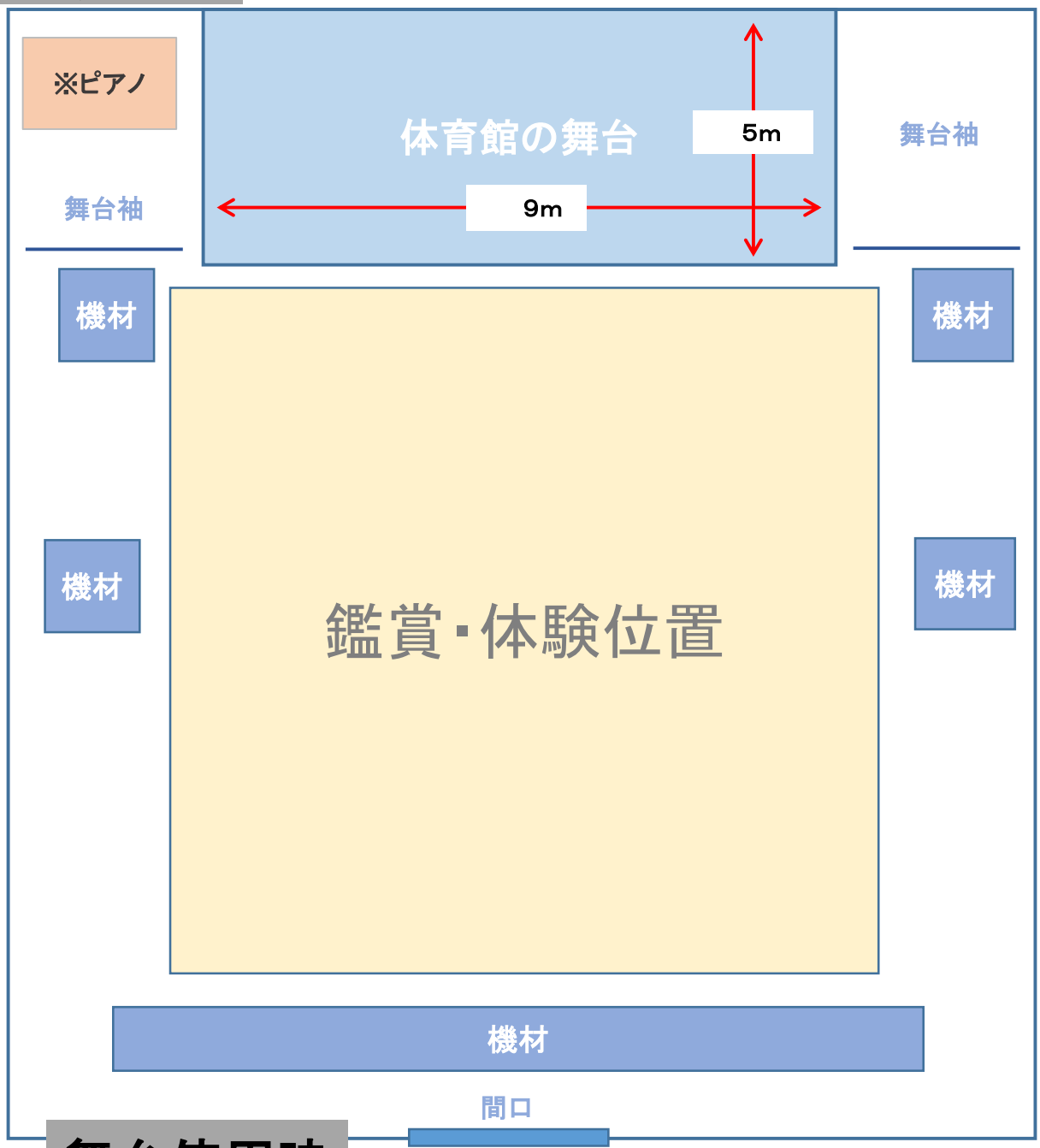
※ピアノは本公演前までに、邪魔にならない位置まで移動していただく必要があります。移動位置についてはワークショップ時に御相談させていただきます。

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

舞台使用時

会場図面(表記単位:メートル)



舞台使用時

※舞台上にピアノがある状態では公演できません。本公演前まで舞台袖に収めていただくか、フロアへ下していただく必要があります。詳細についてはワークショップ時に御相談させていただきます。

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

2019 公演日程		
本公演実施日	実施校	地元主催者
6月　3日(月)	笠岡市立城見小学校	岡山県教育委員会
6月　4日(火)	玉野市立日比中学校	岡山県教育委員会
6月　5日(水)	井原市立芳井小学校	岡山県教育委員会
6月　6日(木)	三原市立中之町小学校	広島県，三原市教育委員会
6月　7日(金)	三次市立塩町中学校	広島県，三次市教育委員会
6月 10日(月)	広島県立三原特別支援学校	広島県
6月 11日(火)	呉市立昭和南小学校	広島県，呉市
6月 12日(水)	広島市立川内小学校	広島市教育委員会
6月 13日(木)	下関市立豊東小学校	山口県教育委員会・下関市教育委員会
6月 14日(金)	岩国市立通津小学校	山口県教育委員会・岩国市教育委員会
6月 17日(月)	山口県立宇部総合支援学校	山口県教育委員会
6月 18日(火)	山陽小野田市立高千帆小学校	山口県教育委員会・山陽小野田市教育委員会
6月 19日(水)	周南市立今宿小学校	山口県教育委員会・周南市教育委員会

beyond 2020

知っていますか?　～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―　現代舞踊 HIPHOP DANCE

これがHIPHOP!

ヒップホップダンス!
―日韓トップダンサー夢の競演―

「文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業 ―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校･中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会カルティベイト

ヒップホップダンスって何だろう？

路上で若者たちによって生まれ世界的に広がっているヒップホップダンス。
そのダンススタイルは今もダンサー達により数多く生み出されています。
その中で代表的な３つのダンススタイルをこのステージでご覧ください！

●ロックダンス

ロック（lock）とは鍵を言い、激しい動きから静止、体が固まった様に止まりポーズを取るスタイルです。ダイナミックなとてもメリハリがあるダンスです。

●ポップダンス

ポップ（pop）、体・筋肉を弾くという意味からこう呼ばれ、動きが面白くロボットダンスと呼ばれるスタイルもあります。特に有名なマイケル・ジャクソンのムーンウォークもポップダンスに含まれます。

●ブレイクダンス

ブレイク（break）は片手で逆立ち回転したり、頭や背中だけでグルグルと回り終わりに決めポーズとる等のアクロバティックなダンススタイルです。日本の若い男女のブレイクダンサーがユースオリンピックや世界の大会で優勝する等、大活躍しています。

これがヒップホップダンス！ HIPHOP! プログラム PROGRAM

- オープニング
- 第1章 ヒップホップダンス
- 第2章 ヒューマンビートボックス
- 第3章 THE BATTLE
- 第4章 みんなで踊ろう!!
- 第5章 質問コーナー
- エンディング

これがヒップホップダンス！ HIPHOP! ダンサー DANCER

EGA

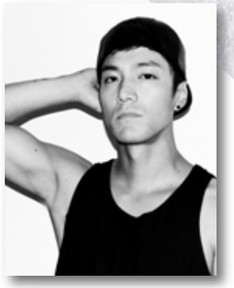
KITE

TOSHI

SHIHO

Qoo

GEN


Bruce Lee

The end

TAZO

MC:四元 理菜

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

種　目(いずれかに○をつけて下さい。)　　**B区分(平成30年度採択　延長)**

【 音　　楽 】　合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【 演　　劇 】　児童劇, 演劇, ミュージカル
【 舞　　踊 】　バレエ, 現代舞踊
【 伝統芸能 】　歌舞伎・(能楽), 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　　Ａ区分のみ ・ Ａ区分と(Ｂ区分)の両方 ・ Ｃ区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　(あり) ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん　おおつきのうがくどう 公益財団法人　大槻能楽堂		
代表者職・氏名	理事長　大槻文藏		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒540-0005 大阪府大阪市中央区上町Ａ番７号 (大阪市営地下鉄谷町４丁目、谷町６丁目・大阪市営バス　国立病院前)		
電話番号	06-6761-8055	ＦＡＸ番号	06-6761-3399
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん　おおつきのうがくどう 公益財団法人　大槻能楽堂		
代表者職・氏名	理事長　大槻文藏		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒540-0005 大阪府大阪市中央区上町Ａ番７号 (大阪市営地下鉄谷町４丁目、谷町６丁目・大阪市営バス　国立病院前)		
制作団体設立年月	昭和 23 年　　5 月		
制作団体組織	役　職　員 理 事 長　大槻文藏 常務理事　赤松禎友　西田信隆 理　事　天野文雄　石川正 大槻久実子 武富康之　宮辻政夫 監　事　植田卓　里井三千雄	団体構成員及び加入条件等 評議員　10 名	
事務体制の担当	専任 ・ (他の業務と兼任)	本事業担当者名	辰田明子　西光沙頼
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	西光沙頼

制作団体沿革	昭和 10 年に故･大槻十三(初代理事長)が建設した大槻能楽堂を前身とし、昭和 23 年に舞台･装束･能面等を個人から寄付して財団法人を設立、正式名称を財団法人大槻清韻会能楽堂に改める。昭和 31 年には大阪府芸術賞を受賞。その後老朽化が進み、昭和 58 年、舞台をそのまま組み直し、全国初椅子席にして建替え、現在の形となる。平成 17 年6月、財団法人大槻能楽堂に名称変更。平成 23 年4月内閣府より移行認定を受け、公益財団法人大槻能楽堂に名称を変更。
学校等における公演実績	学生能楽鑑賞を年間 10 公演程、約 60 年間にわたって実施。大阪府下の高校等を招き、鑑賞の手引きを配布し解りやすい解説後に能を上演。自主公演では夏休み親子教室も実施し、小学生向けの内容も企画。平成 19, 20, 21 年「本物の舞台芸術体験事業」平成 22 年「子どものための優れた舞台芸術体験事業」に能「土蜘蛛」で 44 校。平成 25 年「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」、平成 26 年「文化芸術による子供の育成事業」に能「船弁慶」25 校、能「土蜘蛛」10 校参加。平成 27 年、同事業にて能「大会」13 校、能「土蜘蛛」13 校参加。平成 28 年、同事業で能「船弁慶」11 校、能「土蜘蛛」7 校参加。「文化芸術による子供の育成事業」において、平成 26 年から平成 29 年まで計 4 年間連続の公演実績を持つ。
特別支援学校における公演実績	平成 22 年度　長崎県立大村特別支援学校 平成 25 年度　山梨県立盲学校 平成 28 年度　福井県立福井特別支援学校 平成 29 年度　東京都立北特別支援学校

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ (無)
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

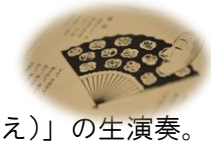
公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　公益財団法人 大槻能楽堂】**

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	初めての能楽　能「舎利（しゃり)」鑑賞会
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	1　部　◆はじめての能楽 ‣オープニング演奏 ‣能について（ＤＶＤ鑑賞） ◆生徒と共演！能でつかうあれこれ！（能面・小道具・能の登場人物紹介） ◆謡ってなぁに？（謡に挑戦・共演・発表会） 2　部　◆ストーリー説明　（スクリーン使用） ◆能楽鑑賞「舎利（しゃり)」 **事後学習**　◆紙製能面の配布 3　部　◆ＰＴＡ、保護者、先生向け　能楽ミニ講座 公演時間（　１００　分　休憩込）

有	著作権	無	制作団体が所有	有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要

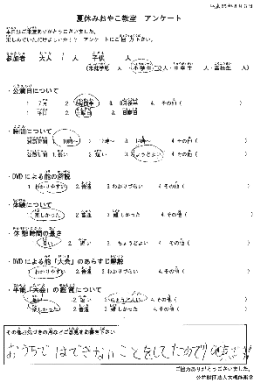
1部：能の紹介・体験

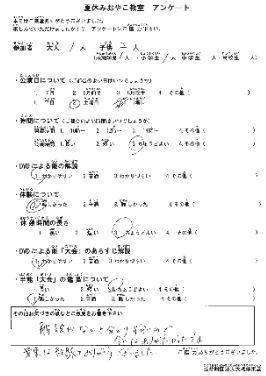


◆はじめての能楽

‣オープニング演奏　　囃子方４人が出て、「早笛（はやぶえ)」の生演奏。
※まず、はじめに生演奏によるお囃子の迫力を肌で感じてもらうために、囃子方による演奏（笛・小鼓・大鼓・太鼓）を行います。
「早笛」とは能の後半、竜神や鬼の登場の際に演奏され、リズミカルなテンポで迫力もあるため、子供にも親しみやすく、出だしで興味を引き付ける狙いです。

‣能について　　（ＤＶＤ鑑賞）
能楽についてまとめたＤＶＤをスクリーンで鑑賞
（能の成り立ち、能舞台、役割、面、装束等）
※初めて能楽を鑑賞する子供が多いと予想される為、音と映像つきの DVD で理解を助けます。当能楽堂で毎年行っている、初心者と子供向けの公演で使用する自主制作 DVD を用います。当能楽堂の公演用に作成しましたが、学校公演でも使用しており、わかりやすいと好評を得ております。


夏休みおやこ教室　アンケート


夏休みおやこ教室　アンケート

◆生徒と共演！能でつかうあれこれ！
（能面・小道具・能の登場人物紹介）

生徒の中から代表者数名を選出し、能面・小道具をつけ、登場人物になりきり舞台上で演者の体験をしてもらいます。
能楽師が生徒の着用している能面や小物の全体に紹介を行い、能をとりまく多種多様な人物や小道具について興味を促すことが目的です。

◆謡（うたい）ってなぁに？（謡に挑戦・共演・発表会）

能「舎利」の曲中で抜粋した一部、または、普段子供達が歌う機会が多い開催校の校歌を謡（うたい･能独特の抑揚をつけたもの）にアレンジして謡います。（学校側で選択して頂きます。）

- **謡に挑戦**　全校生徒で練習挑戦。
- **共演・発表会**　全校生徒で能楽師と共演。
  ワークショップで練習した生徒代表者に能舞台に上がってもらい、披露してもらいます。

※現代人には馴染みが薄くなった謡を、開催校の生徒の誰もが知っている校歌にフシをつけ謡にアレンジします。または実際に能で使われている謡に挑戦することで、謡に親しみを持ち、演者は公演でどのように謡っているか着目してもらうようにします。
身近な曲が謡になるとどのようなるのか、また演者の立場を経験する事もでき、色々な視点で 2 部の能楽鑑賞を観ることが出来ます。

１部での狙い

ほとんどの子供達が初めての能楽鑑賞と思われる為、視覚・聴覚・体験など、様々な角度から能楽を感じて楽しめるよう構成しました。
聞くだけではなく、想像して考えて体で感じる構成にすることで、より能楽鑑賞への興味が繋がるようにしております。

休憩

2 部：能楽鑑賞

◆ストーリー解説

ストーリーを能楽師数名でイラスト等を利用し説明します。（スクリーン使用）
※子供たちに問いかけコミュニケーションをとり、想像力を引出しながらの説明です。子供たちが楽しく聞くことのできるよう、工夫した内容になっております。

◆能楽鑑賞　「舎利」

特設能舞台での上演

特設能舞台での上演。能舞台は「張出舞台」と言い舞台が客席に突き出しており、一般的にホール等で行われる「額縁式舞台」よりも、より演者や囃子の迫力や緊迫感が客席に訴えかける様式です。

大槻能楽堂ではこの様式を重要とし、本物の能舞台を模した特設の舞台で、能の魅力をお届けします。

「舎利」は後場のクライマックス部分の上演。後半部分は動きに富み、主役二人の立回りがお子様の目にも面白い一曲です。

≪あらすじ≫

出雲の国（島根県）の僧が、唐の国(ちゅうごく)から渡って来たという仏像や仏舎利(仏様の骨を納めたもの)を見ようと、京都東山の泉涌寺にやって来ます。僧が仏舎利を拝んで感激していると、寺の近くに住むという男がやって来て、一緒に舎利を拝みます。そうしている内に、突然空が曇り、稲妻が光ると、男が鬼となり、「自分は足疾鬼（そくしっき）であり、ずっとこの仏舎利が欲しかった」と言い、仏舎利を奪い天井を蹴破って消え去ります。

鑑賞部分　僧は物音に驚いて駆けつけた寺の僧から、釈迦が死んだ際に足疾鬼という鬼が、釈迦に対する敬意と情愛から釈迦の歯を盗んで飛び去ったが、韋駄天という足の速い仏神が取り返したという話を聞きます。そして、二人が祈ると韋駄天が現れ、足疾鬼を追いつめ、ついに仏舎利を取り返し、力の尽き果てた足疾鬼は逃げ去るのでした。

事後学習（宿題）　（紙製能面の配布）

（紙製能面の配布）

生徒達に帰宅後も再度“能”にふれる時間をもってもらうため、宿題として「家族に今日見て聞いた事を伝えて下さい」と配ります。
（作り方使用方法も説明。）
本来なら全校生徒に本物の能面をつける能面体験が実施出来れば良いのですが、時間等にも制限がある為、本物により近く製作した紙製能面を配り体験可能にしました。
実際に再度体験し、思い出し、伝えてもらう事により、この舞台鑑賞が心に残ると考えています。紙製能面が生徒の手元にあることで、自主的に舞台鑑賞を思い出し、生徒間やご家族に能楽鑑賞について、話をするきっかけになることで、
伝統芸能を通じたコミュニケーションの育成にも効果的と思っております。

（1 年を通して能楽鑑賞を思い出していただくよう、大槻能楽堂・能楽美術カレンダーの配布）

3 部：要望があれば

・ＰＴＡ、保護者の方々向け　能楽ミニ講座　質疑応答

能楽の楽しみ方講座や案内など

※公演だけで終了させるのではなく、帰宅後、家族で能楽鑑賞について話ができるようにとご要望があれば生徒の鑑賞終了後、別途開催したいと考えております。

<table>
<tr><td>演目選択理由</td><td colspan="3">「舎利」
能が抱かれがちな「静かで変化に乏しい」というイメージを払拭し、鑑賞中子供達がワクワクできるように、動きに富んだ演目「舎利」を選択しました。
また、あらすじが「釈迦を敬愛するあまり、釈迦の体の一部を持ち出してしまい、罰を受ける」という明快なものであり、簡単なあらすじを頭にいれておけば、舞台上で何が起こっているのか、子供にもわかりやすいと判断しました。子供達に発信するもので、教訓的なものがある物の方が心に入りやすいということもあり、新しい試みとして、これまで選択してきた演目とは異なるテイストのものを選んでおります。
教訓としての側面も持ちつつ、足疾鬼と韋駄天の切り合いは非常に迫力に富み、退屈さを感じさせないものであるので、能の導入に適していると考えます。
「舎利」の能鑑賞も含め、第一部で行う登場人物の体験で、九尾や天女等の紹介を通して、能のキャラクターの多様性をアピールしていきたいと思っております。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">謡体験
体　　験：全校生徒で謡に挑戦します。
共演・発表会：練習した謡を全校生徒で、能楽師と共演します。
ワークショップを体験した生徒代表者に舞台に上がってもらい披露（舞台上での共演）してもらいます。
（舞台に上がった時の謡をうたう作法も事前にレクチャー）
登場人物体験
代表者が能面・小道具などをつけ、登場人物となって能舞台に出てもらいます。舞台上で実際に能の動作を能楽師からレクチャーを受け、また生徒が身に着けている物を全体に説明するといった共演の形態をとっています。</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">シテ方　☆大槻文藏・赤松禎友・山本博通・上野雄三・武富康之・〇齊藤信輔
・大槻裕一等
（シテ１・地謡 6・後見２・台後見、働 2）　全 11 名
ワキ方　福王和幸　福王知登等（ワキ１・働１）　全 2 名
囃子方　藤田六郎兵衛・清水皓祐・山本哲也・中田弘美　等
（笛・小鼓・大鼓・太鼓）　全　４名
☆＿＿＿は平成 28 年 7 月に重要無形文化財（各個認定・人間国宝）に認定
＿＿＿は重要無形文化財（総合認定）保持者
〇＿＿＿は平成 29 年 7 月に重要無形文化財保持者（総合認定）に認定
※能楽界第一線で活躍している能楽師を主に、他のメンバーも交え日程を考慮した上で構成</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　17 名
ス タ ッ フ:　1 名
合　　計:　18 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　3t
車 長　5m
台 数　1 台</td></tr>
</table>

【公演団体名　公益財団法人 大槻能楽堂】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>
午後公演―前日仕込み(有 ・(無)) 会場設営の所要時間(2 時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9 時</td><td>9 時～11 時</td><td>13 時～15 時</td><td>15 分</td><td>15 時～16 時</td><td>16 時</td></tr>
</table>
午前公演―前日仕込み((有) ・ 無) 会場設営の所要時間(2 時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>前日
16 時頃</td><td>前日
16 時～18 時</td><td>10 時～12 時</td><td>15 分</td><td>12 時～14 時</td><td>14 時</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>
<table>
<tr><td>ワークショップ</td><td>120 名程度（応相談）</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>100～600 名程度(会場条件により 600 名以上も可能)</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>
能楽師数名が訪問し、子供達と交流します。

① 能についてのお話

② 謡体験
能楽の基本となる謡を体験。
能「舎利」の曲中から抜粋した一部、または開催校の校歌にフシをつけ
謡にアレンジしたものに挑戦。謡を身近なところから学んでもらいます。
（本公演では代表者を選んでもらい、舞台上にて発表会を開催）

③ 能の小道具作成（オリジナル能面制作）
「能楽」の代表的な小道具である能面を、専用紙を用いて、子供達の自由な発想で本公演の演目「舎利」に登場する能面、小道具を作成。
能面は能楽師によるレクチャーを受けた上で、子供たちの自由な発想で色を塗ります。作成過程では、能楽師も生徒の輪に参加することにより、子供たちと交流も図れます。作成した小道具は、後の型の体験に使用いたします。

④ 型の体験
完成した能面をつけ、能の動き「型」などを体験。
子供たちには日常生活ではしないような型を行うことにより、
舞台上で能楽師がどのように動いているのか、実際に体感してもらいます。
紙製の能面をつけ、どのような視界で演者が舞を舞い、舞台に立っているか実感してもらいます。

※上記以外にも、学校の特色に合わせご相談させて頂きます。
工作をご希望で無い学校の場合などは
謡・仕舞・囃子などのお稽古を中心とした内容に変更することも可能です。
その他、学校側のご要望があれば取り入れます。
</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	意図：本公演の能楽鑑賞がより興味深く、印象に残るよう企画。 能楽師と楽しく触れ合い、実際に謡に挑戦し能面を作成することで、演劇の中でも敬遠されがちな「能」をより身近に感じることができます。 事前にこうした体験をすることで、本公演の能楽鑑賞の興味をより引き出します。 謡体験：昔は親しまれていた謡を身近な音楽からアプローチ。 知っている“歌”から学ぶ事で、親しみをもって、謡を学んでもらえ、印象に深く残ると考えました。 あるいは、実際に作中に登場する言葉で謡に挑戦することにより、聞き取れない・意味が分かりにくいと敬遠するのではなく、本公演でも興味を持って、鑑賞して臨んでもらおうという意図があります。 能の小道具作成（オリジナル能面制作）：能で使用する代表的な道具である能面を、大槻能楽堂オリジナルの紙製にしたものを使い登場人物に扮装します。能面は子供たち個人で思い思いの色を塗り、楽しく能に触れる時間を設けます。また、作成した能面を用いて能楽師より能の動作のレクチャーを受ける等、能楽師と子供たちが接するコミュニケーションの時間も設けております。
特別支援学校での実施における工夫点	生徒の特色にあわせて内容をご相談します。 能のストーリー展開時、文章による場面説明。 音・体験等に特化したワークショップの実施。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

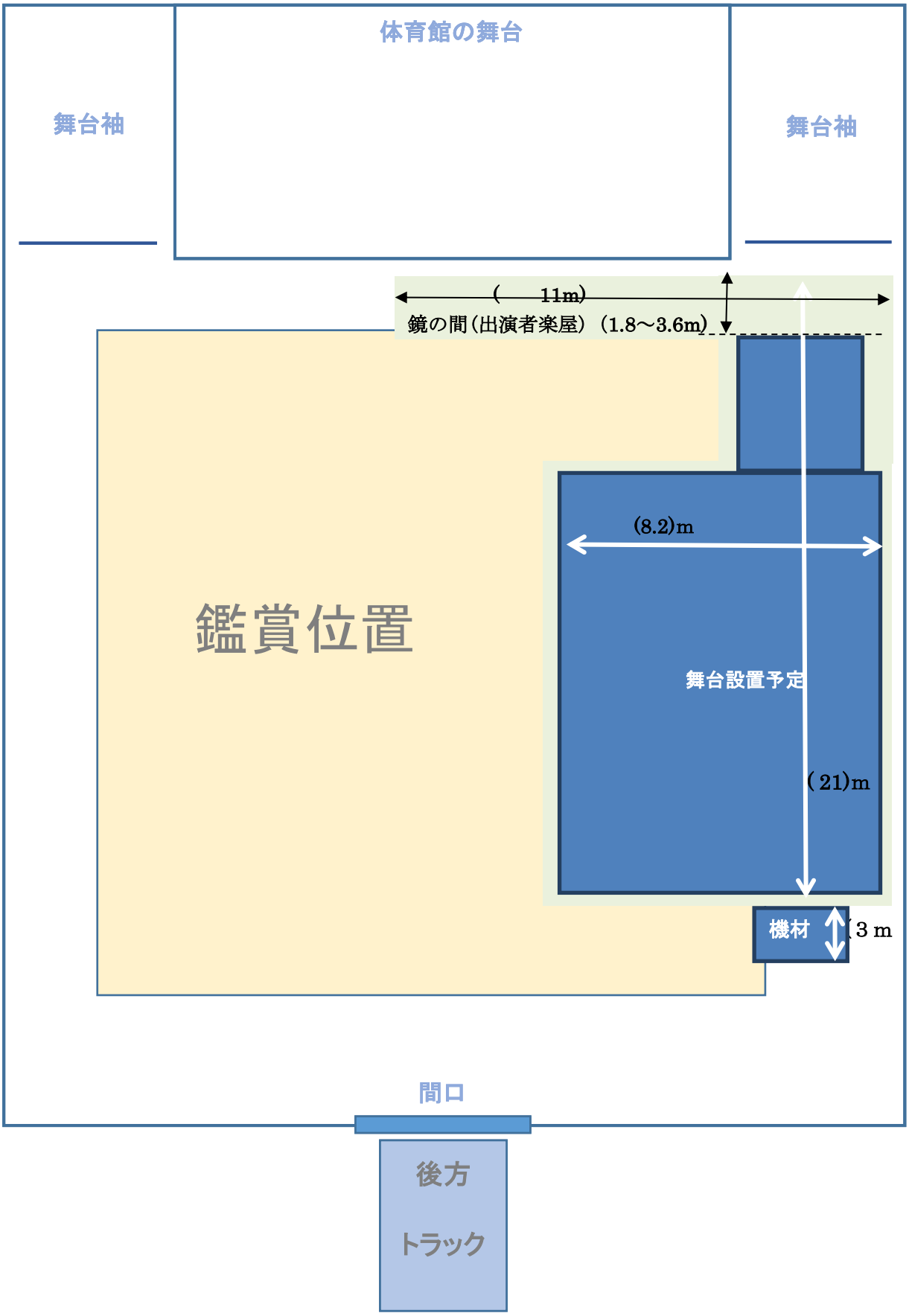
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C30	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	C	区分	B区分
公演団体名	公益財団法人 大槻能楽堂				制作団体名	公益財団法人　大槻能楽堂			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	設営スタッフ用に体育館に近いお部屋をご用意ください。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			3tトラック　1台		中型バス　1台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			3tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			なるべく近く				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・幅1m×2.5mの台車が通るスロープがあると助かります。				
	／	理由			・舞台設営に平台を数十枚使用するため、				
	―	設置階の制限＊			幅の広い階段及びエレベーターがあれば設置				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8		高さ	2		
WSについて	可	参加可能人数		150名程度					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊		なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分～120分程度(休憩込)					
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		フロアサイズによる。100名～400名程度まで。					
	可	舞台設置場所＊		フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	24m	奥行	10m	高さ	不明	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊			不要			
	―		舞台袖スペースの条件＊						
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		どちらでも可	理由	但し無い場合は映像無しの内容に変更			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	―	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		問わない				
	―	公演に必要な電源容量		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		なるべく近く		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

公益財団法人大槻能楽堂

文化庁による子供の育成事業

能は今から約650年前に、観阿弥・世阿弥親子によって大成された、日本の「ミュージカル」です。親子の情や恋、戦の哀れや苦しみなどを、台詞や謡（うたい）、舞を舞うことで表現しています。セリフ劇が中心の狂言と兄弟のように演じられ進化し、能と狂言を一括して「能楽」と呼びます。現存する演劇の中で世界最古の演劇とされ、ユネスコの世界無形文化遺産として登録されました。

ワークショップ内容

能楽のプロ（能楽師）がわかりやすく、楽しくレクチャーします！

①能についてのお話

能楽師が小物やパネルを用いて、
クイズ形式で生徒さんとやりとりしながら、能楽についてわかりやすく説明します。能の楽器によるエア楽器体験や、実演もあります！

②謡（うたい）体験

通常の音楽の授業ではなかなか体験できない能独特の旋律、フシを体験。本公演で鑑賞する能「舎利」の一部分か、学校の校歌にフシをつけての体験か事前に選べます。

③小道具作成（オリジナル能面作成）

「能楽」の代表的な小道具である能面を、大槻能楽堂オリジナルの紙製能面で作成します。子供達は能楽師とコミュニケーションを取りながら、紙製の能面に思い思いの色を塗り、完成した能面をつけて登場人物に扮装します。

④型の体験

完成した能面をつけ、能楽師のレクチャーにより能の動き「型」を体験！
舞台上で能楽師がどのように動いているのか、実際に体感することができます。

学校のご希望・特色に合わせてご相談に応じます！

学校のご希望によっては、ワークショップの内容を工作中心ではなく、謡・仕舞などのお稽古を中心とした内容に変更することも可能です。特別支援学校での公演実績もございますので、お気軽にご相談ください！

本公演内容

●第一部

①オープニング演奏

笛・小鼓・大鼓・太鼓による迫力ある生演奏。リズミカルなテンポで、低学年の生徒から中高生までわくわくするような演奏です。

②ＤＶＤ鑑賞…能について

能楽についてまとめたＤＶＤをスクリーンで鑑賞。能の成り立ち、能舞台、役割、能面や装束等を、わかりやすいＤＶＤで鑑賞します。

③生徒と共演！能でつかうあれこれ！

生徒の中から代表者数名を選出し、能面・小道具をつけ、登場人物になりきり舞台上で演者の体験をしてもらいます。

④校歌に挑戦・能楽師と共演します！

ワークショップで練習した能「舎利」の一部分か、フシを付けた学校の校歌に挑戦・能楽師と共演します！本公演を鑑賞する全校生徒で練習し、ワークショップで練習した生徒代表者には能舞台にあがってもらい、全校生徒で披露してもらいます。

●第二部：能楽鑑賞

いよいよ特設舞台での本格的な能公演！観客席側に突き出した特殊な形式の舞台で、能「舎利（しゃり）」を鑑賞いたします。

能「舎利（しゃり）」　あらすじ

足疾鬼（そくしっき）という鬼は、お釈迦様が大好きなあまり、京都のお寺の仏舎利（ 釈迦の骨を納めたもの ）を盗んでしまいます。それを取り戻すため、寺を訪れていた僧が祈ると、足の速い仏神・韋駄天（いだてん）が現れ、足疾鬼を追いかけます。足疾鬼は取り返されまいと抵抗するのですが…。

まるで能楽堂にいるような大迫力！

※写真は能「土蜘蛛」です。

※能「舎利」　能楽堂にて公演。

低学年～中高生にもわかりやすい、動きに富んだ一曲です！

わたしたちは大阪にある大槻能楽堂（おおつきのうがくどう）です

大槻能楽堂は昭和 10 年に大槻十三が設立。公益性をもった能楽堂として運営し、本年で 82 年の歴史を持ちます。設立時に造られた能舞台は、登録有形文化財に認定もされました。2016 年に人間国宝に認定された理事長・大槻文藏の監修のもと、ユネスコ世界無形文化遺産である「能楽」を通して子供たちに伝統芸能を鑑賞する機会を増やし、舞台芸術の面白さを発信しています。

公益財団法人 大槻能楽堂
〒540-0005 大阪府大阪市中央区上町A-7
TEL 06-6761-8055　FAX 06-6761-33399

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・(能楽)，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきかいしゃ あんえんたーていめんと 株式会社アンエンターテイメント		
代表者職・氏名	代表取締役　高久照敏		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒106-0041 東京都中央区銀座 7-13-6 サガミビル2階（都営浅草線 東銀座駅）		
電話番号	050-3624-6767	ＦＡＸ番号	050-3737-7055
ふりがな 公演団体名	おおくらりゅうきょうげん 大蔵流狂言		
代表者職・氏名	能楽師大蔵流狂言方・大蔵基誠		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 同上		
制作団体設立年月	2002 年　10 月		
制作団体組織	役　職　員 代表取締役　高久照敏 経理担当　宮田幸子	団体構成員及び加入条件等 当団体の活動に賛同し、伝統芸能に携わる芸術家および関係者 構成員の過半数以上の認可	
事務体制の担当	(専任)・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	大蔵基誠
経理処理等の監査担当の有無	(有)・ 無	経理責任者名	宮田幸子

制作団体沿革	平成14年10月　東京都新宿区に有限会社マスウェルス設立。(資本金300万円) 平成21年3月　株式会社アンエンターテイメントに名称変更。 日本の伝統芸能(歌舞伎、能楽、邦楽)などの国内振興および国際交流の推進に寄与することを目的として設立。世界 69 カ国で数々の伝統芸能の公演をプロデュースしてきました。 日本の伝統文化、伝統芸術の国内振興および国際交流に寄与することを目的として活動しています。
学校等における公演実績	平成 28 年 札幌ひばりヶ丘小学校(北海道)、北海道シュタイナー学園(北海道) 城西小学校(青森県)、十和田市立南小学校(青森県) 八戸市立白山台小学校(青森県)、葛巻町立江刈中学校(岩手県) 百石中学校(青森県)、下田中学校(青森県) 木下中学校(青森県)、桃稜中学校(福島県) 国分寺東小学校(栃木県)、行田中学校(埼玉県) 平成 29 年 大幡中学校(埼玉県)、平岡小学校(千葉県) 大宮中学校(千葉県)、横須賀小学校(千葉県) 江東区立亀戸中学校、東京都立葛飾商業高等学校 石川県珠洲市内の小学生・中学生、神奈川県立秦野総合高校 神奈川県立舞岡高校、神奈川県立 向の岡工業高校 相模女子大学中学部、愛国学園大学附属四街道高校 森村学園中等部、千葉英和高等学校 平成 30 年 東海大学付属浦安高校中等部、東京都立つばさ総合高等学校 神奈川県立松陽高等学校、千葉県立松戸南高等学校 千葉県立千葉女子高等学校、横浜中学高校 東京都立 田無工業高校、藤沢翔陵高校 横浜市立東高校、東京都立杉並工業高等学校 阿波高校、半田中学 奈良産業大学、慶応義塾大学 蔵王円田小学校、角田市北郷小学校 中田中学校、岩沼小学校 栗原市立大岡小学校、淳城南小学校 古川第三小学校、学鳳中高等学校
特別支援学校における公演実績	平成 28 年～平成 30 年 東大寺整枝園(奈良市)　・七条養護学校(奈良市)・帯広盲学校(北海道帯広市)

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有　・　無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	https://www.youtube.com/watch?v=TCah6yVTMNQ&feature=youtu.be
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名**大蔵流狂言 **】**

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年)　・　中 学 生
企画名	大蔵流こども狂言
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	古典芸能「能楽　狂言」の解説 狂言「棒縛」 演目解説 狂言「柿山伏」 公演時間(80～100 分)

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要	解説 「狂言ってなぁに？ 附子ってなぁに？」　解説:大蔵基誠 狂言は難しい古典芸能と思われがちですが、実はこっけいな動きやセリフで笑わせる古典喜劇です。そんな「狂言」の魅力を、狂言独特のことば遣いや発声方法などを交えて分かりやすく説明します。 狂言「棒縛」　（太郎冠者） 大蔵教義 （主人）　小梶直人 （次郎冠者） 吉田信海 解説 「柿山伏」　大蔵教義 狂言「柿山伏」（山伏） 大蔵基誠 （畑主） 小梶直人 生徒参加　狂言体験 (体験コーナー、クイズコーナー、共演コーナー)
演目選択理由	世界最古の喜劇である狂言は、日本が誇る伝統芸能であり子供たちが楽しみながら鑑賞することが出来ます。「棒縛」「柿山伏」とも小学生低学年でも理解しやすい物語です。小学生高学年から中学生とっては、日本文化の様式美や形式などを学ぶ上でも適切な演目になります。大蔵流狂言を鑑賞することで「芸術を愛する心」、「豊かな情操」、「優れた才能と完成」を育むことが出来ます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	①体験コーナー「こどもたちの代表が舞台に上がり、狂言の所作や発声などを体験できるコーナーです。」 ②クイズコーナー「狂言についてのクイズを出題し、こどもたちといっしょに楽しみながら学びます。」 ③共演コーナー狂言「菌(くさびら)」のきのこの役を生徒代表約 20 名で演じてもらい、大蔵流狂言方たちと一緒に作品を作り上げます。
出　演　者	「大蔵流こども狂言」 能楽師狂言方大蔵流 大蔵基誠　冨田昌美 大蔵教義　上田圭輔 吉田信海　小梶直人 茂山忠三郎　山口耕道 善竹富太郎　善竹大二郎

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　6名 ス タ ッ フ:　2名 合　　計:　8名	機 材 等 運搬方法	積載量　2t 車 長　5m 台 数　1台

【公演団体名　　大蔵流狂言】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td colspan="2">前日仕込み(有 ・(無) 会場設営の所要時間(時間程度)
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>9 時</td><td>9 時～ 10 時</td><td>1 時～ 3 時</td><td>0 分</td><td>3 時～ 4 時</td><td>4 時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>20～100 名</td></tr>
<tr><td></td><td>本公演</td><td>300～1,000 名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">本番で生徒全員と共演するコーナーのリハーサルを行なう
≪内容≫
狂言の説明
簡単な実演
狂言をみんなで演じよう！
狂言「菌(くさびら)」のきのこの役を生徒代表約 20 名で演じてもらい、大蔵流狂言師たちと一緒に作品を作り上げます。
公演前に「大蔵流こども狂言」メンバーである 2 名の指導者が学校を訪問し、生徒代表と共演のリハーサルおよび指導にあたります。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td colspan="2">観賞するだけではなく、実際に作品を創り上げる過程を経て演じることを体験することにより、作品作りの楽しさや大変さ、また皆で力を合わせ作り上げることの大切さを学ぶ機会にする。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">経験がありますが、差別しないでそのまま鑑賞していただきます。とても一生懸命みてくれ、こちらがいつも感動しています。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

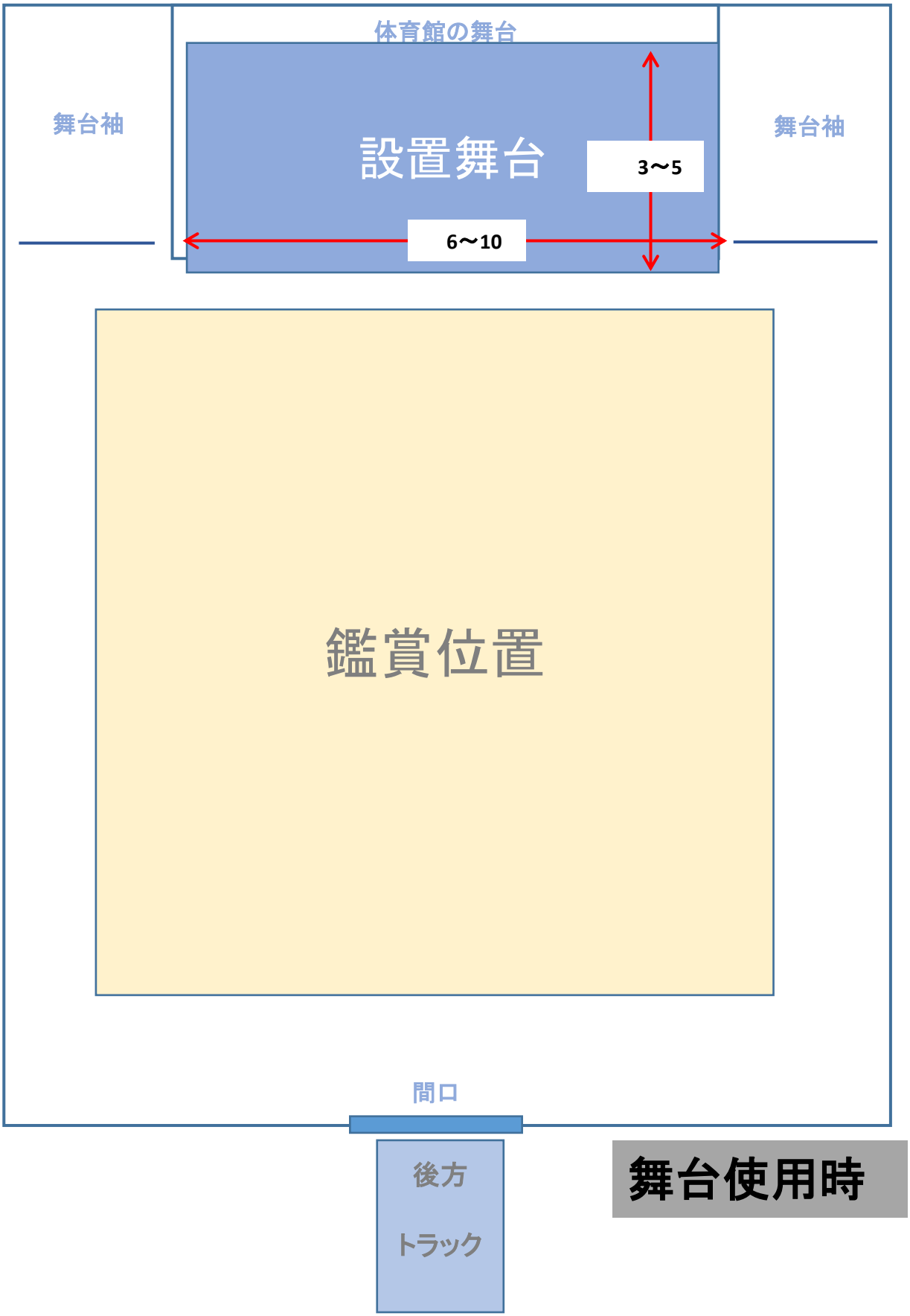
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C31	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	大蔵流狂言				制作団体名	株式会社　アンエンターテイメント			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	12畳ほど6名の演者が装束に着替えるスペースを希望です。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　1台		乗用車　2台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン1台				
	―	搬入車両の横づけの要否＊			不要				
	―	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。				
		理由							
	―	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		20～100名程度まで					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊		なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名程度					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	6～10m	奥行	3～5m	高さ	指定なし	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊			不要			
	―		舞台袖スペースの条件＊			袖に荷物がない状態			
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		60A				※主幹電源の必要容量	
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

見て 体験して 楽しむ
日本の伝統文化

大蔵流 こども狂言

能楽師狂言方
大藏基誠

狂言は650年余続く
伝統と格式のある演劇ですが
織田信長、豊臣秀吉
徳川家康たちも楽しんだ
笑いの演劇です。

生徒参加 狂言体験

見て 体験して 楽しむ 日本の伝統文化

大蔵流 こども狂言

「狂言ってなぁに？ 附子ってなぁに？」

狂言は難しい古典芸能と思われがちですが、
実はこっけいな動きやセリフで笑わせる古典喜劇です。
そんな「狂言」の魅力を、狂言独特のことば遣いや
発声方法などを交えて分かりやすく説明します。

生徒参加
狂言体験

演目

「棒縛」・「附子」
「柿山伏」

生徒参加

体験コーナー
クイズコーナー

体験風景

講師：大藏基誠

講師 プロフィール

25 世大蔵彌太郎の次男で 24 世大蔵彌右衛門と父に師事。4 歳 8 ヶ月で「以呂波」にて初舞台を踏み、今日までに「末広がり」「那須の語」「千歳」「三番三」「釣狐」を被く。小・中・高に出向き狂言を楽しませる学校狂言を展開し若い世代に伝統芸能の楽しさを伝える。その独特なトークで今までになかった伝統の楽しみを発見出来ると生徒達からも人気がある

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，(邦楽)，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。	(A区分のみ) ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)	あ り ・ (な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ さんろくや 株式会社　三六屋		
代表者職・氏名	代表取締役　阿部　洋介		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒123－0871 東京都足立区椿2丁目23－15 (日暮里舎人ライナー・西新井大師西駅より徒歩約15分)		
電話番号	03-5691-0160	ＦＡＸ番号	03-5691-0160
ふりがな 公演団体名	つがるじゃみせん あべや 津軽三味線　あべや		
代表者職・氏名	阿部金三郎		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒123－0871 東京都足立区椿2丁目23－15 (日暮里舎人ライナー・西新井大師西駅より徒歩約15分)		
制作団体設立年月	2010年9月30日		
制作団体組織	役　職　員 代表取締役社長　阿部洋介 役員　阿部人斎 役員　阿部園美	団体構成員及び加入条件等 役員:3名 従業員:4名 出演者:15名	
事務体制の担当	(専任) ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	久保田　朱美
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	阿部　園美

制作団体沿革	**株式会社　三六屋** 株式会社三六屋は日本の伝統芸能、郷土芸能の発展と普及に努めるべく組織されました。国内外問わずその可能性を広げ様々なアプローチでその芸術や情報を発信しています。公演活動のサポートはもちろん音楽の指導、教育にも力を入れており様々なジャンルの芸能を幅広い層に広めるべくレッスン活動も大きな規模で展開。代表をはじめ社員構成員も若き人材を有しその力と才能を結集し従来にはない発想で現代における伝統芸能のあり方進め方を演奏者と共に意見を交えながら作り上げていくスタイルは三六屋の最大の特徴です。また独自で立ち上げたプロジェクト「HINOARHYTHM」はパンフレット、ホームページはもちろん公演全体を全て英語で行うという新感覚の公演、ワークショップを行い言葉や国を問わず楽しめる伝統芸能のグローバル化を計るプロジェクトとして精力的に公演活動を実施しています。また革新的な取り組みと合わせて、先人が培った芸能は崩さず壊さず伝統を守り継いでいき、進取と温故知新の精神で伝統芸能の新しい「時代」をつくるプロフェッショナルチームです。 2014 年日・カリブ交流年事業公演達成 2016 年 18 年「HINOMARHYTHM」開催 2018 年津軽三味線・民謡団体「三乃会」と統合 2019 高知よさこい楽曲提供 他 CD 出版多数 **津軽三味線　あべや** 津軽三味線全国チャンピオン 阿部金三郎・銀三郎兄弟を中心に結成された津軽三味線、民謡を中心とした日本民俗音楽芸能集団。古来より日本人が培ってきた魂の音をメンバー独自の構成で表現し、忘れかけていた日本の音の力、日本人の感性を呼び覚ます舞台を届ける。ただ音楽を聞くのではなく心躍り楽しませるというエンターテイメント性を重視した舞台には「笑い」「感動」「躍動」様々な転結を兼ね備え、見ている人を飽きさせない。躍動溢れる津軽三味線の旋律、どこか懐かしい民の謡（うた）い、尺八のもつ日本古来の威風堂々とした音艶に、華やかな踊りが舞台を染める。若さ溢れる演者の表情から一転した演奏表現は至高の作品である。2012 年にはアメリカ6都市で公演ロサンゼルス、ポートランド、デンバー、ハワイ、シアトル、サンフランシスコ、UCLA（カルフォルニア大学ロサンゼルス校）とハワイ大学にて津軽三味線民謡ワークショップ開催。2013 年イギリス公演、2014 年中南米ツアー（ジャマイカ、ハイチ、ベリーズ）と、近年活躍の場を海外へも広げている。世界数 10 カ国の公演を通して感じてきた日本の音の力を確信した、あべや独自の思想論「HINOMARHYTHM」は日本人が育んだ音の響きを世界中に届けるというのを基礎に、世界を震撼させることで日本人が本当の「日本の力」を再認識するというプログラムでありそれを掲げる。若き才能がぶつかりあう魂の舞台を、日本・世界のステージで展開している。
学校等における公演実績	平成23年度： 20公演 平成24年度： 20公演 平成25年度： 25公演 平成26年度： 78公演（内文化芸術による子供の育成事業は16公演） 平成27年1月20日 島根県立出雲養護学校で派遣事業を実施。 平成27年度： 81公演（内文化芸術による子供の育成事業は17公演） 平成27年11月27日 宮崎県都城市立石山小学校で派遣事業を実施。 平成28年度： 65公演 平成29年度： 64公演（内文化芸術による子供の育成事業は20公演） 平成30年度： 68公演

<table>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">平成 26 年度　文化芸術による子どもの育成事業　　派遣事業
島根県立出雲養護学校

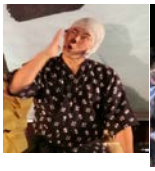
平成 27 年度　文化芸術による子どもの育成事業　巡回公演事業
宮崎県立清武せいりゅう支援学校

平成 29年度　文化芸術による子どもの育成事業　巡回公演事業
滋賀県鳥居本養護学校</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公　演　・　ワークショップの内　容　　【公演団体名　津軽三味線　あべや】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中　学　生
企画名	五感に飛び込む日本の音！あべや邦楽ライブ！！
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	日本の音を響かせ、日本人の心を揺さぶる **津軽三味線邦楽ユニット LIVE** **●体を突き抜ける津軽三味線の響き** ○「津軽じょんがら節」など伝統曲だけでなく、幅広い世代でお楽しみいただけるよう、あべやオリジナル曲も構成。 ○尺八や和太鼓など他和楽器と、時に溶け合い時に競い合う合奏曲を、効果的にプログラム。 ※撥で叩いて演奏する津軽三味線。弦楽器でありながら、打楽器のような迫力と、心地よい独特の高音域を発する津軽三味線の魅力を十二分にお楽しみください。 **●自然と手拍子が出て口ずさむ日本人のソウル曲、民謡をたっぷりと** ○代表的な民謡「ソーラン節・花笠音頭・東京音頭」のメドレーに手拍子を添えて。 ○ワークショップでも体験。北前船に乗り各地に渡った「牛深ハイヤ節」。民謡歌手の唄に合わせ、皆さんの威勢の良い唄囃子（掛け声）が、会場を盛り上げる。 ○リクエストにより地元（それを知るのは地域？県？それとも自治会レベル？）の民謡を演奏し、皆で唄う。口承音楽を通して地元の風俗を知る、またとない機会。 **●重低音が会場を包み込む和太鼓の大迫力と体験** ○踊るようなバチさばきから、二人の太鼓奏者が複数の太鼓を変幻自在に叩く「関東一番太鼓」。激しく変化するリズム構成が聴く・観るものを魅了する重低音の世界。 ○児童・生徒さん、先生の参加による、太鼓を叩く楽しさ満載の体験。 **●和楽器の王者、尺八の奥深い音色** ○奏者により自在に音域と伸びが表現される尺八の音色を、「鹿の遠音」など代表的なソロ曲で味わう。 ※音楽教材で多く扱われる尺八。形は知りながらも実際に、音を聴く機会は少ないと思います。ソロのみでなく、他和楽器とのコラボや民謡伴奏での活躍にもご注目ください。 **●踊り・舞いのパフォーマンスが、視覚に飛び込む** ○滑稽な民舞「安来節」、風情あふれる「江戸寿獅子舞」、ハイテンポな「銭太鼓」。客席を巻き込み

ながら、和楽器ライブを沸かすパフォーマンスの数々。



●和楽器演奏による校歌の合奏

○津軽三味線、尺八、鳴り物が奏でる校歌演奏。小学校1年生から中学校3年生まで全員が知る母校の校歌を、和楽器演奏をバックに大合唱。

●あべやと児童・生徒全員で創るみんなでソーラン

○運動会発表など、皆が慣れ親しむ「ソーラン節」。

○代表者の演奏、あべやの合奏、全員の手拍子・唄、そして“オリジナル大漁旗”。各校の独自性を最大限に引き出しながら体育館に、北の漁場を創り出す。

じっくり聴く、迫力を体感する、一緒に唄う、実際に体験で演奏する、心躍る祭りを感じる・・・ という邦楽・民俗芸能の魅力を、余すことなくお伝えするよう、上記の内容をメリハリある曲順で構成します。

作曲：阿部金三郎　他

※休憩を入れる事も可能です。

※実施校さんの実情に合わせて、曲順・曲目を変更する可能性があります。 公演時間（100分）

NHK ＦＭ「吉木りさのタミウタ」にレギュラー出演！

NHK FM 「吉木りさのタミウタ」（毎週月曜 11：00～放送）の**「あべや楽器店」**というコーナを担当しています。

さまざまな民謡楽器をユーモアあふれるトークを交えて、ご紹介しています。

ラジオを通して、全国の皆さんにその魅力を広めています。

YouTube おもしろくて、ためになる情報バラエティ「ボンボン TV」にて youtuber『いっちー＆なる』とコラボレーションいたしました。

“南中ソーランを全力で踊ってみた！”
https://www.youtube.com/watch?v=UFQyVVyPrbA

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	

本公演・プログラム

公演時間：100分

津軽三味線 邦楽ユニットLIVE!

一、白狐行列 オープニング演出 サプライズ登場!

黒澤明監督の映画「夢」のなかの1シーン「狐の嫁入り」をモチーフにしています。奏者と代表の生徒さんが白狐の面をかぶり、客席後方から登場し、舞台に向かってゆっくりと動いていきます。さらに後ろには虚無僧に扮した尺八奏者が続き、尺八の荘重な音色が客席を抜けてゆきます。その幻想的な雰囲気を見て楽しむのは勿論、ちぐはぐな行列の滑稽さと仕草が客席の笑いを誘います。

【使用楽器】尺八／太鼓

二、妖気太鼓 和太鼓 ちょっと怖いけど太鼓の迫力炸裂!

唸るような尺八の音にあわせて鬼の面をつけた奏者が登場します。
その出で立ちのまま、生徒さんの目の前に置かれた太鼓を激しく叩きます。和太鼓＋幻想という不思議な感覚で体育館をより一層非現実的な邦楽の世界へと変えてゆきます。

【使用楽器】和太鼓／尺八

三、飛舞 津軽三味線&和太鼓 本格的な邦楽公演スタート!

いよいよ津軽三味線が演奏に加わります。徐々に太鼓と共に盛り上がり、
賑やかな演奏を展開します。伊勢音頭と津軽じょんがら節を曲中に入れた楽曲は和の迫力と雅やかさを表現しています。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／尺八

四、鹿の遠音などより　尺八
邦楽器の代名詞たる尺八の響き

尺八は中国唐の時代から今に伝わる伝統楽器。
素材は竹のみというシンプルながら、音色は大変奥深いものがあります。伝統曲などを演奏して、その趣を響かせます。

【使用楽器】尺八

五、嵐　津軽三味線&尺八
体を突き抜けるハイテンポな三味線と尺八の音色

津軽三味線と尺八の特異なコラボレーションです。それぞれの音色の融合が生み出す新しい和の音を追究した創作曲です。

【使用楽器】津軽三味線／尺八

六、津軽三味線曲弾き対決　津軽三味線
プロの演奏はこんなにすごい！

毎年行われている津軽三味線全国大会で実際に弾かれている技を駆使した対決をご覧いただきます。実力伯仲の津軽三味線奏者が一堂に介し、体育館を大会会場にみたて、それぞれの演奏技術を存分に発揮します。

【使用楽器】津軽三味線

七、「関東一番太鼓」　和太鼓
体育館を包む大迫力の重低音！

戦後に確立された現在の和太鼓の世界。その創成期につくられた「大江戸助六太鼓」の流れをくむ奏者によるオリジナル曲。荒々しい和太鼓の中に江戸の粋な小技を組み込んだ、まさに魅せる太鼓演奏です。

【使用楽器】和太鼓

八、体験　太鼓教室　和太鼓体験
やってみると意外と難しい、、、楽しい体験！

和太鼓の体験コーナーです。挑戦する生徒さんには最初は簡単なリズムを、徐々に学年でレベルをわけ、複雑なリズムをたたいてもらいます。そして最後には代表の先生に登場してもらい、さらに難しいリズムをたたいていただく体験コーナーです。

【使用楽器】和太鼓

九、地元の民謡　民謡
地元に伝わる誇りの民謡！

地元やその地域に伝わる民謡をプロの民謡歌手と生徒さん、近隣の方、皆さんで唄い、地元の良さを再発見する民謡コーナーです。また得意な人は、舞台に上がって唄ってみませんか？

【使用楽器】唄 他

十、日本民謡紀行　民謡
必ず一度は聴いたことがありますよ！

民謡の世界を五感でお楽しみ下さい。まずそのステップアップとして皆さんに手拍子で参加してもらいます。盆踊りで聞いたことある唄、教科書に記載してある唄など有名な民謡をメドレーにします。

【使用楽器】唄 他／尺八

曲例　ソーラン節、こきりこ節、斎太郎節、北海盆唄、九州炭鉱節、東京音頭などから3曲ほど

十一、体験 牛深ハイヤ節（熊本県民謡）

民謡

思わず体が動きだす賑やかな曲！

民謡に触れるステップ2として、唄の合間に入れる「唄囃子（合いの手）」で、みなさんに参加していただきます。
一度練習して、本番では低学年と高学年、生徒さんと先生などに分かれ“さっさぁよいよい、よいさぁよいさぁ”とその威勢を競ってもらいます。

【使用楽器】唄 他／尺八

十二、「安来節～どじょう掬い～」（島根県民謡）

神楽パフォーマンス

島根県を発祥とする「どじょう掬い」は、現在全国大会が開催される程、日本人が一度は見たことのあるパフォーマンスです。飛び出すように現れた踊り手は、様々な滑稽な仕草・表情を交えながら独特な踊りを演じます。

【使用楽器】津軽三味線／篠笛／唄／和太鼓

十三、体験 みんなでソーラン！

みんなで踊って唄って、体育館を漁場に変えよう！

津軽三味線、太鼓などの演奏を、生徒さん方も交えて一緒に演奏！
その曲は誰もが一度は聴いたことがある「ソーラン節」。演奏者は選抜された三味線・太鼓の代表の児童・生徒さん。その伴奏に合わせて、あべや民謡歌手が唄います。さらに当方でご用意した各校オリジナルの“大漁旗”を代表者が舞台の真ん中で振り続けます。他の児童・生徒さんは、唄ったり手拍子をしたり、全員で創り上げる北の漁場「みんなでソーラン！」です。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／笛／唄

十四、江戸寿獅子舞

舞踊パフォーマンス

日本全国にはその地域に根ざした獅子舞があります。その中で江戸寿獅子は、その舞を見るだけで御利益があるとされています。後半では、獅子が客席を降りて、みなさんの頭・体をかじります。最後に舞い手が獅子舞の簡単な説明をします。獅子頭には雄と雌のちがいがあるのを知っていましたか？

【使用楽器】太鼓／鉦／篠笛

十五、校歌合奏

三味線・尺八

児童・生徒さんが必ず知る各校の校歌を、あべやメンバーが邦楽風にアレンジして合奏します。普段はピアノで聴きなれた旋律が、三味線、尺八から奏でられます。会場全員で歌ってください。

【使用楽器】津軽三味線／尺八／鉦 など

十六、津軽じょんがら節

津軽三味線・太鼓・民謡・尺八

邦楽ユミットクライマックス!

津軽三味線の代表曲「じょんがら節」を演奏します。激しい撥さばき、太鼓の重低音、華やかな民謡を織り交ぜた大曲です。邦楽公演の締めくくりとして、ふさわしい曲を奏者全員で心をこめて皆様にお届け致します。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／唄／尺八

十七、銭太鼓

舞踊パフォーマンス

聴いて楽しい!観て楽しい!

昔から民衆の楽しみと労働の柔和で唄われてきた民謡は、人前で見せるというエンターテイメント性を追求するものにも発展していきました。その一つがアクロバティックに筒状の太鼓を回す「銭太鼓」です。賑やかな曲に合わせて、二本の銭太鼓を素早く操ります。最後は、児童・生徒さん、先生・近隣の方々の、これからの幸せを祈って、おめでたく華やかにエンディングを飾ります。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／銭太鼓／唄

※休憩を途中で入れる事も可能です。※実施校さんの実情に合わせて、曲順・曲目を変更する可能性があります。

体験・展示ブース

開演前から、
終演後の余韻まで・プロの演奏を
聴いた興奮後もご自由にどうぞ!

三線・細棹三味線・津軽三味線を展示します。またワークショップで体験した銭太鼓やささらなどをご準備しますので、生徒さんだけでなく近隣の方もご覧いただき、自由に触って、音を出してもらいます。

地域の方と共に地元の民謡や物産等を展示することで地元の風土を理解。

本公演で使用している
楽器などの展示。
自由に触れて体験できます。

三味線のルーツを学べるコーナーです。ワークショップのおさらいに!

【楽器＋"地元ブース"を設置】

地元や県に伝わる民謡の歌詞やその背景などを展示します。また各校と相談の上、子供たちに伝え残したい物を展示。
【漁網でも農機具でも、何でもいいです】

演目選択理由	【思わず体が動く日本の音】 電気的な音質や派手なビジュアルの映像が溢れる現在において、児童・生徒さんは受動的に聴く観ることに偏りがちです。体を突き抜けるような三味線の心地よい高音。会場を振動させる和太鼓の重低音。心に響く民謡の唄声。テレビやネットからでなく、自分たちの体育館を会場にした熱いライブでお楽しみいただきます。それらは必ず渦になって、児童・生徒さん達の五感に届きます。 【民謡は日本の風土に息づいている】 どの地域、場所にいっても、そこで皆が口ずさむ民謡が必ず存在し、秋祭りや盆踊りなど昔からの行事の中に日本の音が溶け込んでいます。お祭りの時の心躍る太鼓の音、盆踊りのやぐらでかっこよく民謡を唄うお父さんの姿、その周りを皆で踊る高揚感・・・普通の日本人の生活風景の中に、民謡は存在するのです。さまざまな体験を通して、自分たちの地域の貴重な財産を呼び覚ましてほしいと願います。 【洋楽だけでなく日本の音も】 音楽指導者が洋楽出身の方が多く、日本の楽器の演奏を十分に習うことができない現実があります。ワークショップでは生徒さんが自分の手で三味線、太鼓、諸楽器に触れて、その音色を体感し、本公演では迫力あるプロの演奏をメリハリのある番組編成でお楽しみいただく構成をしています。日本の音の魅力を凝縮した内容です。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	**【体験・参加の仕方】** **【ワークショップ】弾こう！吹こう！唄おう！踊ろう！** **○実際に音を出してみる！** 津軽三味線・尺八・ささら・あたり鉦・銭太鼓・笠・衣装などをご用意 なるべく児童・生徒の皆さん全員に各楽器などに触れてもらい、それぞれの音色、感触を体感してもらいます。 **○クイズから楽しく知る民謡** あべやメンバーによるプロジェクター投影とコミカルなトークのクイズ 北前船が佐渡、津軽の各港を辿りながら、全国に唄を伝えた変遷など、映像・トークを駆使して、立体的に理解してもらいます。 **○児童・生徒さんのリクエストを即興演奏** 児童・生徒さんから自由に希望曲を募る ポップスから演歌まで、なんでも演奏？！します。

【本公演】参加プログラムが随所に！ あべやと創る邦楽ライブ

○サプライズ演出！「白狐行列」に代表の児童・生徒さんが出演！

あらかじめ選抜された3名の児童・生徒さんが、邦楽ライブの
オープニング「白狐行列」の出演者として、客席中央を歩きます。

○太鼓を叩く

プロの太鼓奏者が使う太鼓を何名かの児童・生徒さんに実際に叩いてもらいます。練習無しでの演奏が即興的な楽しさを引き立てます。

○地元民謡を聴く・唄う！

各校さんに演奏希望の曲を伺い(リクエストがない場合でも、その地域の民謡を当方で選抜してご披露します)、その民謡を、あべやが唄い、津軽三味線・尺八・太鼓で演奏をつけます。得意な人は生徒さんでも先生でも、また近隣の人も舞台で唄いましょう。

≪本公演にて。こんなことがありました≫ ～地元に密着した民謡～

平成27年度　大分県宇佐市立糸口小学校 「糸口音頭」

体育館が盆踊りの会場に！？

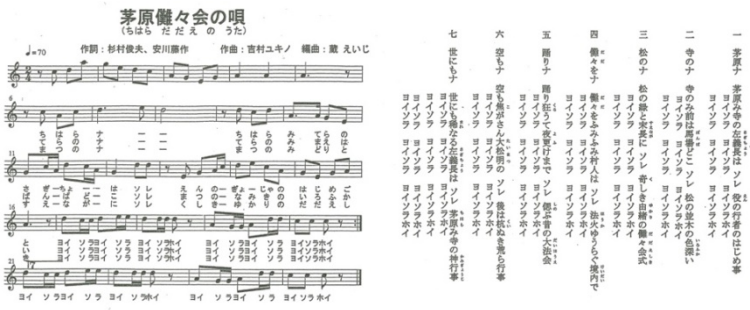
▲一人が踊り出すと次々に皆、踊り出し、会場が盆踊り会場に。

舞台上はあべやの演奏で唄う保存会の会長さん。客席後方にいた地元の方が踊りながら、児童達の横をすぎます。その方に導かれ、一人の男の子が一緒に踊り始めます。音と踊りつられて、他の児童さん、また先生方が続々と立ち上がり、気が付くと体育館が盆踊りの会場になりました。

※学校さんより、本公演前日に演奏希望をいただきました。当日、メンバー全員でポータブルプレーヤーを囲んで大急ぎでアレンジして、演奏を成功させました。

平成29年度　奈良県御所市立掖上小学校 「茅原儺々会の唄」

唄と共に響き渡る合いの手



学校さんは演奏を心待ちにしてくれて本公演当日の午前授業まで各組で練習していました。あべやの演奏と唄に合わせて、児童さん、先生方、そして保存会の方たちが全員で唄い、“ヨイソラ ヨイソラ ヨシソラホイ”という各番の合いの手は、体育館全体に響き渡りました。

※地元の伝統行事の様子を唄った曲で、昭和５年当時の同校校長先生が作詞、音楽の先生が作曲したという、大変学校に縁のある曲との事です。

平成29年度　三重県松阪市立豊田小学校 「燃えて嬉野」

この学校だけで生まれたリズムと踊り

～地元の民謡は何ですか？～

豊田小 学校 宮村 先生／本公演開催日：9月20日(水)

燃えて嬉野

ご協力ありがとうございます。

下記FAXに公演2週間前までにご返送をお願い致します。

FAX：046-297-0256

本公演前には、必ず各校さんに演奏をしてもらいたい地元曲の希望を確認します。豊田小学校のご希望は、松阪市主催で開催される「嬉野おどろまいかコンテスト（既に21回開催）」のテーマ曲の“燃えて嬉野”でした。ポップ調のとても楽しいリズムで、あべやの演奏に合わせて、児童さん、先生方が元気に唄い踊りました。

○民謡に参加

一度は聴いたことのある曲に合わせて、手拍子と唄囃子（合いの手）で参加し、会場全体で民謡を楽しみます。

○日本人だれもが知る「ソーラン節」を、全員参加で完成！

三味線・太鼓を、代表者が演奏。さらに雰囲気を出すために、サプライズで用意した各学校オリジナル大漁旗が、舞台で大きく振られます。他の児童・生徒さんは、元気な合いの手と唄で盛り上げる、全員参加のソーラン節。

○校歌を和楽器で演奏

全員が知る各校校歌を、三味線、尺八などで演奏します。ピアノと違った和楽器が奏でる演奏をバックに、大きな声で歌ってもらいます。

出　演　者	◆阿部金三郎／平成17年津軽三味線全国大会優勝 ◆阿部銀三郎／平成22年津軽三味線全国大会優勝 【兄弟揃っての優勝者は未だ阿部兄弟以外例がない】 ◆佐藤理加／平成22年 しげさ節東京大会 優勝 ◆安藤龍正／部門別で競われる安来節全国大会で全部門優勝

	◆佐藤公基／平成12年少年少女民謡大会において優勝 ◆若獅子太鼓・三宅治／第 15 回伝統音楽公演　日本の太鼓、伝統と創造において 大太鼓一人打ち競技大会優秀賞受賞　他 ※阿部金三郎、阿部銀三郎以外の出演者は、日程により変更の可能性がございます。

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　7名 ス タ ッ フ:　4名 合　　計:　11名	機 材 等 運搬方法	積載量　　1t 車 長　　5．3m 台 数　　2台

【公演団体名　津軽三味線　あべや】

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会　場　条　件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td colspan="2">前日仕込み(有 ・(無)) 会場設営の所要時間 (3時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>出演者到着</th><th>サウンド
チェック</th><th>ソーラン節の
練習等</th></tr>
<tr><td>8 時 45 分</td><td>9 時 00 分～
11 時 30 分</td><td>11 時 00 分</td><td>11 時 30 分～
12 時 00 分</td><td>12 時 40 分～
13 時 00 分</td></tr>
<tr><th>入場</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th></th></tr>
<tr><td>13 時 10 分～
13 時 30 分</td><td>13 時 30 分～
15 時 10 分</td><td>10 分</td><td>15 時30 分～
17 時 00 分</td><td></td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。
○本公演開始時間は、早める(13時00分など)ことが可能です。
○午前公演をご希望の際は、前日仕込みが必要になります。
○体育館フロアの階数や形状により、到着・仕込み時間の繰り上げ、また退出時間の繰り下げが発生する可能性があります。
○ソーラン節等の練習は、演奏及び白狐行列に参加する児童・生徒さんのみです。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児　童　・生　徒の
参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>700名まで
体育館の大きさによって、人数増が可能になる可能性がありますので、ご相談ください。
参加型により、基本的に客席椅子は使用しません。</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>700名まで
体育館の大きさによって、人数増が可能になる可能性がありますので、ご相談ください。</td></tr>
</table>

ワークショップ 実　施　形　態 及　び　内　容	

ワークショップ・プログラム

公演時間：90分

吹こう！　弾こう！　唄おう！　踊ろう！

プロジェクターと楽しいお話で進行します！！

オリジナルで作成した映像やプログラムを使用しながら、
あべやのお兄さんたちのトークで楽しく進行します。

とにかくさわって体験！

みんなで、はぁ～どっこい！

一、津軽三味線の音色を楽しむ　まずは一曲、ご挨拶！

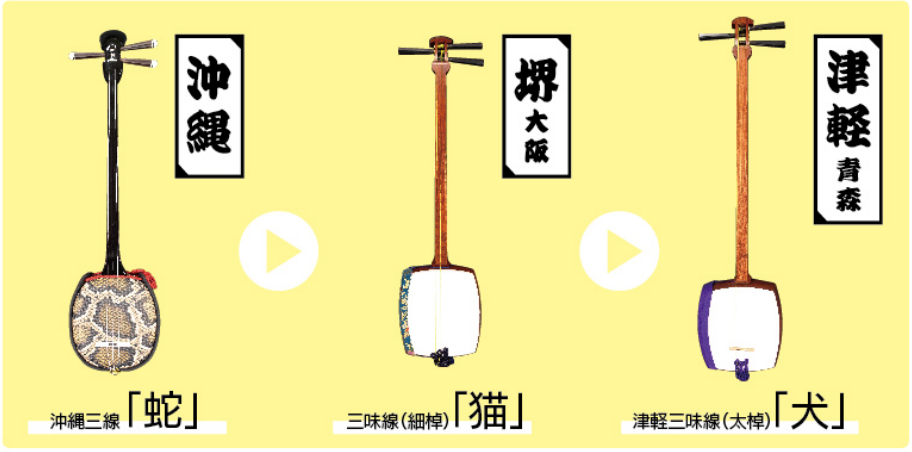
○津軽三味線の演奏

曲目は、地域や生徒さんの状況により当日即興演奏します。

二、津軽三味線ってなあに？　プロジェクター上映

○津軽三味線を知ろう！（解説）

何の動物の皮や角でできているの？津軽三味線とはどこからうまれたもの？
津軽三味線のルーツとは？などなど他の三味線との違いをわかりやすく解説。
（プロジェクターを用いて、実物とあわせてわかりやすく解説）



○三味線の弾き比べ！聞き比べ！（三線（さんしん）・細棹三味線・津軽三味線）

津軽三味線の特徴を理解した後は、三線と細棹三味線と津軽三味線の音色や弾き方をご説明します。実際にその形を見て、またその音色を聴いて、立体的にその違いを理解。

三、リクエスト演奏コーナー

その場で児童・生徒さんから、聴きたい曲のリクエストを受けます。
ポップス、ボーカロイドから演歌まで何でもOK!それを津軽三味線と尺八の和楽器で、
即興で演奏します。

四、民謡ってなあに？ プロジェクター上映

○民謡を知ろう!（解説）

日本全国津々浦々、変わらず唄い続けられている民謡のご紹介。
プロジェクターに日本地図を投影して、各地域の民謡またその地方の方言や風習などを紹介します。

○民謡は旅をする?!（牛深ハイヤ節→佐渡おけさ→津軽アイヤ節→阿波踊り）

九州（天草）の漁師達の掛け声にリズムが加わったといわれる「民謡ハイヤ節」。
日本海、津軽海峡、太平洋を渡る「北前船」を介して、それぞれの生活の中に定着し、その地域ごとの変化を遂げた民謡となっています。牛深ハイヤ節、佐渡おけさ、津軽アイヤ節など実際に演奏して同じ曲である民謡がどの様に地域によってアレンジされたのか、プロジェクターを用いながら明快に解説します。民謡が地域風土により変化することを深く知ることができます。

「北前船」

江戸時代から明治時代にかけて
活躍した主に買積み廻船の名称。

“牛深ハイヤ節”は本公演において、プロの演奏と、児童・生徒さんの手拍子、
合いの手を合わせて賑やかに演奏します。

○民謡クイズ!

プロジェクターを使いクイズ形式で民謡を楽しみます。

正解はメンバーが唄って答えます。

五、弾こう!吹こう!触ろう!踊ろう!

○体験コーナー

色々な和楽器やお祭りの道具を自由に触れる体験コーナーです。

触ろう!

弾こう! 吹こう! 触ろう! 踊ろう!

> 津軽三味線を弾く!尺八を吹く!見たこともない銭太鼓を鳴らす!
> 笠をかぶれば気分は踊り手!
> 出来る限り全ての児童・生徒さんが各楽器に触れることができるよう効率的に、
> 班を分けて、それらの音や感触を実感してもらいます。

ワーク
ショップ

体験コーナー

大人数の場合は、下記のような自由に触れるスペースを
もうけて生徒さんや来て頂いた方全員に、自由に体験していただけます！

太鼓

三味線

ワークショップの様子

演奏

三味線聞き比べ

民謡が旅をする

三味線の説明

ワークショップ 実施形態の意図	**レクチャー学習の枠を超えて、音と踊りで体験・体感。** 実際に楽器に触れることを主体とした体験重視の構成です。“和楽器の音を出すのは、こんなに難しい！でも楽しい！！”という印象が残るよう、解説・ご指導をします。 ○本事業向けに調達した津軽三味線・尺八・銭太鼓・ささら・当たり鉦などを各校に持参。それぞれに触れることで、より和楽器を身近に感じ、親しみをもってもらう。 ○アニメーション・写真のデータをふんだんに取り入れたプロジェクター映像を交え、民謡が全国に伝わる様子をわかりやすく解説。 ○三線・細棹三味線・津軽三味線の三種類を見て、またその音色を聴いて、その形状・特徴の違いを実物で理解する。 ○クイズ形式で民謡の歌詞に込められた意味や背景を楽しく学ぶ。 ○津軽三味線の演奏を間近で聴いてもらい、本公演ライブへの期待を高めます。
特別支援学校での実施における工夫点	基本的には他の学校と変わらない公演を楽しんで頂くことを念頭におき、ワークショップ・本公演を実施しました。 平成 27 年度　宮崎県立せいりゅう支援学校 事前に学校の先生と連絡を密に取り合うことはもちろん、通常は行わない生徒さんの参加演目（白狐行列など）のリハーサルを行いました。車椅子などに寝たきりの生徒さんが多くいらしたので、体験で生徒さんが前に出る際の動線を事前に確認しました。また楽器体験の際も、撥で怪我をしないよう、弊社スタッフのみでなく担当の先生の補助を頂きながら、三味線や太鼓の音色を味わって頂きました。 平成 29 年度　滋賀県立鳥居本養護学校 小学部から高学部まで年齢層が幅広い参加でした。特に小学部の児童さんが大きな音に驚く可能性があることを、ワークショップ時、担当の先生に確認をしていました。本公演では、通常より早めに舞台設営を開始し、あべやメンバーもいつもより早めに会場入り。担当の先生他、小学部の先生方にも体育館でのサウンドチェックに立ち会ってもらい、トラブルが生じないレベル調整を、音響エンジニアと舞台監督で綿密に行いました。結果、演出効果を損なうことなく、公演後は、児童・生徒さんまた先生方も、存分に楽しめたという評価を頂戴しました。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

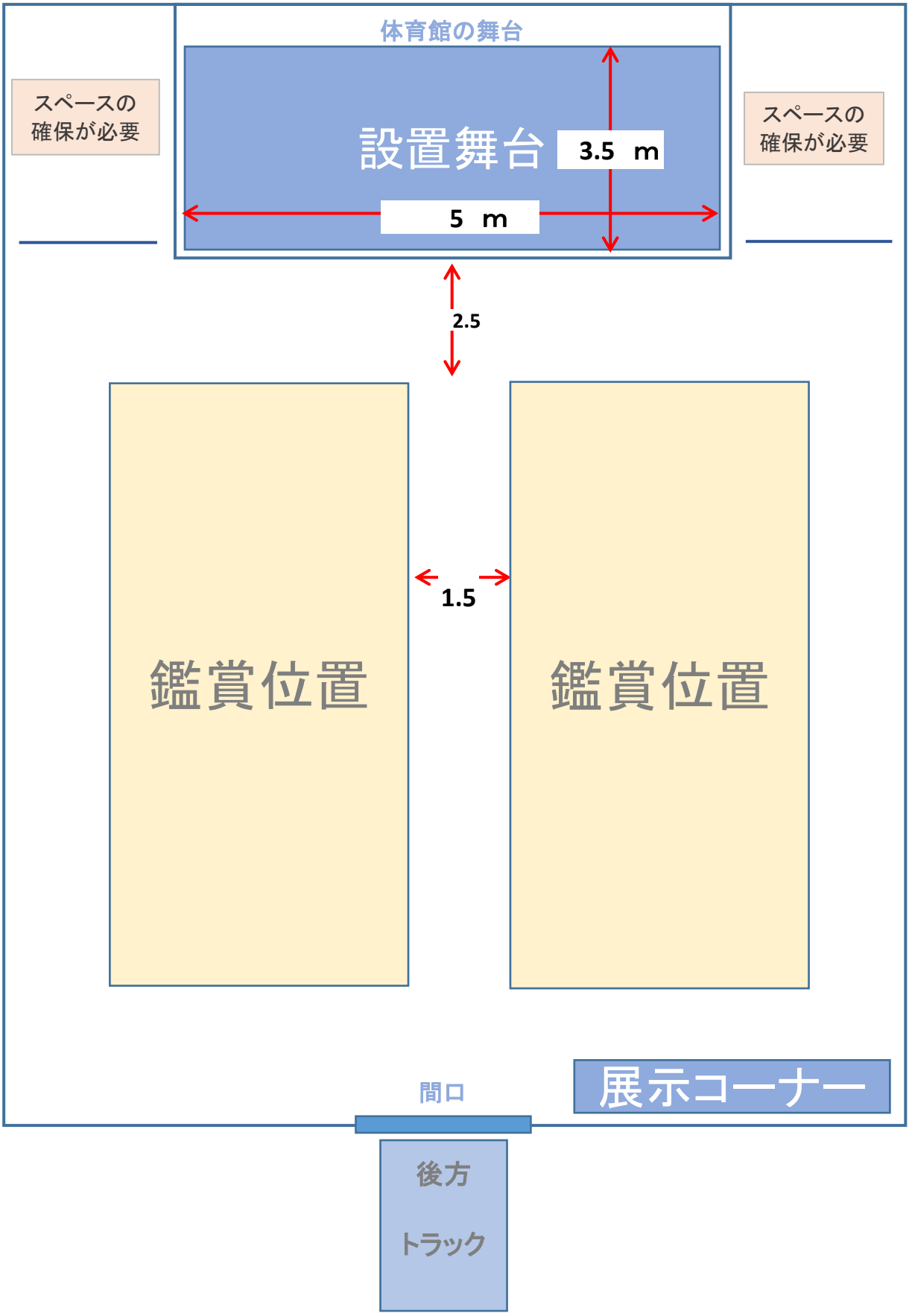
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C32	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	津軽三味線　あべや				制作団体名	株式会社　三六屋			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	舞台袖の使用も可能です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　2台	乗用車　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン×２台				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			体育館3階以上不可				
		理由			音響機材、太鼓搬入物が重量なため				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2	高さ	2			
WSについて	可	参加可能人数		700人					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分		90分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		700人					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	5	奥行	3.5	高さ	3	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	目安として2m四方・上手下手片側のみでも可能です。					
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明演出有り			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		50A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
		上演は主に舞台ステージを使用します。							
		フロアは、児童・生徒さん参加のコーナ及び展示コーナーで使用しますが広いエリアではありません。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		可能な限り		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，(邦舞)，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(Ａ区分のみ)　・　Ａ区分とＢ区分の両方　・　Ｃ区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能

(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ぼっくすよろづや 株式会社 BOX4628		
代表者職・氏名	代表取締役　滝沢直也		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-1-12-702 （最寄り駅、東京メトロ有楽町線「要町駅」）		
電話番号	03-6907-0569	ＦＡＸ番号	03-6734-0567
ふりがな 公演団体名	おきなわでんとうくみおどり しーのかい 沖縄伝統組踊「子の会」		
代表者職・氏名	子の会代表　喜納利一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒901-2226 沖縄県宜野湾市嘉数 2-11-11-202		
制作団体設立年月	2015 年　　4 月		

制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役:滝沢直也 取締役:榎本かおり 取締役:岡本雅人 役員:眞貝祐子 役員:青梅伸之介 社員:佐藤麗奈 相談役:織田紘二(独立行政法人日本文化振興会　顧問) 社会保険労務士:岡安邦彦 行政書士:廣木雅之 税理士:野上浩二郎 加入条件:団体規程	●沖縄伝統組踊「子の会」 会長:喜納利一 副会長:大城貴幸、上原崇弘 事務局長:玉城匠 会計:仲尾勝成 監査:宮里和希、佐喜眞一輝 運営委員:仲嶺良盛、山城峻称 会員:佐辺良和、川満香多、金城真次(立方) 新垣俊道、仲村逸夫、玉城和樹、入嵩西論(地謡) ほか ●琉球舞踊「重踊流」 初代宗家:志田房子 (国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者総合認定) 二世宗家:志田真木 教師:井口三恵子、素鍋美智子 師範:波照間永子、姫野多美、前田恵 ほか 加入条件:団体規程	
事務体制の担当	(専任)・　他の業務と兼任	本事業担当者名	榎本かおり
経理処理等の監査担当の有無	(有)・　無	経理責任者名	税理士:野上浩二郎
制作団体沿革	2006 年より任意団体として長唄、日本舞踊(花柳流)、琉球舞踊(重踊流)、人形浄瑠璃(八王子車人形)、狂言、落語、和楽器など伝統芸能を中心に企画公演、学校公演、イベント、実演家のリサイタルの舞台制作業務に携わる。 2009 年「琉球舞踊　安冨祖流地謡　西江喜春・玉城正治二人会」舞台監督を務める 2012 年東京発伝統は感動実行委員会主催「三弦　海を越えて」舞台監督を務める 2013 年アーツカウンシル東京主催「神楽坂まち舞台」の運営管理を担当 2014 年東アジア文化都市横浜オープニング式典&イベントに邦楽器グループを派遣 2014 年東アジア文化都市横浜共催事業「新七夕伝説、星ノ舟」の制作を担当 2014 年日本財団主催による「にっぽん文楽」のアシスタントプロデューサーを務める 2014 年スーパーパントマイムシアターSOUKI 主催「滝夜叉姫」の狂言方、附け打を務める。 2014 年琉球舞踊、重踊流「志田房子・真木　二人会」舞台監督を務める 2015 年 4 月より株式会社 BOX4628 として法人設立 2015 年「第 6 回　祈りは届く」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる 2015 年 DANCE DANCE DANCE at YOKOHAMA 共済プログラム 日本舞踊スペシャル公演「2015 横浜　J-dance　～未来へつなぐ日本のをどり～」の制作を担当 2015 年琉球舞踊、重踊流「真木の会」舞台監督を務める 2015 年日本財団主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める。 2016 年「第 7 回　祈りは届く」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる 2016 年日本財団主催による「にっぽん文楽」浅草公演にてアシスタントプロデューサーを務める。		

	2016 年「YOKOHAMA OTOMATSURI」共催プログラム 「は・や・と スパニッシュコンサート」制作を担当 2016 年「現代泥棒事情」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる 2017 年日本財団主催による「にっぽん文楽」伊勢公演にてアシスタントプロデューサーを務める。 2017 年スーパーパントマイムシアターSOUKI 主催「三国妖狐譚」の狂言方、附け打を務める。 2017 年「平成 29 年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 C ブロック公演実施 2017 年銀座花鏡主催、開幕公演「夏のにぎわい」特別公演「にっぽんの舞踊」 制作を担当、観世能楽堂にて記念公演「志の輔らくご」を主催 2017 年日本太鼓財団主催、「浅草太鼓祭」運営、制作にかかわる。 2018 年日本財団主催による「にっぽん文楽」熊本公演にてアシスタントプロデューサーを務める。 2018 年「平成 30 年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 A ブロック公演実施 2018 年「歌舞伎化粧ワークショップ」を開催 2019 年「第 8 回 祈りは届く」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる 2019 年日本財団主催による「にっぽん文楽」明治神宮公演にてアシスタントプロデューサーを務める。 2019 年「こだまーれ飛騨高山芸術祭オープニング公演」舞台制作に関わる 2019 年「北区・地域きずなプロジェクト」舞台制作に関わる 2019 年「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 F ブロック公演実施 2019 年「歌舞伎化粧ワークショップ」を開催
学校等における公演実績	**2009 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3 校、パーフェクトパントマイム」1 校** **2010 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **2011 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」6 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **2012 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」5 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」4 校、「落語教室」 5 校** **2013 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」6 校、「落語教室」6 校** **2014 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」4 校 「落語教室」10 校** **2015 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」5 校 「落語教室」10 校** **2016 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」3 校** **2017 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10 校、「パーフェクトパントマイム」1 校** **「狂言教室」2 校** **2018 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」 15 校**

<table>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">2016 年 「組踊鑑賞会」 1 校</td></tr>
<tr><td rowspan="5">参考資料の有無</td><td rowspan="3">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有） ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有） ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>第 1 部
https://youtu.be/4sLeRvE8kVk

第 2 部
https://youtu.be/7ny1Yt3NQYY</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名 ： 沖縄伝統組踊「子の会」 】**

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年)　・　中 学 生
企画名	おきなわ伝統芸能 「琉球舞踊」と「組踊」
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	**本公演演目： おきなわ伝統芸能 「琉球舞踊」と「組踊」** **【プログラム】** 第一部 **① 琉球舞踊　上演作品『四つ竹』（舞踊の種類：女踊り）** ・振付・監修：志田房子　国指定重要無形文化財 「琉球舞踊」保持者（総合認定） ② 琉球舞踊 『四つ竹』の作品紹介とおはなし ③『沖縄ことばクイズ』『楽器紹介』『沖縄音楽ミニコンサート』 ④『安里屋ユンタ』 児童・生徒、エイサー演舞発表コーナー 打って！唄って！踊ろう！ 第二部 ⑤ 組踊 上演作品のあらすじとおはなし **⑥ 組踊　上演作品『万歳敵討』仇討物　（ユネスコ無形文化遺産）** ・作者：田里朝直 ・初演：1756 年　尚穆王冊封の宴で上演 ・監修：宮城能鳳　国指定重要無形文化財 「組踊」保持者（総合認定） 公演時間（90 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	無	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	【第一部】 ①　琉球舞踊上演作品　「四つ竹」　（舞踊の種類：女踊り） ★歌詞 ♪打ち鳴らし　鳴らし 四つ竹は鳴らし 今日や御座出でて 遊ぶ嬉しや （琉球舞踊「四つ竹」上演シーン） ★見どころ 沖縄の風、空気を最初に感じていただく四つ竹。 竹で作られたカスタネットのような鳴り物、「四つ竹」を両手に持ち、 それを「踊りこはでさ節」に乗せてカチカチと打ち鳴らしながら踊ります。 衣装は沖縄を代表する伝統的な染色技法で染められた、艶やかな紅型衣装を 身にまとい、花笠を被り「四つ竹を打ち鳴らし鳴らして、今日はこのようなおめでたいお座敷で踊り遊ぶことの嬉しさよ」と優雅に華やかに踊ります。 琉球古典音楽「踊りこはでさ節」に乗せて、舞台下手（正面左側）から登場し、舞台中央で踊り、最後は再び下手（正面左側）に入って音楽が終わるという舞台上での動き方は、伝統芸能の能楽（能・狂言）と同じ動きで、こういった能楽などの要素も取り入れて構成されています。 （紅型衣裳） （四つ竹） （花笠）

★ポイント

ゆっくりとした地方の演奏で、下手から登場する立方の雰囲気、動き(所作)の美しさ優雅さに驚くことでしょう。

また、初めて観る、聞く沖縄の舞踊や音楽は、最初はなかなか目にも耳に入りにくいものです。そこでプロジェクターとスクリーンを利用して、タイトル、歌詞、現代語訳を映してより分かりやすく上演します。

★振付・監修：志田房子

国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者（総合認定）

1987年度　文化庁芸術祭　芸術祭賞受賞

1991年度　文化庁芸術選奨　文部大臣賞受賞

2004年度　沖縄県文化功労賞受賞

2019年　平成30年度文化庁長官表彰

琉球舞踊　重踊流　初代宗家

②　琉球舞踊『四つ竹』の作品紹介とおはなし

案内役(司会)が舞台上に登場します、そして沖縄の方言で自己紹介をします。続いて沖縄の方言でのあいさつを、男の子は「ハイサイ」、女の子は「ハイタイ」と声を出して児童・生徒のみなさんと一緒に、あいさつを致します。

次に今事業「文化芸術による子供育成総合事業」の趣旨をお話しします。

そしてスクリーンに日本地図を写して、沖縄県の位置と、現在公演が行われている地域との距離や位置関係などを確認してもらい、現在の沖縄県の様子や、芸能の歴史などについてお話しします。　**（案内人）**

そして最初に鑑賞していただいた琉球舞踊「四つ竹」の作品について、お話します。

③　『沖縄ことばクイズ』『楽器紹介』
『沖縄音楽ミニコンサート』

『沖縄ことばクイズ』では、普段なじみのない沖縄の方言をスクリーンに文字を映して、案内役がクイズ形式で行います。

児童・生徒のみなさんから地域の方言なども聞き、お互いに相手の文化を理解することを通して、コミュニケーションを図りながら、言葉の大切さをお話しします。

（スクリーンの文字）

『楽器紹介』では、演奏家の皆さんに各楽器を紹介してもらいます。

沖縄の方言では、演奏家の皆さんを「地謡（じうてー）」と呼ぶことを紹介し、
その地謡のみなさんが、今公演で使われている、各楽器の構造や音色を一つ一つ紹介します。
また沖縄の方言での楽器の呼び方も紹介します。
各楽器、以下の写真をスクリーンに投影することで、遠くからでも見てもらえるようします。

（三線）

（箏）

（笛）

（胡弓）

（太鼓）

『沖縄音楽ミニコンサート』では、

沖縄の芸能には欠かすことのできない音楽を、演奏する方々を 地謡（じうてー） と言います。

その地謡の演奏により、「琉球古典音楽（りゅうきゅうこてんおんがく）」「沖縄の民謡（みんよう）」「現代音楽」と大きく 3 つに分けて、各ジャンルから 1 曲ずつ演奏します。

（地謡演奏の様子）

★見どころ

沖縄音楽の演奏に使われる主な楽器は①三線、②笛、③胡弓、④箏、⑤太鼓です。

各楽器をスクリーンに映して、素材や構造、使い方を紹介し、一つ一つの音色をじっくり聞いてもらいます。

沖縄音楽の大きな特徴は、三線の演奏者が唄も担当することです。他の伝統芸能、能楽（能・狂言）では地謡、歌舞伎では長唄は唄方、常磐津、清元、義太夫は浄瑠璃方と分かれていて楽器の演奏をしながら唄ったり語ったりすることはありません。

★ポイント

沖縄ことばあそびでは、沖縄の方言で身近な言葉をスクリーンに映して、クイズ形式で沖縄の方言に親しんでもらいます。

つづいてミニコンサートでは琉球古典音楽、沖縄民謡、現代曲と演奏し、それぞれの音楽を聞き比べてもらいます。

④ 『安里屋ユンタ』児童・生徒、エイサー演舞発表コーナー

打って！唄って！踊ろう！

ワークショップで代表児童・生徒の皆さんが「安里屋ユンタ」の曲に合わせて行ったエイサーの成果を、地謡の生演奏に合わせて発表します。
代表児童・生徒以外のみなさんは手拍子やお囃子など一緒に盛り上げます。

代表児童・生徒のみなさんは舞台袖で、**衣装**を着け、**パーランクー**を持ち、準備が整ったら地謡の演奏に合わせて入場します。
いよいよ演舞発表です。
地謡の演奏に合わせてパーランクー（片方に皮のはった太鼓）を使って、本格的なエイサーファッションの打掛、帯を締めて前に出て演舞を行い、会場が一体となる雰囲気を作り出します。

スクリーンには『安里屋ユンタ』の歌詞を映します。

（パーランク―）

（衣装となる 打掛(うちかけ) と 帯(おび)）

（演舞の風景）

★歌詞

♪サー　君は 野中(のなか) の 茨(いばら) の花か　　サーユイユイ　（お囃子）

暮(く)れて帰れば　ヤレホンニ　引き止める

マタハーリヌ　チンダラ　カヌシャマヨ　（お囃子）

♪サー　沖縄良いとこ　一度はめんそーれー　サーユイユイ（お囃子）

春夏秋冬(はるなつあきふゆ)　緑(みどり) の 島(しま) よ

マタハーリヌ　チンダラ　カヌシャマヨ　（お囃子）

★見どころとポイント

ワークショップで代表の児童・生徒で練習したエイサー、演舞とお囃子を、地謡の生演奏と合わせるところとなります。

★安里屋(あさとや) ユンタについて

沖縄民謡で歌詞の意味は 琉球王国時代(りゅうきゅうおうこくじだい) の 竹富島(たけとみじま) に実在した 絶世(ぜっせい) の美女と、安里屋(あさとや) クヤマと 王府(おうふ) より 八重山(やえやま) に 派遣(はけん) されクヤマに 一目惚(ひとめぼ) れした 目差主(みざしゅ)（下級役人(かきゅうやくにん)）のやり取りを 面白(おもしろ) おかしく 描(えが) いている作品です。

★エイサーについて

1603 年から 1606 年にかけて当時の 琉球王(りゅうきゅうおう) の 向寧王(しょうねいおう) の 知遇(ちぐう) を 得(え) た 浄土宗(じょうどしゅう) の「袋中上人(たいちゅうじょうにん)」が 仏典(ぶってん) を 踊(おど) りながら 唱(とな) える〝念仏踊(ねんぶつおど) り〟を伝え、沖縄独自の

仏典踊(ぶってんおど)りの形態であるエイサーへと発展したと言われています。また、500年以上前
の「李朝実録(りちょうじつろく)」(1479年)のなかに当時の那覇(なは)の記録として残っており、そのころが始まりだという説もあります。

【第二部】

⑤　組踊(くみおどり) 上演作品のあらすじとおはなし

組踊の鑑賞のポイント、上演作品「万歳敵討」のあらすじ、見どころをお話します。

⑥　組踊(くみおどり) 上演作品「万歳敵討(まんざいてきうち)」(仇討物(あだうちもの))

★あらすじ

むかし、首里(しゅり)に高平良御鎖(たかでーらうざし)という鎖之側(さしぬすば)の位(くらい)にのぼった、とても傲慢(ごうまん)な人
いました。
高平良御鎖(たかでーらうざし)は大謝名(おおじゃな)の比屋(ひや)という人が飼っていた、とてもよく走る立派な名馬(めいば)を欲しがっていました。

高平良御鎖(たかでーらうざし)はその思いを大謝名(うふじゃな)の比屋(ひや)に相談して譲ってくれるようにと頼みましたが、断られたことを恨(うら)み、大謝名(うふじゃな)の比屋(ひや)を殺してしまいます。

殺された大謝名(うふじゃな)の比屋(ひや)には、男の2人兄弟がいました。

長男の名は謝名(じゃな)の子(し)、次男の名は慶雲(ちーうん)と言いました。

父を殺された二人の兄弟は、旅芸人(たびげいにん)に姿を変えて、仇討(かたきう)ちの機会を狙いました。
さて最後はどのようになるのでしょう。

	 組踊「万歳敵討」上演シーン **★見どころ** 作品の終盤、敵意を剥き出しにして踊る謝名兄弟の息の合った舞踊、所作それを必死にかわそうとする高平良御鎖、いよいよ謝名兄弟が刀を抜き高平良御鎖に襲い掛かる緊迫したシーンです。 **★ポイント** 字幕的役割として、プロジェクターとスクリーンを利用して全てのセリフを映して物語を分かりやすく上演します。 組踊の『万歳敵討』は、沖縄に伝わる芸能の要素が全て入っている作品です。 要素とは[1]琉球古典語　[2]琉球古典音楽　[3]琉球古典舞踊　です。 ★監修：宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊」保持者（総合認定） 2009 年　重要無形文化財「琉球舞踊」保持者（総合認定） 2019 年　日本芸術院賞受賞
演目選択理由	上演演目は、沖縄の伝統芸能(琉球芸能)の中から、 琉球舞踊『四つ竹』と組踊の『万歳敵討』です。 琉球舞踊は､18 世紀から 19 世紀中期にかけて､琉球王国で大成した古典舞踊と、雑踊に大別されます。 古典舞踊の中心は「女踊」で、足の運び、構え、腰の使い方、視線の動きや顔の向け方、手や指の所作などに独自の技法があります。 中でも、今回の上演作品「四つ竹」は女踊の名作であります。 また国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者の重踊流宗家、志田房子師に

	監修を頂き、舞踊家として重踊流二世宗家の志田真木師の出演による芸術性の高い作品をお送り致します 組踊は 1429 年に琉球王国が成立した後､1719 年に琉球王府の踊り奉行であった玉城朝薫（たまぐすくちょうくん）が能楽、歌舞伎、上方の芸能を見聞きし、それらを参考にして琉球の歴史や故事や説話を取り入れて歌舞劇（かぶげき）「組踊」を創り出しました。 その歌舞劇「組踊」は唱え、音楽、踊りの 3 つの要素から構成されています。 公演のプログラムは舞踊→音楽→芝居の順でお送りし、観て、聞いて、感じてもらう流れによって児童、生徒たちの理解力を深め､『万歳敵討』の作品内容を想像できるよう、大変分かりやすくなっています。 また国指定重要無形文化財「組踊」保持者の宮城能鳳師に監修を頂き、 大変完成度の高い作品でお送り致します。 今公演の上演演目、琉球舞踊『四つ竹』と組踊の『万歳敵討』は児童、生徒、先生方が、なかなか鑑賞する機会の数少ない作品の 1 つです。 その理由は公演にあたり多くの費用が掛かることに加え、琉球舞踊、組踊は現在、東京都の国立劇場と沖縄県の国立劇場おきなわに行かなければ鑑賞する機会を得ることが、なかなか出来ないものだからです。 今公演を通して、日本の文化芸術に親しみ、理解を深めることが出来ると同時に、感性や豊かな心、創造性を育むことが出来ると考えております。 また、グローバル社会の現在、自国の文化を知ることが大切と考えます。 さらに、この機会に琉球舞踊や組踊を初めて観たり聴いたりすることで、 琉球芸能に興味関心を持つきっかけとなり、将来の芸術家の育成の一助になると考えました。 今回公演される沖縄伝統芸能「組踊」は平成 22 年 11 月、国際連合教育科学文化機関**ユネスコの無形文化遺産**に登録されています。 沖縄の古典芸能の 2 つの大きな柱である､「琉球舞踊」と「組踊」、 そして児童､生徒の参加､体験コーナーで行われる民族芸能の「エイサー」 この古典芸能と民族芸能を取り入れた公演内容は沖縄県外の多くの児童、 生徒､ご家族､学校関係者の方々に大変貴重な知識と経験をお伝えすることの出来る作品であることから本公演の演目に選択致しました。
児童･生徒の共演，参加又は体験の形態	**④『安里屋（あさどや） ユンタ』児童･生徒､エイサー演舞発表コーナー** **打って！唄って！踊ろう！** ワークショップで代表児童・生徒の皆さんが「安里屋ユンタ」の曲に 合わせて行ったエイサーの成果を、地謡の生演奏に合わせて発表します。 代表児童・生徒以外のみなさんは手拍子やお囃子など一緒に盛り上げます。 代表児童・生徒のみなさんは舞台袖で、**衣装**を着け、**パーランクー**を持ち、準備が整ったら地謡の演奏に合わせて入場します。 いよいよ演舞発表です。 地謡の演奏に合わせてパーランクー（片方に皮のはった太鼓）を使って、

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">本格的なエイサーファッションの 打掛（うちかけ）、帯（おび） を締めて前に出て 演舞（えんぶ） を行い、会場が一体となる雰囲気を作り出します。

演舞発表の様子</td></tr>
<tr><td>出　　演　　者</td><td colspan="3">組踊役者（9 名）：佐辺良和、川満香多、金城真次、玉城匠、田口博章
上原信次、上原崇弘、伊藝武士　ほか
舞踊家（3 名）：志田真木（琉球舞踊　重踊流二世宗家）ほか流派から 2 名
地謡名（6 名）：新垣俊道、中村逸夫、玉城和樹、入嵩西諭、池間北斗
喜納吏一、大城貴幸　仲尾勝成、大城健太郎　ほか
案内役（１名）：玉城匠、西村綾乃、上原信次　ほか</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　18名
ス タ ッ フ:　6名
合　　計:　25名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　　2t
車 長　　6m
台 数　　1台</td></tr>
</table>

【公演団体名 ： 沖縄伝統組踊「子の会」】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(時間程度)

到着	仕込み リハーサル	本公演	内 休憩	撤去	退出
9 時	9 時～ 12 時	13 時～15 時	10 分	15 時～16 時	16 時

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	600 名
	本公演	600 名

ワークショップ実施形態及び内容

『観て！聞いて！触って！動いて！体験しよう』をキーワードに行います。学校の授業の 2 時限の時間を利用いたします。

《1 時限目》

全児童・全生徒対象に本公演で上演される「琉球舞踊」と「組踊」についてのお話と実演と体験を行います。

また「エイサー」のお話と実演と体験を行ないます。

近年では運動会などで演じられることも増え、だいぶ身近になったエイサーの由来もきちんとお話します。

沖縄県の伝統芸能「琉球舞踊」「組踊」「エイサー」の 3 本の芸能をしっかりと体験し、知ってもらうことが目的です。

【琉球舞踊の実演】

特徴である手踊(ておど)りを体験してもらいます。

「拝(おが)み手」「こねり手」「返(かえ)し手」の 3 種類の手の使い方を続けて行います。

手踊りの風景

【組踊の実演】組踊の特徴的な座り方を男性と女性の座り方の両方を体験してもらいます。

男性の座り方

女性の座り方

【楽器紹介】三線の構造、呼び方、素材についてお話します。また演奏を聴いてもらいます。

【お囃子の練習】

三線の演奏による沖縄民謡『安里屋(あさとや) ユンタ』のお囃子(はやし) で声を出してもらいます。

※歌詞の下線の部分
★歌詞

♪サー　君は野中(のなか)の茨(いばら)の花か　　<u>サーユイユイ</u>　**（お囃子）**

暮(く)れて帰れば　ヤレホンニ　引き止める
<u>マタハーリヌ　チンダラ　カヌシャマヨ</u>　**（お囃子）**

♪サー　沖縄良いとこ　一度はめんそーれー　<u>サーユイユイ</u>　**（お囃子）**
春夏秋冬(はるなつあきふゆ)　緑(みどり)の島(しま)よ
<u>マタハーリヌ　チンダラ　カヌシャマヨ</u>　**（お囃子）**

お囃子練習の様子

	・【パーランクーを持ってエイサー体験】 　最初に指導者が三線の演奏と唄に合わせて、エイサーの振りを実演し、児童、生徒の皆さんに見てもらいます。 　次に皆さんにパーランクーを配って、三線の演奏と唄に合わせて、振りを一つ一つ丁寧に指導します。 　パーランクーを持ってのエイサー体験が全体に出来るように致します。そこで１時限目が終りとなります。 **《2 時限目》** 【代表者による本公演のための演舞発表の練習】 　本公演当日は 地謡（じうたい） の生演奏に合わせて演舞を行います。 　代表者全員にパーランクーを配り、改めて振付をもう一度確認しながら、自分たちで演舞が出来るように練習します。完成度が高まったら演舞の練習は終わりとなります。（本公演の際は代表者のみの演舞発表になります） 　演舞の練習が終わったら、次は挨拶の練習です。 発表の際には、「はじめの挨拶」と「終わりの感想」を、沖縄の方言で言っていただきます。はじめの挨拶の言葉を考え、それを沖縄の方言で言う練習をします。終わりの感想は、本公演までに考えておいていただきます。 これで２時限目が終りになります。 **エイサー演舞の練習** ★ワークショップの前に安里屋ユンタの CD と歌詞をお渡しいたします。 　ワークショップ当日までに校内放送などでご使用いただきます。
ワークショップ実施形態の意図	近年、民俗芸能のエイサーは沖縄県内にとどまらず、海外、日本本土でのサークル活動や小学校での運動会でも演舞がされており、沖縄の芸能への入口としてエイサーを取り入れることで、沖縄の伝統芸能の周知や理解に繋げることが出来るでしょう。 　実体験を通して沖縄の伝統芸能への関心、興味をより一層深めることを目的として、実演家が実際に講師を務めることで、その魅力をより身近に感じてもらえることでしょう。 また「安里屋ユンタ」の原曲は八重山竹富島に伝わる曲で、交互唱で歌われるところが特徴です。「安里屋ユンタ」を選曲することで、地謡と踊り手の交互唱ができ、それにより踊りやリズムだけではなく、歌や掛け声などの体験もできます。 　全体を通して、沖縄の芸能の要素を幅広く体験することができます。 また、民俗芸能でもあるエイサーを知ることで、日本本土の民俗性や各地域の伝統芸能との違いを知るきっかけとなるでしょう。

特別支援学校での実施における工夫点	ご担当の先生との連絡を密にとり、普段どのように行事などを行っているかなど詳しく教えて頂き、多くの児童・生徒さんが理参加出来るよう工夫致します。 共演、参加の形態も、ご無理の無いように可能な限り参加していただき、よく相談して進めさせて頂きます。 上演中、児童・生徒の皆さんがより良い形鑑賞の出来るように、上演時間、鑑賞方法、共演方法、舞台関係の準備など調整いたします。 案内役の言葉の使い方、組踊「万歳敵討」の字幕の表記など、言葉一つ一つ丁寧に修正、対応して参ります。 過去、今事業において支援学校で上演させて頂いた経験と知識を活かして、取り組みます。 また子の会、重踊流の出演者の皆さんと、私共制作団体は支援学校での上演を大変素晴らしい機会と捉えておりまして、是非もっと積極的に上演の機会が増えればと考えております。 プログラムの内容は特別変更する必要はございません。 上演時間は普段の時間割に合わせて対応致します。 休憩時間の長さや回数など細やかに対応致します。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

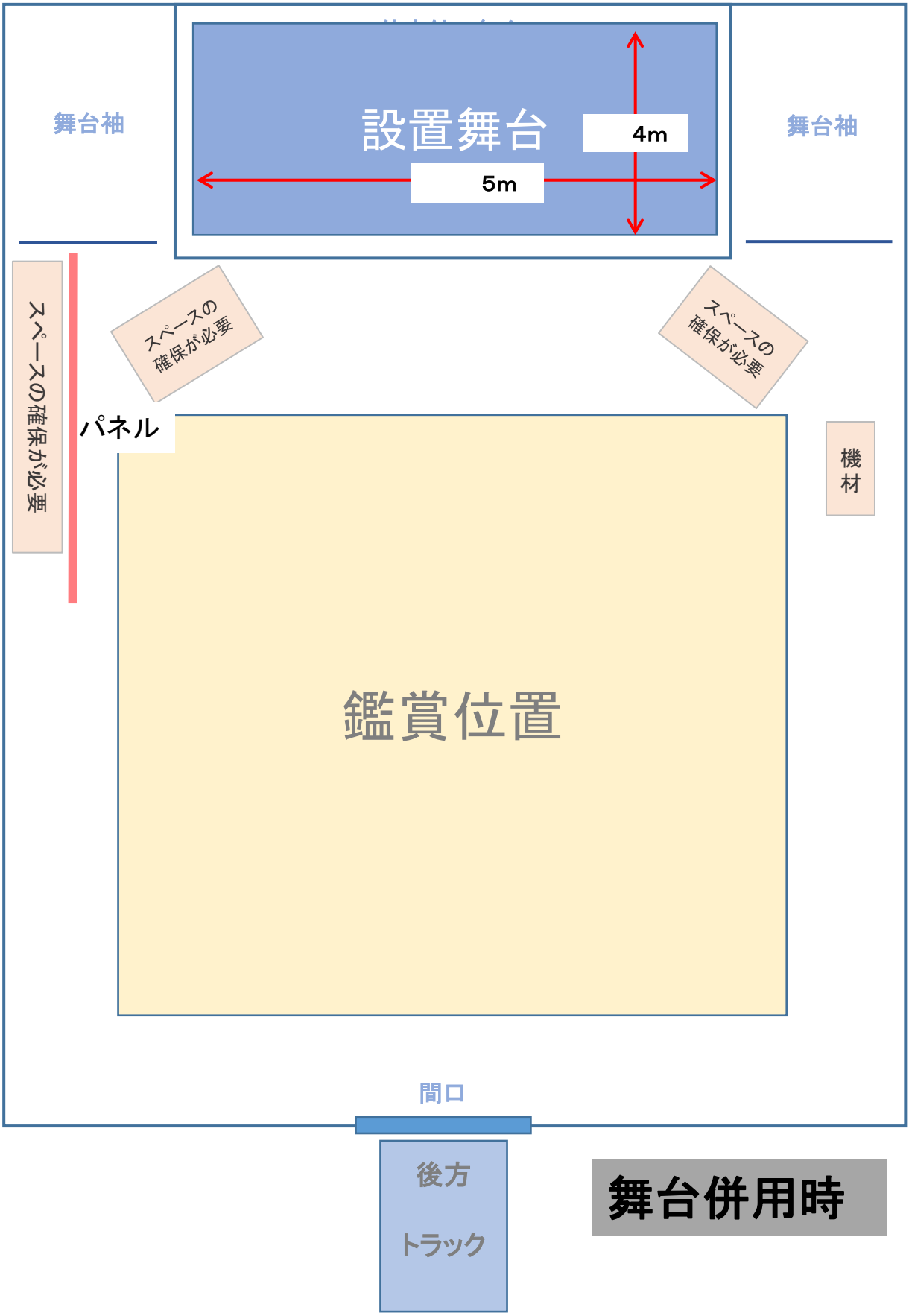
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C33	分野	伝統芸能	種目	邦舞	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	沖縄伝統組踊「子の会」				制作団体名	株式会社BOX4628			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男女用で2部屋が希望ですが、大きい部屋であれば1部屋でも問題ありません。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	大型バス　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			不要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段が無い事が望ましい。				
		理由			重量20kgの音響機材と、 3m60cmの長い物を搬入するため。				
	不可	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1．5m	高さ	1．8m			
WSについて	可	参加可能人数			600名程度				
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			600名程度				
	可	舞台設置場所＊			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	5m	奥行	4m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		人が2人並んで 通れるくらいのスペース				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

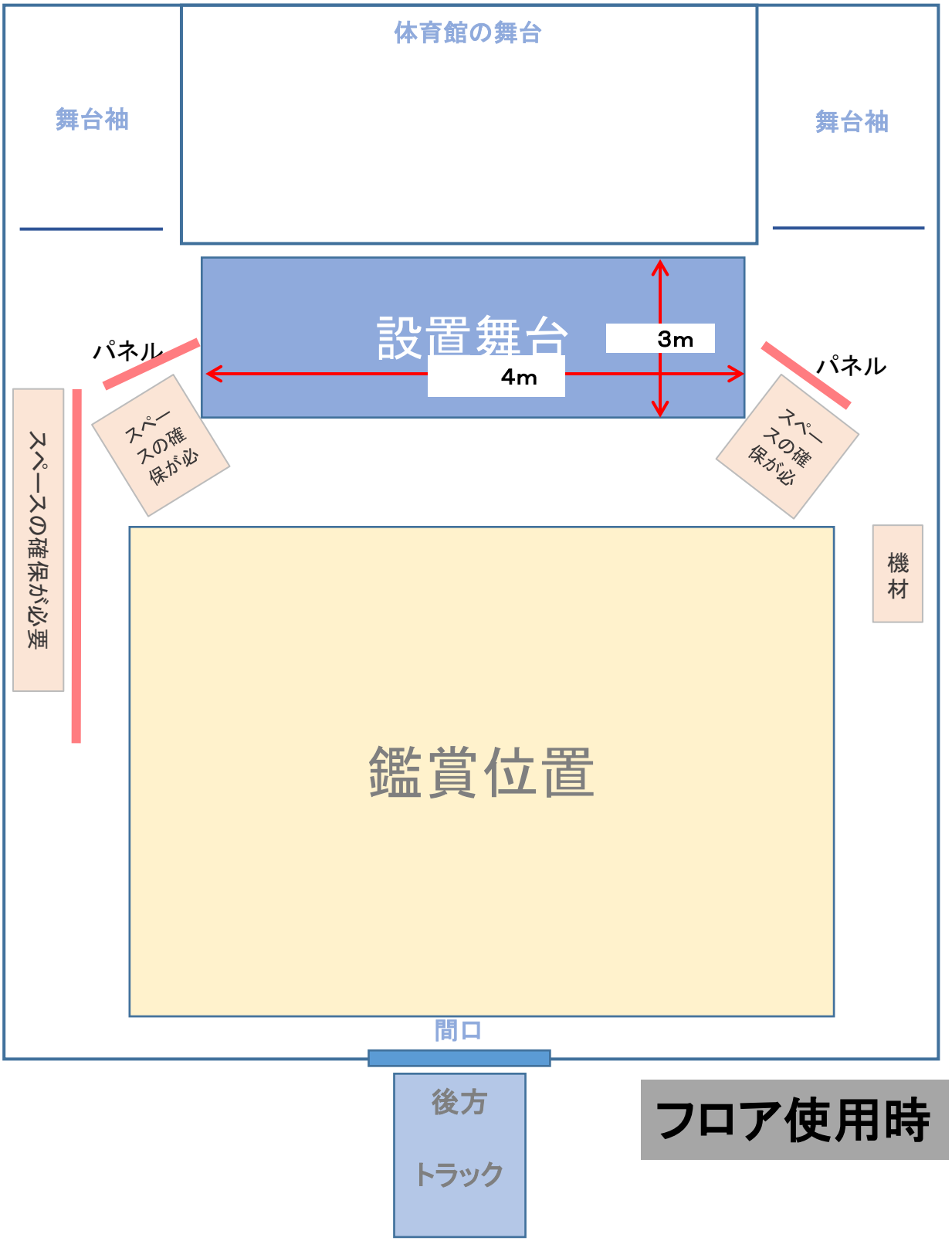
会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1．5m	高さ	1．8m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用時

搬入間口について	幅	1．5m	高さ	1．8m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

ハイサーイ！
おきなわ伝統芸能
「琉球舞踊」と「組踊」

りゅうきゅうぶよう
琉球舞踊 ⟷ くみおどり **組踊**

この２つの伝統芸能は
“いつ” “どこで”
おこなわれていたでしょうか?!

しゅりじょう
首里城

■琉球舞踊とは

沖縄は、1879（明治12）年に沖縄県が設置されるまで、
琉球王国として独自の文化を作り上げてきました。
その文化を受け継いだ琉球舞踊は次の3つに分けられます。
①琉球王朝の儀式用の音楽として士族によって育まれた「古典舞踊」
②琉球王朝が崩壊した後に、古典舞踊を基本としてつくられた大衆的な「雑踊」
③戦後につくられた「創作舞踊」

■組踊とは

台詞、音楽、踊り（所作）によって構成される演劇（歌舞劇）のことです。
組踊は、琉球（今の沖縄県）の新国王認証のため中国から派遣された冊封使をもてなすために
玉城朝薫によって作られ、1719 年に初めて上演されました。
朝薫はこれまでの琉球の芸能をもとに能・狂言や歌舞伎、あるいは中国の演劇からヒントを
得て、琉球に残る古い伝説や出来事を題材に組踊を作り上げたのです。
今年2019年は、組踊がはじめて上演されてから 300 年という大きな節目を迎えます。

【使用楽器の紹介】

公演プログラム

1部

◇琉球舞踊　上演作品　『四つ竹』古典女踊り

◇琉球舞踊　上演作品の解説とおはなし

◇『沖縄言葉あそび』と『沖縄音楽ミニコンサート』

◇体験コーナー

みんなで『安里屋ユンタ』打って！唄って！踊ろう！

2部

◇組踊　上演作品のあらすじとおはなし

◇組踊　上演作品『万歳敵討』仇討物

（組踊：ユネスコ無形文化遺産）

■出　　演　：琉球舞踊「重踊流」
　　沖縄伝統組踊「子の会」
■組踊監修　：宮城能鳳　国指定重要無形文化財「組踊」（総合認定）保持者
■琉球舞踊監修：志田房子　国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（総合認定）保持者
■企画制作　：株式会社BOX4628

Ⅷ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(メディア芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【メディア芸術】	映像，(メディアアート等)

申請する区分に，○を付してください。	(A区分)・ C 区分
複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)	あ り ・ (な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	わうかぶしきがいしゃ ワウ株式会社		
代表者職・氏名	代表取締役　高橋裕士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
電話番号	03-5459-1100	ＦＡＸ番号	03-5459-1101
ふりがな 公演団体名	わう WOW		
代表者職・氏名	取締役　工藤薫		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
制作団体 設立年月	1997 年　7 月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　高橋裕士 取締役　高橋秀明 取締役　於保浩介 取締役　森脇大輔 取締役　工藤薫 取締役　中路琢磨	社員数:55名	
事務体制の担当	専任 ・ (他の業務と兼任)	本事業担当者名	稲垣拓也
経理処理等の 監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	星靖浩

制作団体沿革	1997 年 4 月　株式会社デジタルメディアプロダクツ(代表取締役 高橋秀明)を仙台に設立 Web のシステム&コンテンツの開発事業を行う 1999 年 4 月　名称をワウ株式会社に変更。CM を中心とした映像制作およびプロダクション業務を展開 2000 年 4 月　ワウ東京ブランチを開設 2002 年 4 月　本社を仙台から東京に変更 2004 年 7 月　東京本社を銀座から青山に移転 2005 年 4 月　代表取締役に高橋裕士が就任 2007 年 10 月　東京本社を青山から渋谷に移転 2010 年 9 月　仙台支店を現住所に移転
メディア教育における活動実績	**BAKERU（WOWによるデジタルアート作品）:** 2017 年 3 月　せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内で展示 2017 年 3 月　せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内でBAKERU関連ワークショップ「ペーパークラフトでお面をつくろう」を開催 2018 年 4 月　東京鹿踊（岩手郷土芸能）とのコラボレーションによるコンセプト映像を公開 2018 年 4 月　青山スパイラル「WOW Visual Design Studio ーWOWが動かす世界ー」内で展示 2019 年 7 月　JAPAN HOUSE Los Angeles で個展「BAKERU: Transforming Spirits」を開催 **縦糸横糸合同会社（本プログラム共同実施団体）:** 2014 年 9 月　舞台芸術の創造と発信、そして地域に根ざした杉並区の文化活動の拠点座・高円寺『みんなの作業場』企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催 2015 年 2 月　日韓芸能交流を目的とした公演「マツリクロッシング」企画にて、国内外の観客向けの鹿踊ワークショップを開催 2015 年 8 月　子ども向けの体験型イベント「こどもの夢ひろば"ボレロ"～つながる・集まる・羽ばたく～」企画にて、子ども向けの神楽ワークショップを開催 2016 年 5 月　G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議時に仙台市が市民向けに企画した東北トレジャーズカフェ「るるるる郷土芸能」にて子ども向けの鹿踊ワークショップを開催 2016 年 5 月　東京豊島区のとしま未来文化財団主催の「日本の民俗舞踊～踊り手が語るその魅力・祈り～」企画にて観客向けの鹿踊ワークショップを開催 2017 年 2 月　宮城県主催事業「文化芸術の力による心の復興フォーラム」企画にて地域の郷土芸能体験ワークショップを企画 2017 年 5 月　岩手県主催事業「訪日外国人向け伝統文化鑑賞・体験プログラム開発事業」にて、外国人向けの各地域プログラムを企画、ワークショップを開催 2017 年 8 月　八戸市主催事業「八戸ポータルミュージアムはっちプロジェクトDASHIJIN」にて教育プログラムを企画、子ども向けのお祭り参加ワークショップを開催 2017 年12月　和太鼓や神輿の製作を行う宮本卯之助商店との共同企画で「訪日外国人向けの祭り・郷土芸能体験プログラム」にて外国人向けの鹿踊ワークショップを開催 2018 年 1 月　郷土芸能の衣装や道具を支える人の創出、育成を目的とした「カグラツクル」を自主企画、ワークショップを開催 2018 年 3 月　日本自然保護協会主催の「日本の伝統文化のなかに生きる動物たち」企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催
特別支援学校における活動実績	特になし

参考資料の有無	Ⓐ	申請する企画のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する企画の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※WEB 公開資料有の場合 URL	http://bakeru.jp/
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:　不要
	Ⓐの提出が困難な場合	今回申請する企画に近い活動を記録した DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※WEB 公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

メインプログラム ・ ワークショップの内容　　【公演団体名　WOW　】

対 象	小学生（低学年 ・ 中学年 ・ 高学年）　・　中 学 生
企 画 名	BAKERU ー デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 ー
プログラム全体の流れ	【プログラムの構成】

	ワークショップ 1 回 → メインプログラム
	ワークショップ 2 回 → メインプログラム
	ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ
	メインプログラム → ワークショップ 2 回
○	メインプログラム → ワークショップ 1 回

【全体の流れ】

※ はじめに、昨年度プログラムの記録映像をご覧ください
https://vimeo.com/313292823

1日目　郷土芸能の鑑賞、レクチャー、およびワークショップ

デジタルアートとは何か、について分かりやすく紹介します。
また、郷土芸能と「変身する」ことのつながりについてお話します。

郷土芸能の一例として、岩手県「行山流舞川鹿子躍」を実演。
作品のモチーフになった実際の芸能を鑑賞します。

「変身する」ことをテーマに衣装について解説し
着付け体験などを通して芸能に触れ、理解を深めます。

レクチャーを参考に「自分が変身するとしたら」をテーマに
オリジナルのお面を制作。2日目の体験で使用します。

2日目　「BAKERU」の体験

ワークショップで制作したオリジナルの体験用お面を使って
デジタルアート作品「BAKERU」を体験します。

それぞれの想いがつまったお面。他の参加者がどのような
コンセプトで自身のお面をデザインしたか、見て考えます。

児 童 ・ 生 徒 の参加上限人数	メインプログラム （1日目）	制限なし（ただし、2日目を体験しきれる合計人数）
	ワークショップ （2日目）	40名程度（1時限あたりの体験可能人数。120人程度まで対応可能）

<table>
<tr><td>メインプログラムの主たる指導者</td><td colspan="3">工藤薫（ディレクター），
佐藤宏樹（テクニカルディレクター）アシスタント（エンジニア、デザイナー）2名，
稲垣拓也（プロデューサー），
山田雅也（ワークショップコーディネーター）アシスタント4名（演舞演者を兼ねる）</td></tr>
<tr><td>スタッフ人数
（1 公演あたり）</td><td>計10名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>バン3台程度よる機材搬入を想定
積載量　1　t
車 長　5　m
台 数　3　台</td></tr>
<tr><td>企画のねらい</td><td colspan="3">

伝統文化の豊かな世界観に、デジタルアートを通して触れる

長い時間を受け継がれてきた郷土芸能には、自然、人の生き方、願いなど、大変豊かな世界観が内包されています。しかし、今日を生きる子供たちはそれらに触れる機会が多くありません。デジタルアート作品『BAKERU』は**東北の郷土芸能を様々なリサーチを通してデジタルアートに昇華させた作品**です。本公演は、デジタルアートという普段とは違った体験を通して、子どもたちに伝統文化に対する新たな気づきやまなざしが生まれることをねらっています。

▶ デジタルアート作品　『BAKERU』

BAKERUは東北に古くから伝わる**4つの郷土芸能（なまはげ、早乙女、鹿踊加勢鳥）をモチーフにした、体験型のデジタルアート作品**です。スクリーンの前に立って顔に体験用のお面をつけると自分の姿が変化し、それぞれの芸能の世界観で様々な体験ができます。現代的な視点と新しい表現を通して伝統文化に触れることで、その奥深さを広く知ってもらうことを目的にしています。

▶ 1日目（芸能実演とワークショップ）のねらい

1日目は、①郷土芸能のレクチャーと実演、②体験用のお面制作 を行います。①では、有史以前から続くお面を使って「変身する」という行為をテーマにお話した後、例として「東京鹿踊」による**実際の演舞を鑑賞**します。②では、「自分が変身するとしたら」をテーマに**BAKERU体験用のお面を参加者がカスタマイズ**します。子どもたちが自身の「願い」と「それに対応するデザイン」を考えて制作することで、芸能で衣装が果たす役割を深く学びます。

▶ 2日目（デジタルアート体験）のねらい

2日目は、体育館に設置したスクリーンで**デジタルアート作品「BAKERU」を体験**します。ここで1日目に制作したオリジナル面を利用することが、より深く作品に入り込み、体験を記憶に残すきっかけとなります。

</td></tr>
</table>

【公演団体名　WOW　】

<table>
<tr><td>実施にあたっての会場条件および学校側が必要な準備等</td><td>【メインプログラム】(1日目)</td><td>【ワークショップ】(2日目)</td></tr>
<tr><td></td><td>▶ 会場
・体育館相当の空間　・・・ 1室
(幅10m x 15m x 高さ6m 以上)
郷土芸能レクチャーと演舞鑑賞に利用
・教室　・・・ 参加クラス分
お面制作WSに利用
・設置時間　・・・ 前日夕方から

▶ 準備物
・画材　・・・ 参加人数分
通常図工等で使用しているはさみや
絵の具に加え、マジック、色紙 など</td><td>▶ 会場
・体育館相当の空間　・・・ 1室
(幅10m x 15m x 高さ6m 以上)
BAKERUの体験に利用
・設置時間　・・・ 前日夕方から</td></tr>
<tr><td>当日の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>【メインプログラム】(1日目)</td><td>【ワークショップ】(2日目)</td></tr>
<tr><td></td><td>前日の夕方に機材搬入、また当日もしくは事前にワークショップの打ち合わせを行います。
開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ
1時限目(45分想定)
イントロダクション　(10分)
郷土芸能レクチャー　(10分)
郷土芸能実演・体験　(20分)
ワークショップのイントロダクション　(5分)
休み時間
休憩　(10分)
2時限目(45分想定)
体験用お面制作(40分)
1日目のまとめ(5分)</td><td>前日の夕方に機材搬入を行います。
開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ
1時限目(45分想定)
BAKERU体験　(25分)
参加者の制作お面鑑賞　(10分)
本企画のまとめ　(10分)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">※採択決定後，採択団体へ学校側に提示する条件の確認書の作成をお願いします。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

提出書類④
申請する公演演目のWEB情報

BAKERU

BAKERU ポータルサイト

BAKERUのコンセプトや展示歴などをまとめたウェブサイト
http://bakeru.jp/

BAKERU

https://vimeo.com/219637092

BAKERU -バケルの学校-

2018年 本公演実証実験の記録映像
https://vimeo.com/313292823
http://bakeru.jp/project/81/

BAKERU Concept Movie

「東京鹿踊」とのコラボレーションによるコンセプト映像
https://vimeo.com/263846520

ハレとケ展

BAKERUを初公開したオリジナル企画展。
ペーパクラフトのお面を制作するワークショップを開催。
https://vimeo.com/219636641

WOW wowlab

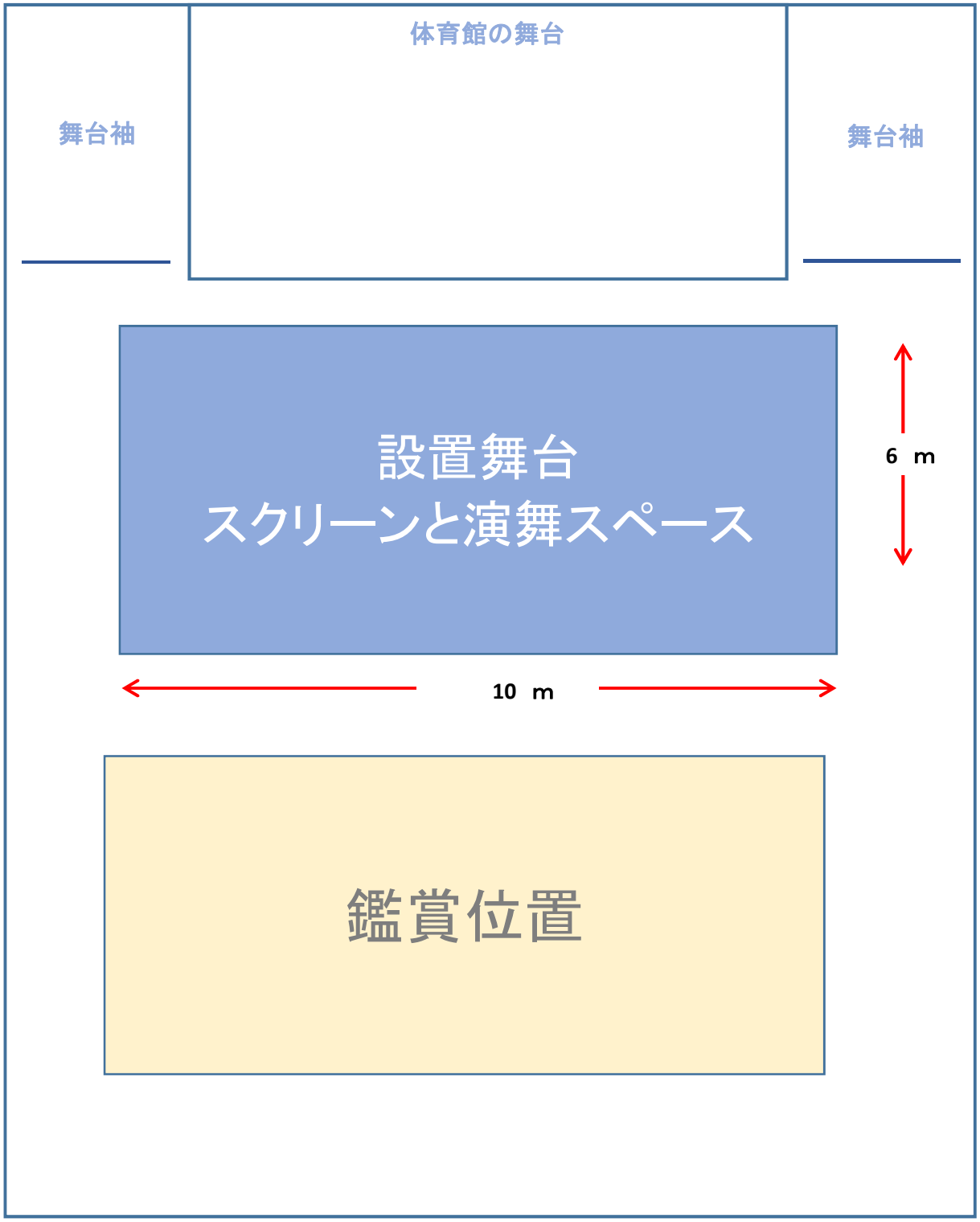
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K121	分野	メディア芸術	種目	メディアアート等	ブロック	K	区分	A区分
公演団体名	WOW				制作団体名	ワウ　株式会社			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	機材置き部屋と控え室				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　3台				
	―	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			不要				
	―	搬入車両の横づけの要否＊			不要				
	―	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	―	搬入経路の最低条件			問わない				
		理由							
	―	設置階の制限＊			問わない				
	―	搬入間口について 単位：メートル	幅	問わない		高さ	問わない		
WSについて	可	参加可能人数		120名程度					
	不可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	小学生のみ			
	可	所要時間の目安 単位：分		2～3時限分（参加人数によって、要相談）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		120名程度					
	可	舞台設置場所＊		フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	10m	奥行	6m	高さ	6m	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要					
	―		舞台袖スペースの条件＊	不要					
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	不可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	スクリーンを設置するため			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	不可	公演に必要な電源容量		30A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	問わない	高さ	問わない
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

BAKERU ばける

その不思議な力を、私たちは忘れかけていた。
お面を着けて、自分以外の存在へと〝化ける〟
神の使いとなって、人々に恵みを分け与える。
自然への畏怖が生んだ、〝ハレとケ〟の文化
私たちは今何を感じ、未来を紡いでいくのだろう。

東北に古くから伝わる祭りや伝統行事をモチーフにした体験型の映像インスタレーション作品。スクリーンの前に立ってお面を顔につけると、自分の姿がいつしか自分ではない何者かに変化します。現実から空想の世界へと入り込み、その姿で様々な体験をすることができます。作品の対象となる東北の伝統行事の中で特にユニークなのが、１年の決まった時期になると各地に現れる“神の使い”たちの姿。三陸地方に伝わる「鹿踊（ししおどり）」や、簔（みの）をかぶった若者に水をかける「加勢鳥（かせどり）」など、人々はお面や衣装を身に着けることで、豊作や無病息災をもたらす存在へと変身するのです。

この作品では「なまはげ」「鹿踊」「加勢鳥」「早乙女」の 4 種類の伝統行事をモチーフにし、WOW の解釈を加えてビジュアライズしました。スクリーンの前でお面を付けると、自分のシルエットがそれぞれの姿に変化して、その行事が人々にもたらす恵みがアニメーションで映し出されます。自分以外の存在、人間以外の何者かへと“化ける”という不思議な力を、楽しみながら体験する試み。東北の風土が生んだ伝統文化に、まったく新しい表現を通して触れてもらうことで、その価値を次の世代へ受け継いでいきたいという願いを込めた作品です。

WOW http://www.w0w.co.jp/ http://wowlab.net/

東京、仙台、サンフランシスコに拠点を置くビジュアルデザインスタジオ。CM やコンセプト映像など、広告における多様な映像表現から、さまざまな空間におけるインスタレーション映像演出、メーカーと共同で開発するユーザーインターフェイスデザインまで、既存のメディアやカテゴリーにとらわれない、幅広いデザインワークをおこなっている。

実際の作品や鹿踊の様子はこちらで動画でご覧いただけます。http://bakeru.jp

令和２年度　文化芸術による子供育成総合事業 ― 巡回公演事業 ―

BAKERU
デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界

１日目　郷土芸能の学びと作品体験のためのお面作り

▶ 郷土芸能 実演・体験

” 東京鹿踊 ” による演舞を鑑賞。
お祭りの意味や衣装について解説し、着付け体験をします。

▶ 体験用お面制作ワークショップ

「自分が変身するとしたら」をテーマに、デジタルアート体験のためのお面を自分でデザインします。

２日目　デジタルアート作品『BAKERU』の体験

▶ BAKERU の体験

ワークショップで作った体験用のお面を使って、デジタルアート作品『BAKERU』を体験します。

令和2年度　文化芸術による子供育成総合事業　ー巡回公演事業ー

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁